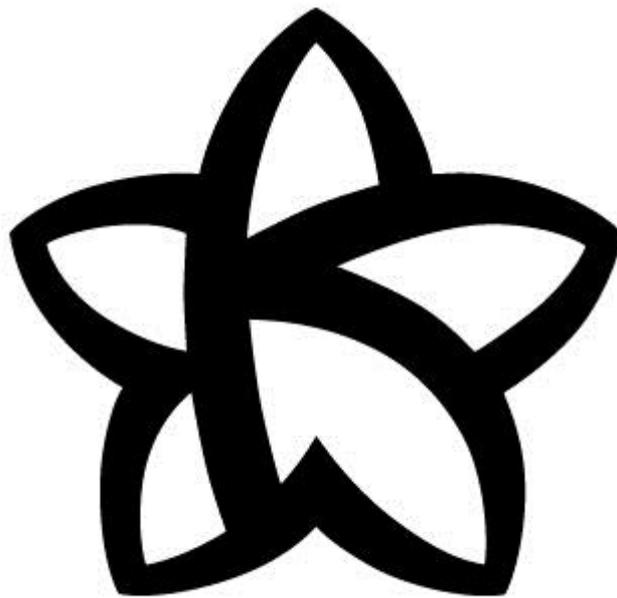


住民主体の市政のために

# 市長・区長交流控帖

## 第5巻

— 平成21年度 市民総代会の記録 —



平成22年3月

掛 川 市  
掛川市区長会連合会

# 目次

○市長・区長交流控帖 第5巻の発刊にあたって（市長あいさつ）	1
○第5巻の市長・区長交流控帖の発刊に寄せて（区長会連合会長あいさつ）	2
○市民総代会中央集会開催の概要	3
○市民総代会地区集会開催の概要	4
地区別開催状況	5
地区別テーマ	6
地区別意見交換の記録	9～115
1 掛川第一・第二地区	9
2 掛川第三・第四地区	12
3 掛川第五地区	15
4 南郷・西南郷地区	19
5 上内田地区	23
6 西山口地区	27
7 東山口地区	31
8 日坂・東山地区	36
9 粟本地区	42
10 城北地区	47
11 倉真地区	53
12 西郷地区	60
13 原泉地区	63
14 原田地区	67
15 原谷地区	70
16 桜木地区	74
17 和田岡地区	77
18 曾我地区	80
19 千浜地区	85
20 睦浜・大坂地区	90
21 土方地区	95
22 佐束地区	98
23 中地区	103
24 大須賀第一・第二・第三地区	107
25 大淵地区	112

## 「希望がみえるまち、誰もが住みたくなるまち掛川」を目指して ～市長・区長交流控帖 第5巻の発刊にあたって～

市民の皆様には、日ごろから市政全般にわたり御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。そして、本年度の市民総代会の開催にあたって御尽力いただきました、区長様をはじめ、各地区役員並びに市民の皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

私は、市長としては初めて市民総代会に参加させていただきました。各地区からは、道路や河川の件を中心に、多数の御意見や御要望が寄せられました。平成21年度は、8月11日に駿河湾で発生した地震の影響もあり、道路や河川に関わる話題に次いで多かったのは、地震や防災に関するものでした。また、現在、保存のために寄付金を募集している掛川駅木造駅舎や、平成24年度末の開院を目指す新病院に関する事など、市全体に関わる話題について話し合いが行われました。

さて、掛川市にも、景気悪化の波は引き続き押し寄せています。市民と行政が協働して皆さんの生活をより良いものにしていくことが、今ほど求められている時はありません。地方分権の厳しい時代、掛川ならではの歴史・文化や、市民力を最大限に活用する知恵が必要です。こうした中、行財政改革審議会、掛川市市民自治活動基本条例を考える市民委員会も動き始めております。「希望がみえるまち、誰もが住みたくなるまち」掛川の実現を目指して私が最重要政策に掲げた3つの日本一、「健康医療日本一」、「環境日本一」、「市民活動日本一」のうち3つ目に当たる、市民主権、市民参加の取り組みを積極的に進めてまいります。

市内25会場に実際に巡回し再認識したのは、市民総代会は、掛川市民が築き上げてきた長期的、継続的なまちづくりを進めていくすばらしい仕組みであること。そしてそれは、皆さんが先達から引き継いできた、まちづくりへの熱い想いに支えられていることです。この市長・区長交流控帖は、そうした想いが集約された冊子であり、まちづくりの取り組みを次の世代へつなげていくバトンであります。本冊子が各方面で広く活用され、市民が主役のまちづくりがより一層推進されますことを祈念しまして、発刊にあたってのあいさつといたします。

平成22年3月

掛川市長 松井三郎

## 第5巻の市長・区長交流控帖の発刊に寄せて

日ごろから、区長会連合会事業に関しましては、多大なるご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、区役員の皆様におかれましては、住民自治組織の代表として地域の発展にご尽力されていることに、深く敬意を表します。

さて、本年度の市民総代会では、道路や河川に関する要望、地震・防災、環境問題、教育、農業振興、新病院、掛川駅木造駅舎についての意見等、ありとあらゆる事柄が話題にのぼりました。このように、私たちの日常生活では、いろいろな事柄が同時に関連しながら発生しています。地域で重なりあう様々な課題に総合的に取り組むことが出来るのが、自治区活動なのではないかと思えます。

各自治区では、少子高齢化・国際化等の社会環境の変化をはじめ、住民の価値観の多様化等を背景に、自治区活動が困難な時代を迎えていると感じることもあってはいないでしょうか。しかし、地域は、そこに住む住民同士のつながりやコミュニケーション、まちづくりへの想いがあるからこそ、独自の地域文化を維持発展させることができ、真に住み良い地域づくりができるのだと思えます。

掛川市市民自治活動基本条例を考える市民委員会が立ち上がり、新しい公共のあり方が話し合われています。それを支えるのは、まちを良くするための基本となる組織、住民自治組織であります。地域の問題を自ら解決し、住み良いまちを創っていこうとする地域住民の力は今後、ますます重要になってまいります。

市では現在、行財政改革審議会において、厳しい時代に対応した行財政運営を検討しておられますが、市民総代会で出された市民の意見や要望等がより多く、実現へ向けて芽吹きますことを期待するものであります。

結びに、市民総代会の開催に当たりましては、関係各位のご協力に感謝申し上げますとともに、今後も区長会連合会に対する皆様のご支援とご協力をお願い申し上げ、発刊に寄せるご挨拶とさせていただきます。

平成22年3月

掛川市区長会連合会

会長 松浦茂司

# 平成21年度 市民総代会中央集会 開催の概要

## 1 趣 旨

自治区三役をはじめ市内主要団体の役員等が一堂に参集し、当該年度の主要施策、事業及び予算等について、市民と行政が情報を共有しあい、市政に関する全市的な施策課題について意見・要望・アイデア等を募り広報・広聴、住民参加の機会とする。

## 2 開催日時

平成21年5月29日(土) 午後1時30分から

## 3 開催場所

掛川市生涯学習センター ホール

## 4 主 催

共催＝掛川市、掛川市区長会連合会

## 5 参加者

県議会議員、市議会議員、自治区役員（区長・小区長・副区長・会計ほか）、地域生涯学習センター長・事務長、農業委員、民生委員、女性会議、市立小・中学校長、市社会福祉協議会、商工会議所・商工会、老人クラブ役員、一般市民、市三役及び部課長など

計 880名 参加

## 6 内 容

- (1) 区長会連合会長あいさつ
  - (2) 自治区役員功労者表彰（市長感謝状・区長会連合会長表彰状）
  - (3) 来賓（市議会議長）あいさつ
  - (4) 市長あいさつ
  - (5) 平成21年度主要事業話題提供
    - ・新病院建設に向けての経緯・状況報告等
  - (6) 質疑応答
  - (7) 市長・区長交流控帖の説明
  - (8) 新「掛川音頭」
    - ・掛川市ふるさと親善大使 舞踊家 深山 豊扇氏
- 演目：1. 戦国夫婦伝 2. 出世城 3. 掛川ヤッサ 4. 新「掛川音頭」

# 平成21年度 市民総代会 地区集会 開催の概要

## 1 趣 旨

地区の課題や市政全般における、意見・要望・アイデアなどを広く意見交換し、その内容を重要度・緊急度に応じて、翌年度以降の市の施策や予算編成に反映していくものとする。また、地域の主要事業等についても話題提供を行い、地域住民に周知する機会とする。

## 2 開催時期

平成21年7月28日（火） ～ 10月28日（水）

【開催の時間帯】

夜間開催 午後7時 から 午後9時

## 3 開催会場

市内小学校区を基本とした25会場で開催

## 4 主 催

共催 = 掛川市、掛川市区長会連合会

## 5 参加者

自治区役員（区長・小区長・副区長・会計・ブロック長・組長ほか）、地域生涯学習センター長・事務長、地区及び区が推薦する各種委員、区内の各種団体の委員、一般市民など

## 6 オブザーバー

県議会議員、市議会議員、小・中学校長 など

## 7 内 容

- (1) 開会
- (2) 地元代表あいさつ
- (3) 市長あいさつ及び話題提供
- (4) 意見交換（意見・要望・苦情・アイデアの聴取）
  - ①地区別テーマの部 地区が抱える問題や課題に関する討議
  - ②自由討議の部
- (5) オブザーバーによる講評
- (6) 閉会

## 平成21年度 市民総代会地区集会 地区別開催状況

No.	地区名	月日	曜日	時間	会場	出席者数	10月末日現在の人口	10月末日現在の人口に対する出席割合(%)	
1	掛川第一・掛川第二	10月21日	水	夜間	第一小学校多目的ホール	58	4,800	1.21	
2	掛川第三・掛川第四	8月27日	木	夜間	中央小地域生涯学習センター	59	5,504	1.07	
3	掛川第五	9月18日	金	夜間	第二小学校体育館	74	7,319	1.01	
4	南郷・西南郷	9月30日	水	夜間	南郷地域生涯学習センター	79	10,147	0.78	
5	上内田	7月28日	火	夜間	上内田地域生涯学習センター	53	2,392	2.22	
6	西山口	8月20日	木	夜間	たまり～な	53	7,243	0.73	
7	東山口	10月15日	木	夜間	東山口地域生涯学習センター	44	2,927	1.50	
8	日坂・東山	8月10日	月	夜間	東山地域生涯学習センター	42	1,712	2.45	
9	粟本	8月26日	水	夜間	初馬会館	80	5,973	1.34	
10	城北	10月20日	火	夜間	中宿公民館	52	3,807	1.37	
11	倉真	9月7日	月	夜間	倉真地域生涯学習センター	50	1,751	2.86	
12	西郷	9月12日	土	夜間	西郷地域生涯学習センター	46	5,727	0.80	
13	原泉	8月3日	月	夜間	原泉地域生涯学習センター	61	584	10.45	
14	原田	10月22日	木	夜間	原田地域生涯学習センター	48	1,831	2.62	
15	原谷	9月5日	土	夜間	原谷地域生涯学習センター	92	4,069	2.26	
16	桜木	10月23日	金	夜間	桜木ホール	93	10,969	0.85	
17	和田岡	10月14日	水	夜間	和田岡地域生涯学習センター	76	3,102	2.45	
18	曾我	9月25日	金	夜間	曾我地域生涯学習センター	151	3,266	4.62	
19	千浜	9月16日	水	夜間	千浜農村環境改善センター	84	4,068	2.06	
20	睦浜・大坂	9月15日	火	夜間	大東支所市民交流センター	68	7,792	0.87	
21	土方	9月11日	金	夜間	大東北公民館	78	3,348	2.33	
22	佐東	8月24日	月	夜間	佐東公民館	74	3,034	2.44	
23	中	9月14日	月	夜間	中地区コミュニティ防災センター	32	2,149	1.49	
24	大須賀第一・大須賀第二・大須賀第三	8月21日	金	夜間	大須賀支所市民交流センター	73	8,402	0.87	
25	大淵	10月28日	水	夜間	大淵農村環境改善センター(アイク)	56	3,627	1.54	
【開催の時間帯】						合計	1,676	115,543	1.45
夜間 午後7時～9時						1地区平均	67.04	4,621.72	1.45

## 平成21年度 市民総代会地区集会 地区別テーマ一覧

No.	地区名	テーマ
1	掛川第一・掛川第二	①掛川市の地球温暖化対策 ②掛川駅北メインストリートの朝市による活性化 ③復名運動
2	掛川第三・掛川第四	①掛川幼稚園の跡地有効利用 ②西保育園の跡地有効利用
3	掛川第五	①主要幹線道路の整備計画 ②新病院アクセス道路 ③鳥居町交差点付近の通学路問題 ④高齢者に対する地域福祉のあり方と今後の展望の一考察
4	南郷・西南郷	①南郷地区の排水計画（水害対策） ②緑の精神回廊「川南回廊」の整備要望
5	上内田	上内田の活性化について ①少子化対策と子育て支援 ②市営住宅「和田団地」 ③旧老人福祉センター施設及び跡地 南北道路と交通問題について ④掛川高瀬線の諸問題 ⑤公共交通空白地域の解消
6	西山口	①掛川東環状線の早期完成 ②宮脇保育園の跡地利用 ③「環境資源ギャラリー建設基本協定」等に基づく事業協定の履行
7	東山口	①防災拠点「消防東分遣所」（救急救命）の設置 ②基幹農道伊達方・公文名線の完成はいつか ③乳幼児センターの設置 ④住宅団地・市営住宅の建設
8	日坂・東山	①日坂・東山地区の住宅問題 ②栗ヶ岳の茶文字の下刈り
9	栗本	城北小学校通学道路及び筋違橋バス停周辺整備
10	城北	①城北地区浸水対策 ②宮脇秋葉線及び城西秋葉線の自歩道改良
11	倉真	過疎化、高齢化対策
12	西郷	①三笠幼稚園跡地活用と教育センターの耐震強度問題 ②スポーツ振興跡地の開発
13	原泉	統合による閉校後の原泉小学校跡地活用
14	原田	原野谷川をきれいに
15	原谷	①幡鎌区開発計画の基本構想 ②西環状線 ③市道桜木中横断線 ④豊かな自然環境を利用した少子化対策としての住宅施策
16	桜木	①地上デジタル放送 ②市道杉谷家代線 ③市道桜木中央線
17	和田岡	県道掛川山梨線への歩道設置要望
18	曾我	①新病院建設に伴う周辺道路網の改良整備 ②都市計画道路掛川駅梅橋線の今後における具体的取組計画
19	千浜	海岸の保全及び観光資源としての今後の展望
20	睦浜・大坂	①新田川右岸堤防道路への転落防止柵設置 ②下小笠川廃川敷土地利用 ③8月11日の地震時の問題点、反省点 ④新型ウイルス発生時の対応
21	土方	①一級河川下小笠川の改修計画 ②県道袋井小笠線への歩道設置 ③準用河川亀惣川改修工事 ④西幹線道路の延長整備促進
22	佐東	①都市計画税の問題 ②南北幹線道路の問題
23	中	公園化された睦三区の田ヶ池周辺の維持管理
24	大須賀第一・大須賀第二・大須賀第三	①大須賀区域の行政機能の充実 ②大須賀区域の都市計画の具体的計画
25	大淵	①都市計画税と大淵地区下水道事業 ②若宮神社北側の市有地への藤塚公民館移転 ③東大谷川柳瀬橋への信号機設置 ④地区センター（アイク）への小会議室兼事務室増築の再要望

## 本書に記載された地区集会における意見交換・質疑応答の取り扱い方

### 1 ねらい・目的・効果

#### (1) 市民の意見、要望、苦情、アイデアの収集と対応の進行管理

市民からの意見については、言いつ放し・聴きつ放しにしないよう、やりとりの内容を明確に表わすとともに、進行管理の資料とし、住民と行政の信頼関係を増進させます。

#### (2) 市政の推進

各地域課題に関する市の方針について記録され、広報・広聴、情報公開の記録集とされています。

#### (3) 地域コミュニティの推進

市民の自主的学習意欲の向上、地域の内発力・調整力の開発及びコミュニティづくりの推進を図ります。

#### (4) 地域における事務の引継ぎ資料

区の課題事項に関する地元と市のやりとりが記録に残ることにより、後代の地域役員の地区課題に関する資料、事務引き継ぎ書として活用することができます。

#### (5) 事業の効率化、計画的な地域づくり

様々な地域課題が網羅される中で、優先順位付けが考慮され、計画的な地域整備や地域づくりにつながります。

#### (6) 担当部署の明記

事業を行う部署を明確に表わすことにより、市民からの問い合わせが円滑に行なわれます。

### 2 意見等に係る事業の実現性の確認

各地区からの要望や意見については、A～Eの5類型に分類し事業の実現性等について明確に表示しました。

A すぐやります。 すぐ徹底します。 すぐ解決します。 対応済です。 現在対応しています。

B 翌年度予算、翌年度事業で実施します。 翌年度から改善・制度化します。

C 概ね3年以内に実施します。 概ね3年以内に調査費を計上していきます。

国・県に要望し事業採択を受けたら実施します。 広域的に処理します。

D 今後十分調査・検討します。 お互いよく検討しましょう。 今後の施策立案の参考にさせていただきます。

E できません。 不可能です。 自前でやってください。 まず地元で利害調整・意思決定をしてください。

－ 分類不能

平成21年度 市民総代会地区集会  
地区別回答結果類型集計表

No.	地区名	類 型					分類不能	計
		A	B	C	D	E		
1	掛川第一・掛川第二	7	1		2			10
2	掛川第三・掛川第四	6	2	1	3	3	2	17
3	掛川第五	1			10	1	1	13
4	南郷・西南郷	4			8	1	1	14
5	上内田	3	1		7		1	12
6	西山口	7	2		4		3	16
7	東山口	5		3	5		1	14
8	日坂・東山	4	2	1	10	1		18
9	粟本	11		1	3	1		16
10	城北	5	4	1	4	1	2	17
11	倉真	5	1	4	13	1	1	25
12	西郷	4	2		3	1	2	12
13	原泉	5	1	2	4	1	2	15
14	原田	4	1	1	6			12
15	原谷	4		1	8		1	14
16	桜木		3	2	2		1	8
17	和田岡	4		1	2	2		9
18	曾我	10	8	1	2	1		22
19	千浜	12	1		7		1	21
20	睦浜・大坂	14			3	1	1	19
21	土方	2	2	2	5		7	18
22	佐束	12		1	5	1		19
23	中	7		1	8		1	17
24	大須賀第一・大須賀第二・ 大須賀第三	9	1		7	1		18
25	大淵	6		1	5		1	13
合 計		151	32	24	136	17	29	389
割 合 (%)		38.8	8.2	6.2	35.0	4.4	7.5	100.0

## 掛川第一・掛川第二地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎掛川市の地球温暖化対策</p> <p>2020（平成32）年までに温室効果ガスの排出を25%削減（1990年比）するには、今のままでは不十分ではないか。</p> <p>例えば、掛川城のライトアップや子角山の街路灯を、夜遅くまで点灯する必要はないのではないか。</p> <p>また、一般家庭への太陽光発電普及率を上げていくための補助制度を考えているか。</p> <p>今後、市の温暖化対策としてどのようなことに取り組んでいくのかお聞きしたい。</p>	<p>新エネルギーの導入と、産業用エネルギーの削減についてですが、まず、市内の全小中学校に太陽光発電を設置し、環境教育への活用を図ります。</p> <p>また、市長の掲げたマニフェストのうち、太陽光発電の全戸設置について、助成措置も含めて取り組みを進めてまいりたいと思います。</p> <p>CO2削減のために、平成22年度より、掛川城ライトアップは現在の午後11時30分を午後9時までに短縮し、市庁舎ライトアップは中止します。子角山については緑の精神回廊のルートとなっており、防犯上の必要性もありますので改めて検討いたします。また、市内の防犯灯についても今後はLED化の検討を進め、温暖化防止に努めてまいります。</p> <p>【環境政策課（旧：環境保全課）・学校総務課】</p>	A
<p>◎掛川駅北メインストリートの朝市による活性化</p> <p>土日の朝、駅北からお城までの道路に朝市を設けたらどうか。</p> <p>駅前通りを開放して、朝市開催により街の活性化に寄与して欲しい。</p>	<p>土日を歩行者天国にして朝市を開くことは、街中の賑わい創出につながります。車社会とは離れた街中の未来を基本コンセプトとして取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>一番課題となるのは、街中の人や商店街の方の理解を得ることです。関係者と協議をしながら、実現できるように努力をしていきます。</p> <p>【商工労働観光課】</p>	D
<p>◎復名運動</p> <p>復名運動とは、合併や区画整理事業等で消えてしまった旧町名等を復活させる運動のことである。掛川市でも町名等が消滅してきた。</p> <p>地名も一つの無形文化財だと考え、歴史のある町名等を復活あるいは残していくことを、今後、掛川市の文化活動として進めていただきたい。</p>	<p>小学校の社会科副読本で旧町名等を記載した図を示した「お城を中心としたまちづくり」を取り上げています。</p> <p>また、他市に見られるような旧町名を表す銘盤設置等を、観光の観点を含めて協議していきたいと思います。</p> <p>歴史のある所については、道路の名前に通称名としてその名称を使ったらどうかと思います。これから検討させていただきます。</p> <p>【管財課（旧：地域振興課）・道路河川課・社会教育課（旧：生涯教育課）】</p>	A D

掛川第一・掛川第二地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎掛川市開発公社所有地の開発 開発公社所有地の利用促進について、どのような現状か。所有している土地は、時価に換算していかほどか。 維持費のみが費やされる不要な土地の所有を減らし、少しでも財政に寄与できる方策があるのではないか。</p>	<p>売却できる土地については売却していきたいと思いません。 財団法人掛川市開発公社は、昭和43年に設立されました。御指摘のとおり、公共事業の遅れや見直し等により、用地の保有期間が長期化する等してきたため、平成13年から一部用地について、公募等により売却処分を進めてきました。 また、国の公益法人改革に対応する必要性もありましたので、平成20年11月、新たに土地開発公社を設立して、保有する用地を精査した中で、明確に土地利用計画が定まっております。今後、掛川市が買い戻す必要がある用地については、土地開発公社へ移管しました。 残りの用地については、財団法人掛川市開発公社が所有し、現在、民間への売却を含めて利用方法を検討し、全用地の処分完了後には解散する予定です。 平成21年9月現在の両公社が保有する用地は、掛川市土地開発公社が、新エコポリスの工業団地、新病院用地等も含め、14か所 513,583㎡、約48億円、財団法人掛川市開発公社が9か所 46,251㎡、25億円です。 土地の整備には長い年月を要し、公共用地の確保は時期を逸すると取得できないこともある一方、社会経済状況の変化により計画的に見直される事業も出てまいります。今後の事業の精査や不要になった用地の処分を行い、適切な公共用地の確保に努めていきます。 <b>【管財課（旧：総務課）】</b></p>	A
<p>◎掛川駅木造駅舎の耐震化 ①木造にした場合、鉄筋にした場合のメリット、デメリット等を含め、計画の資料を出してもらいたい。木造で残そうという運動が先行していて、それが本当にまちの発展のためになるのか。もう少し大きなところで議論してもらわなければならないと思う。 ②学者等有識者の意見も大事だが、掛川の将来を担う若者達の意見を積極的に取り入れてもらいたい。</p>	<p>掛川駅北口木造駅舎の耐震化については、JR東海と連携し、掛川の歴史ある素晴らしい「木の文化」を後世に残す事業として推進すると共に、「掛川駅木造駅舎を保存・活用する会」の募金活動に協力をして進めます。 <b>【都市政策課（旧：都市整備課）】</b></p> <p>20歳以上の市民1,200人を対象にアンケートを実施しました。木造駅舎の保存について、「保存したほうがよい」が50.5%、「保存しなくてもよい」が28%でした。 また、市の負担について「補助金や寄付金で負担を軽減すべき」が78.5%ありました。</p>	B  A

## 掛川第一・掛川第二地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
	【都市政策課（旧：都市整備課）】	
<p>◎掛川市・袋井市新病院</p> <p>①医大を誘致するという話もあったが、医師確保の目途はどのような状況か。</p> <p>②平成22年度の国家予算において医療費が削減されたが、地域医療再生交付金申請の結果はどうなったのか。</p> <p>③新病院は高度医療の病院だということだが、目指すものがいま見えないう感じがする。</p> <p>軽度の病気については、現病院を残して診てもらうのか、それとも地域の医者に診てもらうのか、その辺りの医療体制について教えていただきたい。</p>	<p>病院長、各診療科長の人選が重要です。名古屋大学や浜松医科大学等の関係機関から来てもらえるよう、袋井市とも歩調を合わせ、関連大学との連携を密にし最大限の努力を継続しています。</p> <p>また、医師の待遇面での改善を検討しています。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課】</p> <p>政権交代により、当初目指していた地域医療再生交付金の100億円は削減対象となり、25億円に縮小されてしまいました。</p> <p>この25億円については、国から県に対し、中東遠医療圏を対象とする旨の内示をいただきました。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課】</p> <p>新病院の目指すところは二次医療の中で、急性期あるいは小児医療に特化した病院です。</p> <p>袋井市では、現病院を一般診療的な病院として残す話を進めていますが、掛川市では、開業医にまず一次医療を担ってもらうという体制整備をしていきたいと考えています。</p> <p>現病院跡地の有効活用については、地域医療体制整備検討プロジェクトチームで検討を進めています。中間報告やパブリックコメント募集を考えています。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課・ 地域医療体制整備検討プロジェクトチーム】</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>

## 掛川第三・第四地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎掛川幼稚園の跡地有効利用</p> <p>恒久的には、世帯数を増やすための宅地分譲、子供の遊び場の確保、かんからまち余興の準備スペース、幼稚園記念館、避難施設等の案を含む要望案（瓦町検討委員会決議、掛川第三・第四地区賛同）を市に提出しています。</p> <p>恒久的な対策が決まるまでの暫定的な方策を示していただきたい。</p>	<p>地元の意見や、市の考え方、財政の問題を勘案し、最終的な方針を示していきたいと思います。</p> <p>暫定的活用としましては、遊具を平成21年度末までに撤去し、園庭を地元に応場（避難地）として開放する予定です。</p> <p>跡地有効利用を考える上で一番の課題は、施設が耐震基準を満たしておらず、現状のままの使用は難しい点です。</p> <p>【市民安全課（旧：交通防災課）・福祉課・幼児教育課】</p>	<p>D</p> <p>E</p>
<p>◎西保育園の跡地有効利用</p> <p>①城西二丁目地域の自主防災拠点としての利活用</p> <p>②児童公園及び学童保育の補完施設としての利活用</p> <p>③区民交流センターとしての利活用</p>	<p>自主防災拠点としての利用は、耐震基準が満たされていないため、難しいと考えております。</p> <p>【市民安全課（旧：交通防災課）】</p> <p>児童遊園は、昭和40年代から50年代初期に整備されたもので、今後、新たに整備する予定はありません。</p> <p>また、学童保育については、市内に20か所ある学童保育の中にも、これから整備しなければならないところが多くあります。厳しい財政状況である上に、学童保育の補完事業ということでは国・県の補助金が出ません。そのような状況下で、学童保育の補完事業を進めることは難しいと考えております。</p> <p>【福祉課】</p> <p>地元の意見や、市の考え方、財政の問題を勘案し、最終的な方針を示していきたいと思います。</p> <p>暫定的活用としましては、遊具を平成21年度末までに撤去し、園庭を地元に応場（避難地）として開放する予定です。地元からの御要望については、庁内の関係各課と検討させていただいています。方針が固まりましたら地区の皆様と協議をしながら進めてまいりたいと思います。</p> <p>【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）、幼児教育課】</p>	<p>E</p> <p>E</p> <p>D</p>
<p>◎研屋町火災と消防団活動へのOBや自主防災会の利活用</p> <p>研屋町で火災が起きた際、消防団員の不足や、交通整理をする人の必要性を感じた。消防団OBや自主防災会を</p>	<p>消防団員は日ごろ訓練を重ね火災に備えております。火災現場の消防団活動は非常に危険であるため、消防団のOBの皆様には自主防災会として消火活動や避難誘導に協力していただきたいと思います。</p>	<p>A</p>

## 掛川第三・第四地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
利活用できないか。	【消防総務課】	
<p>◎都市計画道路 葛川下俣線事業</p> <p>最初は30年前位に話があり、これが延々と伸びて平成21年度に動き出した。</p> <p>この改修工事を、どの位の優先順位で進めていくのか。また、スケジュールがわかれば教えていただきたい。</p>	<p>平成21年12月3日と4日に、地権者及び沿線住民の皆様を対象に道路事業に対する意向調査(面談アンケート)を実施しました。取りまとめを踏まえて、事業化に向け関係機関と調整を進めます。</p> <p>【都市整備課】</p>	D
<p>◎少子高齢化</p> <p>子供が少ないことは大きな問題であり、年金、保険、病院等すべてに関係してくる問題だと思う。</p> <p>どうしたら安定した社会を守っていただけるのか。市の考えをお聞かせいただきたい。</p>	<p>少子化対策は非婚や晩婚の問題等、福祉課の子育て支援策以外の別の観点からの検討も必要です。</p> <p>今年度策定する掛川市の次世代育成支援行動計画に沿って職場環境の改善やワークライフバランスの周知等、企業への啓発にも努めてまいります。</p> <p>子育て支援として、保育園運営の充実を図ると共に保育ママ事業や認可外保育施設に通う保護者への助成事業等を行い、待機児童対策に努めていきます。</p> <p>【福祉課・保健予防課・幼児教育課】</p>	一 B
<p>◎掛川駅木造駅舎</p> <p>①市としての構想はあるのか。</p> <p>②市議会や市に検討委員会のような組織は設置されているのか。</p> <p>③地区集会のような不特定多数の方が集まる会場で、アンケートをとってもよかったのではないか。</p> <p>④他の地区集会会場で、駅舎の問題</p>	<p>掛川駅北口木造駅舎の耐震化については、JR東海と連携し、掛川の歴史ある素晴らしい「木の文化」を後世に残す事業として推進すると共に、「掛川駅木造駅舎を保存・活用する会」の募金活動に協力をして進めます。市民の皆様方で、駅舎を将来のまちおこしのシンボルとして残していけたらと考えております。</p> <p>【都市政策課(旧：都市整備課)】</p> <p>市議会の中に、経済建設委員会があります。</p> <p>【都市政策課(旧：都市整備課)】</p> <p>20歳以上の市民1,200人を対象にアンケートを実施しました。木造駅舎の保存について、「保存したほうがよい」が50.5%、「保存しなくてもよい」が28%でした。また、市の負担について「補助金や寄付金で負担を軽減すべき」が78.5%ありました。</p> <p>【都市政策課(旧：都市整備課)】</p> <p>25地区のうち8地区の市民の皆様から御意見をいただ</p>	A A A 一



## 掛川第五地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎主要幹線道路の整備計画</p> <p>①下俣二瀬川線は、平成24年度で国道に通じることになっているが、七日町・上屋敷の境の前側橋の工事は今後どうなるのか。七日町区内の交差点への信号機設置に関わるため伺いたい。</p> <p>②宮脇秋葉線の今後の計画に対する見解を伺う（七日町から西が未だに未着手）。整備ができるのかできないのかをお答えいただきたい。</p> <p>③掛川駅梅橋線の今後の計画に対する見解を伺う。</p>	<p>下俣二瀬川線の整備について、橋梁部分と交差点改良が残りますが、橋梁工事は橋の仮設工事も含めるため、膨大な予算がかかります。これを実施するためには、財源確保が必要ですので来年から実施というのは難しいですが、できるだけ早く実施できるように努力していきます。また、その間の交通問題の対策は警察と協議してまいります。 【都市整備課】</p> <p>七日町より西側の宮脇秋葉線ですが、倉真川に架ける橋や家屋移転等補償や土地の用地買収等の多くの問題があり膨大な費用が必要になります。腰を据えて考えていく必要があります。地権者の移転等、見通しを付けながら、地域の皆様と進め方について十分に研究し、事業費の算定もしていきます。 【都市整備課】</p> <p>掛川駅梅橋線の整備については、平成21年度に長谷、高御所、領家地内のL=1,550mの道路予備設計及び概略設計等を実施しています。地図上で道路位置などの線形について机上で設計を行います。 今後の街路整備のスケジュールは、高御所本村工区（L=700m、W=16m、元長谷土地区画整理境～東山沢川）については、平成22年度～平成25年度に詳細設計・用地買収・補償及び埋蔵文化財調査等を実施し、平成25年度から工事を着手をする計画です。 これから地元の皆様と十分協議をしながら進めてまいります。 【都市整備課】</p>	<p>D</p> <p>D</p> <p>A</p>
<p>◎新病院アクセス道路</p> <p>①長谷大池線について、<small>こせんきょう</small>跨線橋の南側に、東名高速道路の下を通り抜ける新しいボックスを設置して欲しい。</p>	<p>今後、病院全体の土地利用計画の造成計画と道路計画を作成してまいりますので、その中で皆様に御意見等をお願いしたいと思います。</p> <p>アンダーボックスは、将来病院西側の区域に区画整理など土地利用の可能性が高まった時期に実施できる計画案でありますので、経済効果も併せ長期的な取組として検討をします。 【管財課（旧：総務課）・道路河川課】</p>	<p>D</p>

## 掛川第五地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>②長谷中央縦貫線の3か所に、信号機を設置し、一時停止の場所を見直して欲しい。</p> <p>また、道の下に逆川が通っているが、改良の必要があれば対応して欲しい。</p>	<p>新規の信号機設置は、年間三、四か所程度です。信号機は公安委員会に設置していただくこととなりますので、積極的に要望してまいります。交通量が多く危険な交差点から優先的に整備を進めることとなります。</p> <p>今後、新病院建設に向けての道路整備の中では、主要な道路の方向が変わることもあるため、一時停止など交通規制のあり方、路面表示の仕方もについて、公安委員会と協議してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D
<p>◎鳥居町交差点付近の通学路問題</p> <p>①天浜線高架下の歩道が狭く、集団登校をしていると特に危険。</p> <p>②歩行者用信号機の南北方向側の青信号が短い。</p> <p>③信号機西側の待機場所の歩道が狭い。交差点の待機場所が、4か所のうちサークルKのところ以外は全て狭い。</p>	<p>県袋井土木事務所から、天浜線橋げたの隣にボックスを抜いて歩行者が安全に通れるようにするのは、非常に困難であるとの回答がありました。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p> <p>信号機の時間については、路線全体の流れと交通量を考慮すると単独での調整は困難です。</p> <p style="text-align: right;">【市民安全課(旧：交通防災課)】</p> <p>昨年、警察と一緒に現地確認をし、鳥居町交差点にグリーンベルトのペンキを塗り、安全度が増しました。</p> <p>①から③を含めて実施可能な安全対策を、地元の皆様、県袋井土木事務所、公安委員会と共に検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D E D
<p>◎高齢者に対する地域福祉のあり方と今後の展望の一考察</p> <p>掛川第五地区の高齢者100人にアンケートを実施したところ、近所の人のおしゃべりを楽しみにしている人が多く、たまり場を求める意見もあった。</p> <p>高齢者が気軽にたまることのできる「おしゃべり会館」を提案するので、少しでも援助をしてもらいたい。</p>	<p>介護予防事業については、地区社会福祉協議会を中心とした介護予防を含めたネットワークづくりを始めています。施設は新たに整備せず、公会堂等今ある公共施設を有効利用していただきたいと考えています。どのような形で実現可能なものにしていくかを検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【高齢者支援課】</p>	D
<p>◎二瀬川の県道拡幅と右折帯</p> <p>拡幅工事が遅れているようなので、早くやってもらいたい。</p> <p>また、スムーズに右折ができるようにしてもらいたい。</p>	<p>二瀬川第二地区沿道整備土地区画整理事業については、平成21年10月28日に現状及び今後のスケジュールについて袋井土木事務所及び市役所(都市整備課、道路河川課)により地元(二瀬川区)説明会を開催しました。区画整理区域内の下俣二瀬川線については、引き続き県</p>	D

## 掛川第五地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
	<p>と連携を取りながら進めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p>	
<p>◎倉真川と逆川の合流地点の公園計画 倉真川と逆川の合流地点が公園になるという話があった。橋の陰に、たまり場のような小さな公園を造るという話だったが、市では現在どのように考えているのか。</p>	<p>倉真川に架かる歩道橋の事業と併せて計画実施していきたい旨を伝えてきましたが、公園事業の全市的見直しを図る中で今後の事業実施時期について関係者と協議を重ねていきます。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p>	D
<p>◎小学校における除草剤使用 テレビで、除草剤は体内に50年残ると言っていた。 小学校で除草剤を使うのをやめてもらいたい。</p>	<p>現在、学校で除草剤を使用することは法令で禁止されているわけではありませんが、極力使用を控えてもらうようお願いしています。どうしても使用しなければならない時は、学校や保護者に対する周知を徹底するようお願いしています。</p> <p style="text-align: right;">【学校総務課】</p>	一
<p>◎掛川自動車学校(株)の公共用地（河川敷地、道路敷地）の利用について</p> <p>①自動車教習コースから河川敷地を外させることを求める。</p> <p>②河川敷地が自動車教習コースであったため、(株)オカノが店舗開発する際に、開発行為により上流の配水を下流に排水させる河川工事ができなかった。店舗用地を貸した地権者の土地利用に障害を持たせてしまったので、掛川自動車学校(株)、県公安委員会、掛川市の連帯責任による回復措置を求める。</p> <p>③平成19年10月16日にした自動車学校の河川条例に関する質問事項に対する回答が未だに無いため、速やかに回答されたい。</p> <p>④河川条例第5条により河川占用の許可期間は3年以内となっているが、松井市長はどのような理念を持って許可手続きに対処するのか伺う。また、前</p>	<p>水路の占用については、昭和30年代に島田土地改良事務所との協議により許可されたものと思われませんが、直ちに許可を取り消すことは困難です。今後宮脇秋葉線の整備に伴い都市的土地利用が進展することも予測されますので、秋葉通り浸水対策事業により下流水路の負担を軽減するよう努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D

## 掛川第五地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
市長はいつ許可手続きをどのようにされたか伺う。		

南郷・西南郷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎南郷地区の排水計画（水害対策）            神代地川と両排水路に関わる水害対策について、改善のための要望書を市当局に上申している。</p> <p>①上張排水路については平成20年度末から、下流域において一部対応工事を実施している。かなり進捗はしているが、JR等との対応が一部あり、未だ要望に沿った工事が完了していない。速やかな対応をお願いします。</p> <p>②葛川排水路については、上張排水路の工事完了後に対応したいとの回答を担当課からもらっているが、青葉台区及び杉谷区に隣接した地内に(株)大高による紅葉台と称する約200区画の宅地造成化計画が現在進行中である。計画によれば、当開発地内には3つの分水嶺があるため、調整池は3か所に設置し、排水は8cmの感度に絞って葛川排水路に流すというものだが、葛川排水路は現在オーバーフローをきたす状況にある。下流域の改修工事实施後に葛川排水路への排水を行うようにする、あるいは調整池からの排水は一定の降雨量を上回った場合についてはマンホールポンプ等により別方向に流すようにする等が、安全安心のためには選択肢の一つではないか。業者指導を含め、市当局の真摯な対応をお願いします。</p> <p>（2つの排水路は、いずれも飽和状態にある。市当局においては、10年1スパン位の期間での駅南全体に関わる排水の将来計画について検討いただきたい。）</p>	<p>上張排水路については、新幹線側道橋のかさ上げにより合流部の通水断面を確保する工事を実施します。また、トヨタホームからバイパス的な管路整備をしています。トヨタホームの少し南側の部分も、来年度の整備を考えています。</p> <p>葛川下水路については、<sup>ぼくろぼし</sup>馬喰橋の方が流末となって逆川に合流しています。御指摘のように、青葉台南側の紅葉台へ約200戸の建物が建設されると、雨水はいったん調整池に蓄えられ、小さな穴から放流量をしばり葛川下水路に流れてきます。葛川下水路は断面の狭小な部分もありますので、上張下水路に引き続き浸水対策を検討してまいります。</p> <p>また、開発地の緑の保全や道路計画も大事なことです。水問題と緑の保全も含めて、開発者の指導をしてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	<p>D</p>

## 南郷・西南郷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎緑の精神回廊「川南回廊」の整備要望</p> <p>掛川城周辺ばかりに目がいきがちな緑の精神回廊について、全体像と本来のコンセプトを再認識していただき、今後進められる新病院建設等と併せ、2点について要望する。</p> <p>①利神新池の駐車スペースを拡張し、安全対策等必要な環境施設整備を行うこと。多くの市民や来訪者が喜んで使えるような施設としていただきたい。なお、菖蒲ヶ谷池東側の山林は久保区内の防風対策として、できるだけ現状維持を図るようにしていただきたい。</p> <p>②東名小笠PA下りの東側ボックスから富士見台霊園に至るルートを整備すること。</p> <p>③神社・仏閣、掛川東高校、病院、墓地公園、果樹公園、花鳥園を上手くつなげていくような散策回廊を整備して欲しい。大型バスや乗用車が入ってくるような道路を要望しているのではなく、財政が厳しい中でもそんなにお金がかからないと思われる休憩所、案内板、遺跡の説明等の整備に、市当局の御理解と若干の御支援をいただきたい。</p>	<p>掛川城周辺ばかりを見ているわけではなく、年次計画に沿って推進を図っていきます。いただいた御意見も踏まえて、新たな計画作りから始めていきたいと思っています。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p> <p>利神新池付近の駐車スペースの暫定整備として砕石敷き均しと安全柵などを実施しました。</p> <p>西風を防ぐのも大事であることに加え、病院の8階から墓地公園が見えないようにするにはどうすればいいかということで、菖蒲ヶ池東側の山を残す計画があります。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p> <p>新病院建設事業の進捗を見据え、地元などからの求めに応じて協議をします。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p> <p>精神回廊というのは、広い道路を造るとか、近代的な公園を造るとかいうものではなく、既存の残された資産を生かしながら、それも市民の皆様と協働でつくりあげていくことが一番大事だと思っています。これからも地元の皆様と協議しながら進めます。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p>	<p>D</p> <p>D</p> <p>D</p> <p>D</p>
<p>◎三位一体の活動</p> <p>地区区長会、地域生涯学習センター、地区福祉協議会、この三位一体の活動がこれからの掛川市の中心となるため、努力していただきたい。</p>	<p>平成22年度末に制定を目指す市民自治活動基本条例を策定する中で、地域自治のあり方も議論になると思います。これと並行して、統合的な地域自治組織についてシステムも含め、検討していきたいと思っています。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p>	<p>D</p>
<p>◎新病院の跡地利用問題</p> <p>平成21年5月、市長及び市議会議長宛に計5人（南郷・西南郷・上内田・</p>	<p>病院跡地利用計画については、平成21年8月1日に、地域医療体制整備と新病院退院後の受け皿として慢性期</p>	<p>A</p>

## 南郷・西南郷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>西山口地区区長会長、東名 I C 周辺区画整理の会代表) の連名で要望書を提出した。</p> <p>これは、跡地を健康と安全安心の総本山と位置付け、急性期治療の受け皿として、さらには毎年増え続ける高齢者医療対策として中東遠医療圏域を対象とする施設への利活用をお願いしたいという趣旨である。</p> <p>その後の当問題に対する進展具合と、同じような問題を抱える袋井市がどのように考えているかをお聞かせいただきたい。</p>	<p>医療、リハビリ施設、療養施設等をどうするかを検討するプロジェクトチームとしてスタッフを新たに配置し、いろいろな議論をしています。これから、できるだけ要望に応えるような形で計画作りをしていきたいと思っています。</p> <p>袋井市では、現病院を療養施設のような形で残していきたいという話が進んでいます。掛川市の現病院も、利用できるものは利用していきたいと思います。民間の療養病床的な機関が来てくれればということも含めて検討していきます。袋井市とは少し違った形になるかもしれませんが、これから検討を進めていきますので、御理解をいただきたいと思います。</p> <p style="text-align: center;"><b>【地域医療体制整備検討プロジェクトチーム】</b></p>	
<p>◎南郷地域生涯学習センターの改築</p> <p>平成19年に機能や条件として、最低200名を収容できるホールが欲しいことや河井邸記念館の要素を設けること等を含めて、市長に要望した。</p> <p>現在の見通しを教えてください。</p>	<p>南郷地域生涯学習センターの建設については、施設規模や部屋割り等を決めるため、平成21年に基本設計の発注をしました。地元の要望についても、発注した基本設計の委託要領の中に「南郷地区の意向を反映するため地元との協議を行うこと」という項目を含めました。</p> <p>財政事情もありますので、地元の協力をいただき、打ち合わせを行い、活動や管理体制等の整合を図りながら建築可能な基本設計の策定を進めてきたいと考えています。</p> <p style="text-align: center;"><b>【生涯学習まちづくり課 (旧：地域振興課)】</b></p>	A
<p>◎地震時の給水活動</p> <p>8月11日の地震時には給水車が出動し、水をもらう人が数珠つながりになった。</p> <p>市内には高層ビルを経営している企業があり、そのようなところは地下タンクを持っていると思われる。そのような設備を有効に使って、災害時にはいち早く助け合えるように企業と協定を結ぶ等、話をしておいたらどうか。</p>	<p>民間ビルの受水槽を活用することは有効であると考えますが、施設の改良等も必要と思われます。</p> <p>災害時、一般市民に給水が可能な場合、各業種組合を通じた災害時協定のようなものを結んで利用することができるか、市民安全課 (旧：交通防災課)、消防本部、水道部等の関係部署を含めて検討するようにしたいと思います。</p> <p>なお、消防本部は消火用水として、事業所等が設置してある防火水槽や消火栓を使用することはありますが、民間ビルの受水槽等は使用することはありません。</p> <p style="text-align: center;"><b>【市民安全課 (旧：交通防災課)・水道工務課・消防総務課】</b></p>	D E

## 南郷・西南郷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎アパートのごみ問題</p> <p>上張区でもごみ問題で苦慮している。特に、年度末等の移転に伴い新しい人が増えると、市や管理会社が説明してもなかなか浸透しない。</p> <p>全地区の問題として、市で検討することを提案する。</p>	<p>転入時に分別マニュアルを渡して説明し、分別が悪いアパートについては、管理会社やオーナーを訪ねて指導をしています。それでも改善されない場合は、アパート独自でごみの集積所を造っていただき、市の収集ではなく、管理会社が費用を負担して持って行ってもらうよう依頼しています。市でできることは、これからも一生懸命取り組んでいきますので、引き続き御協力をお願いします。</p> <p>【環境政策課（旧：環境保全課）】</p>	A
<p>◎京徳池の草刈り</p> <p>市役所内の農業振興、都市整備、地域振興課の3つのセクションがそれぞれ予算を持っていて調整が上手くいかないようだが、側道に草が残らないように草刈りをしていただきたい。</p>	<p>草刈りについては、できるところは地元のかたにやっていただき、地元のかたがやれないようなところは行政がやります。</p> <p>【農林課（旧：農業振興課）・道路河川課】</p>	D
<p>◎市から頼まれる役員</p> <p>交通指導員、クリーン推進委員等、役員の数が増えて担う回数が多くなり、持ち家の人が兼務することが多い現状にある。</p> <p>1回、2回の会議に出席するだけの役員が多く、その人の資質による働きが見えてこない。</p> <p>市として、引き受けた人がうまく活動していけるよう、指導等のフォローをしていただきたい。</p>	<p>市の様々な施策を推進する中で、各自治区や地区に役員をお願いしており、誠にありがとうございます。地域によっては同じ方が複数の役を受けざるを得ない状況にあることも承知しております。役員の選出の依頼にあたっては適正な人数の検証と、役員の役割の明確化・指導等に配慮するよう、担当課に対しても周知してまいりますので、今後とも事業の推進に御協力をお願いいたします。</p> <p>【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p>	A
<p>◎掛川市・袋井市新病院</p> <p>新病院は、どのようなところに力を入れて、また、どのような医療を目指して建設するのか。そのようなことを考えて情報提供をお願いしたい。</p>	<p>二次医療を中心とした医療ということが基本となります。詳細については、平成22年度に新病院基本計画を策定し情報を公開いたします。</p> <p>【企画調整課】</p>	一

## 上内田地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎少子化対策と子育て支援</p> <p>上内田地区は児童数が減っている。現在、就学前の乳幼児数は、どの位居るのか。また、児童数の増えるような対策はあるのかお聞きしたい。</p> <p>また、少子化対策と子育て支援についての考えをお聞きしたい。</p>	<p>少子化をどう食い止めていくかを考えた時に、子育て支援策を、市と国、県とが連動していくことが必要だと考えています。そして、雇用確保ができるような産業振興も必要です。</p> <p>今後の児童数の推移ですが、平成21年 5 月 1 日現在の資料では、上内田小学校区の 0 歳児が 26 人、1 歳児が 21 人、2 歳児が 17 人、3 歳児が 13 人、4 歳児が 19 人、5 歳児が 17 人ですので、0 歳児が 1 年生になる 6 年後の上内田小学校の生徒数は、113 人と推計しています。</p> <p>学童保育は、地元運営のものと社会福祉協議会へ委託して運営しているものがありますが、社会福祉協議会の委託事業の見直しと合わせ、学童保育の運営を地元運営に統一していくことを前提に、今後職員の処遇等を改善してまいりたいと考えております。さらに20箇所学童保育所の情報交換をしながら保育技術を高めていただくことを考えています。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課・学校教育課】</p>	D —
<p>◎市営住宅「和田団地」</p> <p>今まであった戸数の約半分である 45 戸が、平成24年度に完成すると伺っているが、もう少し増やしていただきたい。</p> <p>あるいは、広い土地があるので、その土地を有効活用して住宅等が増える施策を考えていただきたい。</p>	<p>市営住宅について、現在、市の置かれている財政状況を考えますと、民間の力を導入することを再検討する必要があります。ある意味では人口減少に歯止めがかかるのが住宅団地ですので、地域の意見を伺いながら調整・対応していきたいと思っています。</p> <p style="text-align: right;">【都市政策課（旧：建築住宅課）】</p>	D
<p>◎旧老人福祉センター施設及び跡地</p> <p>この施設はアスベストの問題があり、なかなか官民共に有効活用が難しい状況だが、市のほうで何かいい考えがあれば伺いたい。</p>	<p>アスベストの撤去費が、土地の評価額と同じ位の費用となってしまうことがわかっており、処分・活用について方向性は確定していません。現在は、暫定的にブラジル人学校に貸与し使用していますが、当該施設の形状等から、恒久的な学校としては最適ではないので、こちらとの兼ね合いも考慮しつつ検討を進めてまいります。</p> <p>これまでは申し訳ないことに、草刈り等の管理があまりできていない状況でしたが、当分は使用者である学校側によりある程度の管理が確保される見込みですし、市の担当課も十分注意して、良好な管理に努めてまいります。</p>	D

## 上内田地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
	<p>また、隣接農地への進入路確保のため一部分筆し、農業振興課に管理を所管替えをしました。建物については普通財産への切り替えをしております。</p> <p>【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）・高齢者支援課】</p>	
<p>◎掛川高瀬線の諸問題</p> <p>現在は片側1車線で、アップダウンが相当あるが、将来的には片側2車線の道路になると聞いていた。</p> <p>市道認定されるという話もあったが、上内田から掛川高瀬線に通じる3本の道路も含めて、今後の整備計画がどうなっているのかお尋ねしたい。</p>	<p>片側2車線にする等の要望に対する農林水産省の見解として、掛川高瀬線は農道として整備をしたので、これを市道にして整備を進めていくことは、現時点では難しいということがあります。</p> <p>農林水産省の考え方がまだ示されていないので、国の回答を待つて対応をしていきたいと考えています。</p> <p>お話のあった3本の道路については、本日配布した地区別主要事業の資料に掲載しております。</p> <p>【道路河川課】</p>	D
<p>◎公共交通空白地域の解消</p> <p>上内田にも3か所の公共交通空白地域があるが、他の掛川市内にも何箇所もあり、順次、解消されていると聞いている。そのような話も参考に、上内田としても何かいい方策があるのかお聞きしたい。</p>	<p>市では、公共交通空白地域において、路線バスに代わる公共交通手段として、地区が主体となって交通弱者の通院などを担う「地域福祉バス事業」に対し補助金を支出しており、原田地区及び東山口地区で取り組みがなされ、交通弱者にとって貴重な取り組みとなっています。</p> <p>路線バスは、運行に多額の経費がかかり、その結果、市として多額の赤字補填をしている現状がありますので、「公共交通あり方検討委員会」において、公共交通の総合的な見直しを検討しています。</p> <p>【都市政策課（旧：都市整備課）】</p>	D
<p>◎農家経済の安定と地区の活性化が図られる事業計画</p> <p>ここ数年の茶価の低下により、茶農家としての存続が非常に難しい状況になってきた。</p> <p>農道掛川高瀬線の所期の目的を考慮していただき、農家経済の安定と地区の活性化が図られる事業計画をお願いしたい。</p> <p>また、農地造成による農業振興、ららぽーと磐田のような商用施設、つま恋のようなレジャー施設、工業団地等</p>	<p>地域の活性化を図る地域づくりをしていかなければならないと思っています。産業の無いところには人口定住が無くなるわけですので、産業の誘致も必要です。</p> <p>ただ、産業の誘致の前に、茶園をどのようにして生産性の高いものにしていくかということです。お茶の消費拡大のために、これから3年間かけて「掛川スタディ」という名のもとに医学的な効能を実証していきます。掛川市の基幹産業である茶産業をどう復興・再生していくかということを一義的に考えていただきたいと思います。地区の皆様の意見を聞きながら、検討をしていきます。</p>	D

## 上内田地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>を計画して土地を有効利用すると共に、雇用の場を作ることにより、地区の活性化を図ることが大切だと思う。</p>	<p>土地利用の計画については、都市計画のマスタープランが平成21年3月末に出来上がりました。</p> <p>農道掛川高瀬線周辺の土地利用に関してマスタープランには、「自然的な環境を保ちつつ、農業またはその他の各種の産業の場として利活用できるよう考える」と、示してあります。土地利用については、市に話を持ち寄りながらいろいろなことを地域の問題として抱え込んで考えていけたらいいと思っておりますので、地域でもう少し輪を広げた中で来庁していただけるとありがたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【農林課（旧：農業振興課）】</p>	
<p>◎下水処理場設置時の条件である農道田島水洗線拡幅</p> <p>農道田島水洗線300mを4mに拡幅することが、下水処理場を設置する時の条件であるのに、予算が付かないということで、未だ測量も何もやっていない。</p> <p>今までどのような予算要求を上げてきたのか。平成21年度も予算が付いていないようだが、今後、市としてどう考えているのか。</p>	<p>平成21～22年度で測量設計を行い、その後、用地の御協力をいただきながら整備を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	A
<p>◎通学路の草刈り</p> <p>つま恋の北側、杉谷団地側道の草刈りを定期的にお願したい。</p>	<p>地域の人が草刈りを出来ないようなところは行政が対応しますが、市民の皆様と行政が協働して草刈り問題についても対応が進んでいけばありがたいと思っております。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D
<p>◎通学路への一時停止の標識若しくはカーブミラーの設置</p> <p>杉谷団地の下、東名ガード付近、側道の花屋からガードの方へ左折する箇所にて一時停止もカーブミラーも無く、非常に危ない。一度、現地を確認して何らかの対処をしていただきたい。</p>	<p>一旦停止標識については、警察にて対応しました。</p> <p style="text-align: right;">【市民安全課（旧：交通防災課）】</p> <p>現地確認を行い、減速のためのドットラインや危険を促す路面の着色などの予算確保に努めます。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	A B
<p>◎産業廃棄物の不法投棄で消えてしまった道路</p> <p>平成21年6月8日に要望書を提出したが、佐々木製茶前の市道を産業廃棄</p>	<p>「消えた道」については、道路形状を復元するよう、道路河川課より土地所有者に対し指導は進めています。</p> <p>また、産業廃棄物（建築廃材）につきましては、廃棄物</p>	A

## 上内田地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>物業者が埋めてしまい、道路が消えてしまった。元の道路に戻すために、行政がしっかり指導して不法投棄業者を減らすようお願いしたい。</p>	<p>の処理及び清掃に関する法律により、撤去命令等できませんので、早急に整理整頓するよう本人へ指導していきます。その他、違法建築と思われる資材置き場については、屋根等を撤去し建築確認を要さないものにするよう、都市政策課（旧：建築住宅課）から指導していきます。併せて、地元区としても、監視をしていただき、違法と思われる行為が発覚した場合、写真撮影等をして物的証拠を収集していただくようお願いをし、御理解をいただいたところです。</p> <p style="text-align: center;">【環境政策課（旧：環境保全課）・道路河川課】</p>	

## 西山口地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎掛川東環状線の早期完成</p> <p>東環状線は平成4年に都市計画決定されている。平成14年度の地区集会で提案し、その後、地区集会や要望書等をお願いしているが、再度、その後の取り組み状況及び現状について伺う。</p>	<p>県道の延長という考えですので、機会があるごとに県に早期着工完成を要望していきます。</p> <p>平成21年度予算で、概略設計と事業手法検討の調査を実施しています。調査結果が出れば、地元協議会へ報告させていただく予定です。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p>	D
<p>◎宮脇保育園の跡地利用</p> <p>西山口地区区長会長、地域生涯学習センター長、地区福祉協議会会長で、跡地利用についての要望書を平成21年3月24日付けで提出した。（東部地域包括支援センターの移転、満水生きがいデイサービスセンターの誘致、地震・災害対策としての公共空間の確保・利用、地域の公園としての利用、子育て支援施設、高齢者の憩いの広場の利用、その他地域に必要な利用を提案）</p> <p>同年3月31日に閉園されましたが、跡地利用についてどのように考えているか、市当局の見解を伺う。</p> <p>また、暫定的に運動場だけ地域に開放することはできないのか。</p>	<p>地域医療体制整備検討プロジェクトチームを設け、仮称「地域健康医療支援センター」構想の中で東部地域拠点として平成22年度中の開設を目指し、満水生きがいデイサービスセンターの移転も合わせて進めています。平成22年度の予算要求（社会福祉協議会へ負担金として支出）済みです。</p> <p>また、運動場の使用につきましては、平成22年9月開設を目指して「地域健康医療支援センター」の整備に入りますので、難しいものと考えます。ぜひ御理解をいただきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【高齢者支援課・幼児教育課】</p>	B
<p>◎「環境資源ギャラリー建設基本協定」等に基づく事業協定の履行</p> <p>事業協定は、環境資源ギャラリーを造る時の条件である。財政が厳しいというのはわかるが、それを理由に先延ばしという理屈は通らないのではないか。</p> <p>出来る出来ないではなく、出来るようにするための努力をしているのかというところをもう一度聞きたい。</p> <p>①（仮称）満水新駅について、過去1,000万円近くの調査費をかけながらも、現在進展していない。まちづくりの観点からも、事業協定に則った駅を考えていただきたい。</p>	<p>満水新駅については、掛川市の総合計画で位置づけをしています。平成21年3月末に出来ました都市計画マスタープランの中でも明記をしております。人口を増やす、企業誘致をすることに対応できる土地利用計画を進めていきたいと思っています。なお、JR東海では新駅設置の条件は乗降人数が5,000人以上で、見込まれる状況に</p>	D

## 西山口地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>②高畑1号道路から逆川延長に伴う、成滝区（本村地域）に渡る本村橋の実施計画が判然としていない。</p> <p>③財政が厳しいという割には、今まで満水新駅の調査費に1,000万円近くのお金をかけている。一歩でも前進させ、調査費を無駄にしないようお願いしたい。</p>	<p>なれば検討事項となると言われています。</p> <p style="text-align: center;"><b>【都市政策課（旧：都市整備課）】</b></p> <p>今後5年間かけて検討しましょうということです。非常に厳しい財政計画ですので、整合を図りながら、5年以内には地元へ御報告をしたいと考えています。</p> <p style="text-align: center;"><b>【道路河川課】</b></p> <p>平成14年、16年と調査を行いました。JRに対して、この駅は採算性があると納得してもらえそうなデータを作る調査です。</p> <p>満水新駅については、JRが来る度に話はさせていただいております。調査の中に、理想の駅を作った場合どこがいいのかという調査報告もありますので、JRと協議をする中でこの調査費は活着ているということで御理解をいただきたいと思ひます。</p> <p style="text-align: center;"><b>【都市政策課（旧：都市整備課）】</b></p>	<p>D</p> <p>D</p>
<p>◎東遠広域都市計画事業・掛川市宮脇第一土地区画整理事業の進捗状況及び今後の見込み</p> <p>①事業完了日まであと数年となり、今後、町名や地番の整理をはじめ本工事も残り少なくなりつつある現状を踏まえ、今後の課題（問題点）と見通しをお聞かせいただきたい。</p> <p>②区画整理事業終了後、固定資産税の負担が増えるのではないかと住民は不安に思っている。固定資産税負担の推移について御教示いただきたい。</p>	<p>当事業は平成5年に事業化され、現在16年経過しており、平成22年3月末には進捗率95%となる予定です。事業もほぼ計画通り進んでおり、平成22年度には概ね工事も完了し、予定通り平成25年3月には換地処分（新町名・新地番・地積等）の公告を行い、その後、法務局への登記と併せて清算金の徴収交付業務を行います。</p> <p>町名・町界・地番につきましては、委員会を設置し、現在検討をさせていただいている最中であり、平成21年度内にはまとめまして、平成22年6月または9月議会で諮っていきたく思ひています。</p> <p style="text-align: center;"><b>【都市整備課】</b></p> <p>区画整理地内は、事業完了後の翌年度から評価が変わります。</p> <p>具体的には、当該年度の評価額をもとに個別の評価をさせていただくこととなります。参考に、平成21年度における固定資産税の評価額に比べて、区画整理施工済みの標準宅地の評価額は場所によっても違いがありますが、平均で約1.2倍程になると言われています。</p> <p>ただし、農地については、登記地目が農地で現に耕作されている土地は農地評価ということです。</p> <p>いずれにしても、区画整理の土地は事業完了時に税務</p>	<p>—</p> <p>—</p>

## 西山口地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>③平成24年に区画整理が終わる予定だが、終了前に 304戸の地権者を集めて、今までの経過を説明していただき、これをもって区画整理事業が終わるといふ地権者集会を開いてもらいたい。</p>	<p>課で現地確認をする予定ですので、何か御不明な点、御心配な点があれば、税務課へ御相談いただければと思います。</p> <p style="text-align: right;">【税務課】</p> <p>区画整理事業には、公共団体施工と組合施工とがあります。組合施工の場合には解散総会がありますが、公共団体施工というのは、換地処分と言ひ、登記に関することや精算事務があり、その通知を出します。その時点で皆様方と説明会を行います。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p>	A
<p>◎後藤興業の進出</p> <p>後藤興業がリサイクル施設を満水地内に造るといふ話を聞いた。コンクリートの破碎処理をするということは、環境が悪くなり、公害問題が発生する恐れがある。事前に説明が無かったことも問題である。</p> <p>市は事情を承知していたのか。また、その場合はなぜ説明をしなかったのか。</p>	<p>現在、(株)後藤興業さんと移転についての交渉を継続中です。また、庁内では関係課の担当者による移転先候補地の検討打合せを実施しています。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p>	A
<p>◎8月11日の地震を受けての防災対策の見直し</p> <p>①小学校体育館に避難をすることになっているが、その収容能力に不安を抱いた。</p> <p>西山口小学校に避難をする人数を考えると、1/7か1/8位しか収容できないのではないかと。避難者が何人位までなら対応できるのか、想定をして対策を立てているのかお聞きしたい。</p> <p>②今、体育館のトイレは、男性用小便器が2つ、大便器が1つ、女性用が2つしかない。対応をどう考えているのかお聞きしたい。</p> <p>③自主防災組織や地区福祉協議会を、今後、どの程度連携をして対応してい</p>	<p>地震が発生した場合、全員が西山口小に避難する必要はありません。家の倒壊などで住む所が無くなった方が区で定める一次避難地、二次避難地さらに市で定める広域避難地（西山口小）へ避難することになります。</p> <p>西山口小の避難者の受入れについては、あらかじめ開放区域が定められており、約900名の受入れが可能と考えています。ただし、各自が避難せずに済む対策が重要ですので、避難所運営連絡会等で周知しました。</p> <p style="text-align: right;">【市民安全課（旧：交通防災課）】</p> <p>掛川市では約600基の簡易トイレを備蓄しています。災害時には広域避難地に優先的に配布します。</p> <p style="text-align: right;">【市民安全課（旧：交通防災課）】</p> <p>自主防災組織とは、避難所運営連絡会等で連携強化を図っています。</p>	A  A  A

## 西山口地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>こうと考えているのかお聞きしたい。</p>	<p>災害時においては、自主防災組織が主体となり、区長会や地区福祉協議会などとも連携を図る必要があります。地域防災訓練等を通じて相互に協力して訓練を実施するなど地域の状況に応じた連携強化を推進していきたいと考えています。</p> <p style="text-align: center;">【市民安全課（旧：交通防災課）・福祉課】</p>	B
<p>④県からの地震情報の把握について、どのような状況で県から入ってきているのか。</p>	<p>県とはホットライン（衛星・地上）電話、FAX（衛星・地上）等で情報が入ってきます。</p> <p style="text-align: center;">【市民安全課（旧：交通防災課）】</p>	A
<p>◎新病院完成までの現病院の堅持</p> <p>どんなに早く造っても、平成24年度末に新病院ができるわけだが、それまでのおおよそ4年間は、現病院が存続しなければ困る。</p> <p>市立病院の医者が、開業するために辞めるという話も聞くし、心筋梗塞になったら困るという話も聞く。新病院ができるまで、現病院を、現状、又はそれ以上の体制で堅持していただきたい。</p>	<p>循環器の医師1名が、開業することによる人員補充については、病院長と共に市長も交渉を進めています。あらゆるルートを使って、医師の確保に努めています。</p> <p>平成24年度末まで、医師の確保、また、万全な体制の維持に関して、新しい病院を造ると同時に最大限の努力をしていきたいと思います。</p> <p>診療科目の医師が減ったところについては、袋井病院をはじめ近隣病院と連携しながら対応しております。市民の皆さんに心配をかけないような医療水準の維持に努めていきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【病院経営企画課】</p>	A
<p>◎救急医療の現状</p> <p>救急医療の現場を見ていただきたい。救急で運ばれてくる8割方は、その日、その時でなくてもいい人である。市民の皆さんが先生を忙しくし、救急医療も十分にできない状況になり、辞めて開業していくというのが現状だと思う。</p> <p>市民の皆さん一人ひとりが、今行くべきなのかどうか、しっかり考えて受診して欲しいと思う。</p>	<p>緊急を要しない多数の患者さんの来院は、重症患者の治療に大きな影響を及ぼします。</p> <p>ぜひ、市民の皆さんも救急医療を使う時には、御配慮をお願いしたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【病院経営企画課】</p>	一

## 東山口地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎防災拠点「消防東分遣所」（救急救命）の設置</p> <p>以下、4つの観点から、消防東分遣所の設置を要望する。</p> <p>(1) 掛川市東部地域は中央消防署から4kmから20kmも離れている。</p> <p>(2) 非常に高齢者の割合が多い地域である。救急車の出動回数3,344回のうちの1,577台が高齢者の対応と聞いている。</p> <p>(3) この東部地域では病院等の医療機関が無いので、早期の医師の対応が望めない。</p> <p>(4) 道の駅掛川あるいは22世紀の丘公園、又は東部工業団地があり、人が大勢集まる地域となっているので、災害時を含めて救急車の必要性が非常に高くなる。</p>	<p>東山口地区が消防・救急の空白域であることは認識しております。防災拠点としての中央消防署の建て替えを第一に考えております。消防・救急広域化の枠組みとともに、分遣所建設などの市民の安全安心を守る対策について検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【消防総務課】</p>	D
<p>◎基幹農道伊達方・公文名線の完成はいつか</p> <p>①完成している道の駅から市道八坂橋西方線の交差点までの4つの約束事はどうなっているのか。</p> <p>(1) 法面並びに歩道の草刈り（年2回）</p> <p>(2) 歩道の舗装</p> <p>(3) 街路灯の設置</p> <p>(4) 交差点へのカーブミラー設置</p>	<p>草刈りに関して、国道から千羽岩崎、北西の方へ行く既に通したのものについては、年2回、これは農業関係の事業ですが市道になっているので、道路河川課で草刈りはやっています。伊達方公文名線の草刈りについては、後ほどきっちりとした内容で精査したものを区長さんを通じてお伺いしたいと思います。</p> <p>歩道舗装に関しては過去の議事録が見あたらず、県担当者にも確認をしましたが、本来農道整備に伴う歩道部は補助対象とならず負担金も発生することから、未舗装となっていると思われます。農道整備完了市道移管後に地区要望をあげていただき、対応をお願いしたいと思います。</p> <p>街路灯に関しては設置を計画しておりませんが、防犯灯の設置は可能です。ただし、市民安全課（旧：交通防災課）への申請が生じ、地元で設置、電気料は自治区の御負担となります。</p> <p>カーブミラーに関しては、現整備区間に伴う危険と思われる箇所には事業の中で設置していきますが、既に事業完了区間等のところには地区要望としての対応をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">【農林課（旧：農業振興課）・道路河川課】</p>	A

## 東山口地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>②現在までに1,620mが完成しているが、残りの1,243mの事業計画を教えてください。</p>	<p>平成22年から、菊川へ抜ける710mと伊達方へ抜ける533mの整備を進めていきます。これは県事業ですので、事業に参画するという同意もいただいているところです。</p> <p>通常、このような事業については、県も事業期間を5年と設定します。1期は5年の予定が7年で完成し、2期についても、5年の予定を7年ということで、少し延びている状況にあります。今回、平成22年から平成26年の計画で進めようと、静岡県、菊川市、掛川市で相談し、平成26年度完成という計画です。</p> <p>整備費用としては、まだ6億2,000万円ほどかかります。掛川市は、県に対して事業費の1/6の負担金を出しており、それを菊川と折半します。掛川市は5年間で約1億円の負担をしなければなりません、財政状況が大変な時期にあります。隣の菊川市も、県も財政が大変な時期であります。このような状況だと、平成26年完成という計画は少し間延びする可能性があることを御理解いただきたいと思います。予定通り事業には着手していきたいと思いますが、そのスピードが少し遅れるかもしれないということになります。</p> <p>なお、政権交代による農道事業に対しての国の政策等に注視する必要があり、今後、整備手法及び期間等の変更が生じることもあります。</p> <p style="text-align: right;">【農林課（旧：農業振興課）】</p>	C
<p>③完成後の要望の再確認をしたい。</p> <p>(1) 交差点への信号機設置</p> <p>(2) 草刈り（2年に1回）</p> <p>(3) 照明の設置</p>	<p>信号機に関しては、通学路で危ないところだということで、早速、公安・掛川警察署と調整・要望をしています。その要望の際に、掛川署の担当課長が言うには、伊達方まで抜けた時にどのような交通量になるのか、その状況を踏まえないと、現状では信号機をすぐ付けるという判断はできないという回答でした。地域の事情と、子供さんの安全が一番だと思いますので、信号機設置について要望していきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【市民安全課（旧：交通防災課）】</p> <p>御当地の伊達方公文名の草刈りについては、後ほどきっちりとした内容で精査したものを区長さんを通じてお伺いしたいと思います。その辺、御容赦願いたいと思います。</p> <p>行政が草刈りをする場所は、例えば、堤防だと急峻なところ、市民の皆様をお願いするわけにはいかないところです。できるだけ地域の皆様がボランティアとしてや</p>	D

## 東山口地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
	<p>っていただけたらありがたいというお願いをどこの地区集会でもさせていただいています。</p> <p>※③の(3)照明の設置については、①の(3)と同じ。</p> <p style="text-align: right;">【農林課(旧：農業振興課)】</p>	
<p>◎県道菊川停車場線の拡幅</p> <p>新田の菊川へ抜ける道路を、学生が自転車通学をするが、非常に道路が狭く、毎日危険を感じている状態である。以前から話をしているが、その後、話がない。小規模な予算で結構なので、道路を拡幅して自転車通学できるような状態にして欲しい。早急に安全を守っていただきたい。</p>	<p>トンネルを含めて拡幅をしなければならないと思っていました。市としてもいろいろと陳情要請はしてきております。</p> <p>掛川市も県も財政状況が悪い中ですが、掛川の中で一番古いぐらいのトンネルで、耐震補強もされていない状況ですので、これからも優先順位を高めて対応していきたいと思っております。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	C
<p>◎伊達方の隧道の拡幅</p> <p>伊達方の隧道は非常に狭くて、通学の学生だけでなく。車同士の擦れ違いもままならない。袋井事務所の所長に直接申し入れをして、トンネルの北側に立て看板を作らせた。ところが、草が茂って看板が見えないことがあったので、再度、袋井土木事務所に申し入れをしたことがある。</p>	<p>大変財政状況が厳しいので、しっかり知恵を出して、看板を立てても草で見えないという状況が無いよう、少しでも安全・安心な通行ができるよう要望していきます。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	C
<p>◎乳幼児センターの設置</p> <p>近い将来、さかがわ幼稚園が生まれ変わると、東山口も活気が出てくると思う。話を聞いていると、お金が無いとかお金がかかるからということで、幼稚園がどんどん縮小されていかないかという心配がある。</p> <p>一つ目のお願いとして、子育てサークル「みんなであそぼう会」が幼稚園の一角で活動できるようにして欲しい。親子で活動できるような一室が欲しい。</p> <p>二つ目として、南向きの温かな幼稚園を造っていただきたい。</p>	<p>子育て支援センターについては、地域バランスやニーズを考えながら、施設の適正配置について考えていきたいと思っています。</p> <p>さかがわ幼稚園には、通常保育終了後に在園児の預かりが必要な場合に利用していただく、預かり保育室を設けたいと考えていますが、子育てサークルの活用などについて検討をしていきます。</p> <p>北側の傾斜が危険なため、平成22年度に県単事業の急傾斜地崩壊対策事業により擁壁を建設する予定です。</p> <p>それとの関連を考えながら、園舎につきましても、位置、向き、I字形にするかL字形にするかということも含めて、検討をしていきたいと思っています。</p> <p style="text-align: right;">【幼児教育課】</p>	A

## 東山口地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎住宅団地・市営住宅の建設</p> <p>①東山口は、全体的に戸数が増えていない。新しい工業団地も造っていく上で、住宅の受け入れ体制を整えていたきたい。</p> <p>②逆川の雇用促進住宅の跡地はどうするのか。</p>	<p>掛川市がこれから市営住宅を整備することについては、まだ100%意見がまとまっておりませんし、議会にも説明をしてありませんが、公営住宅は造らない方針でいます。人口減少に歯止めをかけるために、いろいろな民間の住宅施設の誘致には積極的に努力していきたいと思っています。</p> <p>国の基準は高さや部屋の関係で、鉄筋コンクリートで建設すると坪75万円ぐらいします。民間建設のコストと全然違います。家賃はやはり決められた低家賃です。所得に応じて家賃が決まります。非常に採算性が低いということがわかっています。やはり、民間の施設を借り上げるという対応をするのが、安価で対応できる方法だと思います。もちろん、国の補助金はありますが、市の負担も大きいということも御理解願いたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【都市政策課（旧：建築住宅課）】</p> <p>逆川の雇用促進住宅は、(独)雇用能力開発機構が管理運営しており、現在、民間事業者で購入希望者がいれば売却されることとなりますが、購入希望者がいなければ取り壊され、跡地は売却される見込みです。</p> <p>国の方針としては、平成26年を目途に逆川の雇用促進住宅を廃止する予定です。</p> <p style="text-align: right;">【商工労働観光課】</p>	D
<p>◎遊休施設・余剰施設（学校の空き教室）の利活用</p> <p>現在の財政事情や社会経済事情を鑑みると、新しい住民ニーズに関して、新しい施設を造ることはなかなか困難な状況だろうと考える。</p> <p>小中学校には、児童生徒数の減少により、空き教室等がある。子育て支援センター等乳幼児を抱えた親とその子供達がお互いに交流するような場に利用出来ないのか。あるいは、そういった施設を今後、市民に開放する事が可能かどうか。</p> <p>教育施設の目的外利用の問題や、学校の管理上の問題等があるかと思うが、その点についてどのように考える</p>	<p>厳しい財政状況ですので、可能な限り学校の空き教室を利活用していきたいと思っています。</p> <p>現在も既に学童保育のために部屋を使ってもらっています。今後も余剰教室があればそのようなことは可能ですが、御意見のとおり、目的外使用をしていただく場合は、その用途により、学校の管理上の問題もありますので、そのようなこともあわせて検討させていただきたいと思っています。</p> <p style="text-align: right;">【学校総務課】</p>	D

## 東山口地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>かお聞きしたい。</p>		
<p>◎後藤興業の進出 白紙に戻ったということなので、少し心配がなくなったかと思う。しかし、これからまだ新エコポリスの5区画をやっていくので、市民が不安にならないような企業の誘致をお願いしたい。また、このようなことが事後承認のような形になってしまっているため、事前承認の仕組みを取っていただきたい。</p>	<p>まちづくり協定遵守のため、事前に了解をいただくように進めていきます。 新エコポリス内の企業には、用地売却の際には事前に届け出をするよう徹底しました。 【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）・商工労働観光課・都市整備課】</p>	A
<p>◎中小企業憲章 企業の経営者と従業員が一緒になって、掛川市へどのようなことをしていくのかという内容を含んだ中小企業憲章を、2年位の間に作ってもらいたい。</p>	<p>庁内や関係団体で検討をし、またアイデアをいただきたいと思っています。特に、中小企業の皆さんが、今の景気を含めて非常に大変な状況にありますので、ものづくりの掛川市としては、国・県だけでなく掛川市としての対策の必要性も感じていますので、努力していきたいと思っています。重ねてお知恵をいただきたいと思っています。 【商工労働観光課】</p>	D
<p>◎千羽インターの交差点への信号機設置 交差点は道路が非常に入り組んでいる。どのような信号機が設置されるのか等、地元への説明があってしかるべきだという事を強く要望する。</p>	<p>掛川警察署にて地元と調整をし、設置計画に地元の意見を考慮しました。平成21年度中に設置完了。 【市民安全課（旧：交通防災課）】</p>	A
<p>◎さかがわ幼稚園の着工時期・計画 さかがわ幼稚園の建て替えの説明があったが、いつ着工なのかわからない。具体的に今後、どのような形で話し合いを持って、いつごろ着工するのか。</p>	<p>園舎北側斜面の傾斜が危険なため、平成22年度に県単事業の急傾斜地崩壊対策事業により擁壁を建設する予定です。 園舎は平成22年度に設計をして、平成23年度に建設ができたかと思っています。地区と保護者の方に説明をしていきたいと思っています。 【幼児教育課】</p>	A

## 日坂・東山地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎日坂・東山地区の住宅問題</p> <p>①日東地区は、青地を白地に変えることができないのが現状で家が建てられない。東山地区の全体的な考えは、畑総で整備していない茶園を白地にして住宅を建てるというものである。市の考えはどうか。</p>	<p>まちづくり3法が改正され、青地から白地に変えるのも厳しくなったと聞いています。住んでいる人達はその地域に住めなくなるのいいのかどうかということもありますので、あらためて国・県と協議をしていきたいと思ひます。</p> <p>この地域の農業を守っていくのは農家の皆様ですので、現場の実情をよく踏まえて、皆様がここで暮らせるような対応を、市として県に強く要請していきたいと思ひます。</p> <p>農振制度は5年に1回のスパンで見直されています。最近では、平成19年度、平成20年度の2か年をかけて新しい農振の計画が定められました。今後、四、五年経つと新しい農振の整備計画を立てる予定です。その時に、この地域の住宅の移転先予定地として、将来のこの地域としてのコンセンサスづくりをしていただければ、その意見を農振整備計画に反映し、県と協議していきたいと思ひます。5年スパンでの地域としての土地利用構想を皆様に練っていただくのも一つの方法だと思ひています。住宅用地確保問題は、原田や倉真など掛川市山間部の共通テーマだと思ひていますので、地域の皆様との協議を重ねて現場の実情を把握して、これからの農振整備計画の策定に当たって、県に要請していきたいと思ひます。</p> <p style="text-align: right;">【農林課（旧：農業振興課）】</p>	D
<p>②日坂小学校グラウンド向こうの広い場所等、市有地が二、三か所あるため、払い下げて住宅を建てることを考えているかお聞きしたい。住宅を増やしたいというのが、日坂・東山地区の願いである。</p>	<p>旧日東中学校へ住宅団地を造って欲しいというお話をいただきました。面積は全体で約8,000㎡あって、17区画位できます。1区画80坪位です。小笠山麓株式会社という第3セクターに委託をして、整備計画を平成20年度に作りました。区長さんに見ていただき、まずアンケート調査をして、17区画全部販売できるということになれば、計画に入っていきたいと思ひています。市の土地を安価で譲り受けて、宅地造成を行うのはここが一番いいと思ひます。ただ、ゲートボール場になっていますので、地元の皆様と代替地を検討する必要もあると思ひます。</p> <p style="text-align: right;">【管財課（旧：総務課）・生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p>	D

日坂・東山地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>③農振について、5年に1回の見直しがあるということだが、どのような組織でどのような召集がかかるのか。</p> <p>④農業委員会でやるということは、農家の人が大半ということである。若い人達が分家をしようとしても、分家する場所が無く外に出るしかないという現状もある。全体のことを考えるのに農家だけでは話にならないと切に感じる。</p>	<p>農振の見直しの時には、地元の代表のかたと、掛川市全体あるいは地域の将来計画について相談し合って決めていきます。主には農業委員に対して、農業委員会の場で、農振の毎年2回の随時変更や5年に1回の変更について御相談しています。将来の掛川市の農業振興について協議し、見直しをしているのが実情です。その他に、個別案件として年に2回、5月と10月に随時変更として、農家の分家住宅や農振除外について御相談をして進めています。</p> <p style="text-align: right;">【農林課(旧：農業振興課)】</p> <p>随時変更による農家住宅の移転や分家住宅に建設など人口増加に係る住宅政策については、地域の農業やその他の産業を支える面からも、県と協議し農振法との整合を図り、出来るだけ地域内に誘導しています。</p> <p style="text-align: right;">【農林課(旧：農業振興課)】</p>	<p>D</p> <p>D</p>
<p>◎粟ヶ岳の茶文字の下刈り</p> <p>平成20年度の予算で、粟ヶ岳の茶文字の整備ができた。茶文字自体の整備はしてもらったが、木の周りの雑木は地元の有志、区の役員、財産区の皆さんで整備をした。茶文字の下草は財産区が管理しているが、急傾斜地なので、もう草刈りが要らないのではないかと、そこを刈らなくても他の所を刈れば十分だと手を抜く形が増えていく気がする。そうすると、雑木はどうしても幹をよく出してしまうので、今後の管理の仕方について、市はどう考えているのか教えていただきたい。</p>	<p>茶文字の事業について平成20年度は、静岡空港の開港に合わせて掛川市のお茶の名声を高めるため、飛行機が通過するところにある茶文字を整備する必要があるということで、一時的に対応をしました。しかし、市内のいろいろなところに同様なケースもありますので、「市が管理します。」と言うことは現段階では難しいと考えています。東山財産区の持ち物なので、管理をお願いしたいと思います。ただ、雑木の管理が難しくなってきたこともあるので、検討しながら、どのような方法が一番いいのか考えていきたいと思っています。現時点では、行政が肩代わりするのは難しいですが、管理委員会とも相談しながら進めていきたいと思っています。</p> <p style="text-align: right;">【農林課(旧：農業振興課)】</p>	<p>D</p>
<p>◎地上デジタル放送</p> <p>民放3社が粟ヶ岳中継所を持っている。民放との折衝を市のほうでもらいたい。</p> <p>粟ヶ岳から電波を出していただければ、倉真も原田も粟本もきれいに映ると思う。</p>	<p>平成21年9月14日、市役所にて、東山、粟本、倉真の地区区長会長3氏とNHK他民放4社の担当者との話し合いの機会を持ちました。</p> <p>各放送事業者からは、「粟ヶ岳山頂の中継所は、各中継所間を継ぐためのもので、家庭用の電波を流すことは技術的に困難であり、家庭用については多くの方が中部</p>	<p>E</p>

## 日坂・東山地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
	<p>電力の共聴施設で難視聴はカバーできるので、御理解願いたい」旨の話があり、各地区区長会長とも一応の御理解は得られたと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【 I T 政策課】</p>	
<p>◎日坂・東山地区の今後</p> <p>当地区は過疎地になっており、農業も良くない。市として、当地区をどのような位置づけで考えているのか。今後どのようにしていくのか。</p>	<p>掛川市北部の中山間地域は、地理的条件等が市内でも不利であり、市内の中で過疎化が進んでいる地域として共通の課題を抱えている一方で、条件の違いにより、地区ごとで異なる課題もあると認識しています。このため、今後、地域課題に積極的に取り組もうと考えている地区について、支援・サポートを検討しています。</p> <p>私は、選挙公約として、地域自治組織を作りたいと検討しています。地域自治組織の中で地域がどうあるべきか、地域課題を地域の皆様がどう考え解決していくのか、そのようなことに取り組む組織を作りたいと思っています。生涯学習土地条例も含めて、いろいろなことを総合的に検討する場づくりを、行政もお手伝いをしながら進めていきます。これからのまちづくりは行政主導というよりも、地域の皆様の考えを聞きながらまとめていきたいと考えています。地域が持っているポテンシャルを活かしていきたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）・ 農林課（旧：農業振興課）】</p>	<p>B</p> <p>D</p>
<p>◎まちづくり委員会</p> <p>①倉真にまちづくり委員会があるが、日坂でもやっていかないといけないと思った。市と協定を結んで進めていくと聞いたが、一つの進め方として効率なのかお聞きしたい。</p>	<p>倉真では、土地条例に基づく水質浄化型のまちづくり計画を作って、協定を結んで農業集落排水事業を誘導し、市と協定を結んで6年目になりました。その中で、水質浄化だけでなく、地域のいろいろな問題点をその中に含めて、あるべき将来の倉真地区について皆で相談して計画を立てました。3つの大きな柱があります。「暮らしやすさの向上」、「地域の活性化」、「自然や昔から伝わる文化を大事にする」、この大きな3つを目標に掲げて、これから派生する10項目の具体的な目標を作りました。区長さんは1年か2年で交代してしまいましたが、道路づくりは5年も10年もかかります。ですから、そういうことを進めるには、専門的にずっとボランティア活動をしてくれるように、まちづくり委員会を別組織として作りました。「区長会があるのになぜまちづくり委員会を作るのか」という違和感も当初はありました。</p>	<p>D</p>

日坂・東山地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>②市と協定を結んでいると、優先的な動きをするのか。</p>	<p>しかし、進めていけば事業も誘導され、水質浄化で虫が飛ぶようになれば、10年位したら皆気づいて、地域づくりは地域の皆でやっていくものだということが少しずつ確認されていると思っています。</p> <p>どのような形であれ、地域の将来プランを一緒になってやっていくような工夫を、これから「生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）」が窓口になってやっていきたいと思っています。</p> <p style="text-align: center;">【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p> <p>まちづくり土地条例では、この地区をどうしていきたいかということをご様が考えた時に、まず、特別計画協定促進地域の指定を受けていただくことになっています。そうして、ある程度のまちづくり計画ができた時に、地権者の8割以上の同意を得たうえで特別計画協定区域の指定と段階を進めてまいります。地区にまちづくり委員会を設置していただき、市との共同作業によりまちづくりを考えていきます。</p> <p>そもそも、この土地条例とは、バブルの時代、土地が投機目的に使われた時代に、乱開発を防ぐ目的でできた条例です。今はバブルも一段落して、水質浄化のような形で、川の水をきれいにし、市町村設置型の合併浄化槽の設置を推進することに使われています。</p> <p>地区をどうしていきたいかは、行政と地区が一緒に考えていきたいと思いますというのが、まちづくり土地条例の基本的な考え方です。</p> <p style="text-align: center;">【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p>	D
<p>◎日坂・東山地区の茶園</p> <p>日坂・東山地区の茶園面積は、200ha位ずつである。重点項目として農林関係に取り込んで欲しいと切に思っている。</p>	<p>お茶は基幹産業の一つだと思っていますので、支援できることはしていきたいと思っています。生産者の方に頑張ってもらえるような精神的な支援も努力していきたいと思っています。</p> <p style="text-align: center;">【農林課（旧：農業振興課）】</p>	D
<p>◎掛川駅木造駅舎</p> <p>建物は文化のシンボルだと思う。文化を作るのは、そこに住む人間である。約1億円かかるとすると、写真だけパネルで残していただき、JRに全額負担してもらおうのほうがいいと思う。昭和29</p>	<p>掛川駅北口木造駅舎の耐震化については、JR東海と連携し掛川の歴史ある素晴らしい「木の文化」を後世に残す事業として推進するとともに、「掛川駅木造駅舎を保存・活用する会」の募金活動に協力をして進めます。</p> <p style="text-align: center;">【都市政策課（旧：都市整備課）】</p>	B

## 日坂・東山地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>年に合併した旧掛川町の人にとっては、文化のシンボルだと思うが、他の人にとっても果たしてそうなのか。そのために約1億円使うのなら、さかがわ幼稚園や新病院のアクセス道路の整備に使ってもらった方がありがたい。</p>		
<p>◎お茶の振興            国文祭で、駅から掛川城の間に茶香炉を千鳥に100m位置いて、お茶を焦がして、香りのストリートを作っていたきたい。            お茶の日は、いい葉っぱの日である11月8日、もしくはお茶の文化を考えて11月3日がいいと思った。</p>	<p>掛川駅通り名店会等の協力を得て、15店舗の店先に茶香炉を設置いたしました。  <b>【生涯学習まちづくり課(旧：生涯教育課)】</b></p>	A
<p>◎情報格差問題            平成21年3月、インターネット回線の不備のため、計画されていたIT教室が開けなかった。その後、何か対処をしているのかお聞きしたい。            この辺りはインターネットが遠く、金谷のほうから線を引いている人もいる。            また、新聞が朝来ない。郵送料を払って取っている。            ちょっとしたことでもお嫁さんが来にくいこともあります。子供が少ないという点からも、小さなことを改善していただければありがたい。</p>	<p>情報格差を解消して欲しいということだと思います。コスト面もあり、時間がかかるかもしれませんが、解消できるような手法を検討していきたいと思います。光もケーブルテレビもいろいろな制約がありますので、それも含めて全体的に情報格差が解消できるように考えていきたいと思います。  <b>【IT政策課】</b></p>	D
<p>◎富士山静岡空港への案内看板            旧道の方から来ると空港への案内看板が出ていない。バイパスの方は出ているが、そちらから行くと大代インターから空港に行くことになり、大変遠回りになる。            バイパスを途中で降りて旧道に入り、一番山頂から南へ入ると早いので、案内看板を出せないものか。</p>	<p>そのような意見は他からもありますので、県の袋井土木事務所に連絡しました。バイパスの場合は、国・県との設置場所等の協議も必要です。まず、県にお願いをして回答をもらうので、少し時間がかかると思います。  <b>【道路河川課】</b></p>	C

## 日坂・東山地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎富士見台霊園の石碑            平和観音（戦勝観音）の方は立派な説明書きがあるが、富士見台霊園の大きな黒い石碑には説明が無く、見ても何もわからない。戦争に関連した大事なものだと思うので、説明が欲しい。予算は厳しいと思うが、小さな看板ならそんなにお金がかからないと思う。まず、周知をしてもらい、例えば、小中学生の総合学習の時間や、一般の見学コース等に利活用し、後世に伝えていていただきたい。</p>	<p>忠魂碑の説明版については、忠魂碑後ろのコンクリ壁面裏側に石版が埋め込まれており、その中に説明文「建立慰霊詞」が刻まれています。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課】</p>	A
<p>◎防災ラジオと同報無線            ①防災ラジオが当地区で確実に聞けるようにしていただきたい。</p> <p>②同報無線の受信機を消防団員時にもらってから25年経っており、音が出たり出なかったりする。壊れたら次のものをもらえるのか。</p>	<p>日坂・東山地区については、平成21年度に希望するすべての世帯（戸別受信機既設置者を除く）に防災ラジオを配布し、家の中でも同報無線を聞くことができるようになりました。なお、受信感度が悪い場合には、市でアンテナ工事をさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【市民安全課（旧：交通防災課）】</p> <p>設置しているかたのリストは、すべて交通防災課で管理しています。修理に関しても、交通防災課に御連絡いただければ対応します。</p> <p style="text-align: right;">【市民安全課（旧：交通防災課）】</p>	A



## 粟本地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎筋違橋バス停の位置</p> <p>市ではガードレールだけを造るという意識が強いが、バス停を少し移動すれば、バスが停車をしても交通に負荷をかけなくなるのではないか。あそこにある区の防災倉庫をずらして、空間を取るよという話をさせてもらっている。</p> <p>また、水垂1号線の曲がり角にあるバス停の見通しを良くしていただきたい。沼の方から常時水が流れていて、車はそれを避けて大きく回るので、余計危ない。そのような所なので、総合的に改善して欲しい。</p>	<p>市道及び安全対策の整備の状況により、バス停位置の変更が必要かどうか検討します。</p> <p>区役員の皆様と現地立ち合いを行い、ガードパイプの設置、法面への土留め、防災倉庫やバス停小屋の移動など皆様の御理解御協力により、待合いスペースを拡張することができました。山側水路につきましては、今後とも清掃活動など地域の皆様の御協力をお願いします。</p> <p>【都市政策課（旧：都市整備課）・道路河川課】</p>	D A
<p>◎高齢化に伴う買い物困難者のための交通手段確保</p> <p>高齢者が買い物に行くのに非常に不便で、自分の足で買い物をするために以下のようなことができないか。</p> <p>杉谷初馬線をまっすぐ走っている東周りの循環バスを、葛ヶ丘の上の方へ回してもらいたい。</p> <p>東循環がなくなるとしたら、掛川バスサービスの路線を、葛ヶ丘を通して旭ヶ丘、そこからサンゼンの方へ経由して駅の方に向かわせることができないか。</p>	<p>公共交通を総合的に検討するため、市では、平成21年8月26日に公共交通あり方検討委員会を立ち上げ、バスを中心とする公共交通の見直しを開始しました。</p> <p>公共交通については、不特定多数の利用者がおり、生活に深く関わっているほか、福祉としての位置づけもあることから、公共交通あり方検討委員会において、慎重に見直しを図ってまいります。</p> <p>【都市政策課（旧：都市整備課）】</p>	A
<p>◎古いガス管の総点検</p> <p>先日、葛ヶ丘二丁目でガス漏れが起きた。他の場所においても当然起こりうることだと思う。地震があった時に、古い配管が破壊されガスが漏れ出すことが十分考えられる。8月11日の地震では幸いガス漏れが起きなかったが、中遠ガスに一度、総点検を指示してもらえないか。</p>	<p>中遠ガスに内容をお話ししたところ、早速葛ヶ丘全域を調査していただき、異常なしとの回答をいただきました。</p> <p>【消防予防課】</p>	A

## 粟本地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎ap bank fes ボランティアの宿泊場所</p> <p>昨年葛ヶ丘の自治会館を貸しているが、近隣の方から苦情も出て大変なので、たまり～なの規約を改正してお金を取って素泊まりで泊めていただけないか。</p> <p>この周辺は静岡から浜松までビジネスホテルも全部、前年から予約がされているようだ。四、五日間泊めていただければありがたい。</p>	<p>「たまり～な」は宿泊を想定した施設ではありませんが、市としてどのような協力が可能か、ap bankの関係者を交え直接協議をしました。ボランティアスタッフは、延べ3,000人程おり、近隣の民間宿泊施設や公民館などお借りし、それぞれ分宿しボランティア活動をしています。利用が夏場の時期であり、民間宿泊施設以外では風呂・シャワー設備の問題で苦慮されていますので、たまり～なの時間延長や、近隣に他に同様な利用可能な施設があるか検討し、できる限りの支援をして参りたい。</p> <p>また、この機会を通じ全国に掛川市を発信する為、市の窓口を商工労働観光課といたします。</p> <p style="text-align: right;">【高齢者支援課】</p>	A
<p>◎防災ラジオ</p> <p>8月11日に地震があったが、市からの情報が上手く伝わらなかった。防災ラジオを同報無線が受信できるものに切り替えていく話があると聞いたため、各家庭に配布できる数を早急に確保して欲しい。</p>	<p>屋外の同報無線放送で、全ての世帯に情報を伝えるのは限界があります。従いまして、平成21年度より3年間で希望する全ての世帯に防災ラジオを配布していきます。</p> <p>平成21年度は4,100台を、災害に対するリスクの高い方を対象に配布します。無償貸与という形を取ります。</p> <p>平成21年4月からは、同報無線の内容を携帯電話へ文字でお知らせしています。こちらも御利用ください。</p> <p style="text-align: right;">【市民安全課(旧：交通防災課)】</p>	C
<p>◎8月11日の地震に伴う断水情報の開示</p> <p>断水の原因は、震度5ぐらいを感知すると大井川の基が止まってしまうことにより、そこから復旧するのに四、五時間かかるというのを初めて知った。これらの情報が市民に伝わっていないため、混乱を招いた部分もあったと思う。市が持っている様々な情報は、できるだけ広報紙等に載せて開示していただきたい。</p>	<p>掛川の水道水の約85%が大井川広域水道(島田市)からの送水で賄われていること等、水道の情報開示も含めて推進したいと思います。地震発生時は、大井川広域水道企業団に復旧見込みなどの情報提供を申し込みましたが、明確な判断ができず情報が出ませんでした。今後は、大井川広域水道企業団や掛川市災害対策本部との連絡を密にして、復旧の見通しや応急給水等について、混乱が生じない「お知らせ」ができるよう心がけていきます。</p> <p style="text-align: right;">【水道工務課】</p>	A
<p>◎地区要望の対応</p> <p>ある日突然、公園にショベルカーが来て穴を開けた。その日の夕方に公園を使う予定もあったが全く知らず、住民への周知徹底も出来ない状況だっ</p>	<p>申し訳ありませんでした。工事をする手順、工法を事前に詳細に申し上げることが必要ではなかったかと反省しております。これからは気をつけます。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習まちづくり課(旧：地域振興課)】</p>	A

## 粟本地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>た。工事等をする場合は、出来るだけ早く日程情報を教えていただきたい。</p> <p>また、こちらの要望とは違う工法をしていたものがあつた。その工法が最適であっても、事前にお話だけでもいただきたい。</p>		
<p>◎初馬団地汚水処理施設</p> <p>初馬団地の138戸で、汚水処理の施設を持っている。これを市へ移管したいという話を1年半位前からしている。団地独自で下水を持ち続けることに不安を感じている。市で下水を引いたところと同じような管理をしていただきたいというのが、住民の思いである。</p>	<p>平成20年に、初馬団地から要望をいただき検討をしてまいりました。これについては、初馬団地だけを受けられるわけにはいかないということと、用途地域から離れている郊外になるため、開発をした時点において、団地の皆様で管理をしていただくという条件で開発許可をしているという状況もあります。</p> <p>その辺りの事情も考慮していただき、掛川市としてどこまでできるかということ平成21年度の中で詰めていきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【下水整備課】</p>	D
<p>◎新型インフルエンザ発生時の対応</p> <p>もし、城北小で発生した場合、センター活動をどうするのか。市で方針を出すのか、それとも各地域に任せてしまうのかをお聞きしたい。</p>	<p>現在、集会を中止することは言われていませんので、風邪をひいた方は回復するまでは御自宅に居ていただくこととなります。そうではない方々の行動を制限して感染を防ぐという考え方は取っておりません。</p> <p>新型インフルエンザの関係は、情報を出す時は県が統一的な見解を出すとのことです。今のところは、掛川市が独自にいろいろなことを判断するシステムにはなっておりませんので、御了解いただきたいと思います。</p> <p>今回は弱毒性のウイルスによる新型インフルエンザが流行しましたが、この経験を活かしてさらに強毒性のウイルスによる新型インフルエンザの発生に備えた対応策を整えていきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【保健予防課】</p>	A
<p>◎大井川用水の工事</p> <p>平成21年7月24日に立ち合いがあつた。その後、軽微な修復をやっていたが、大きなところの工事着工が遅れており、組の皆さんもだいぶ心配をしていた。</p>	<p>関東農政局大井川用水農業水利事業所により9月中に道路舗装の補修は、完了しています。</p> <p style="text-align: right;">【農林課(旧：農業振興課)】</p>	A

## 粟本地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎市役所部局間の連携</p> <p>民生のことで福祉課へ行って話をすることがある。学校へ行っている子なので、教育委員会にも話が通じているかと思うと、話が全然伝わっていないことがある。</p>	<p>職員には、情報を庁内全体が把握できるようにと伝えてあります。特に、福祉関係の学童保育等、児童・生徒を対象とした事業は教育委員会部局と関係がありますので、連携を密にして対応します。</p> <p>【福祉課・社会教育課（旧：生涯教育課）】</p>	A
<p>◎イベント担当職員の人事異動への配慮</p> <p>例えば、国文祭の担当が、平成20年度末をもって異動になってしまった。関係者が混乱するため、できるだけ避けて欲しい。</p>	<p>一つの事業の終了年度が決まっていれば、できるだけ同じ者が担当するのがいいと思っていますので、これから人事をする時には十分踏まえて対応していきます。</p> <p>【企画調整課】</p>	A

## 城北地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎城北地区浸水対策</p> <p>①計画どおり実施して欲しい。調整池がほとんど無く、水がはけきれない。県の開発行為で許可されている以上、調整機能を果たしているのかいないのかというチェックを誰がしているのか。また、流域変更は可能か。</p> <p>②5年の工事を短縮して欲しい。もっとスピードアップを図ってもらいたい。なぜこんなに時間がかかるのか。</p>	<p>七日新田の二瀬川との境の下水から1本北側のところへバイパス水路を造って、流下能力を高めるという事業を行っています。この事業については、工事は5か年で毎年60mずつ進めています。全体の計画としては、延長距離が227mの整備で、ボックスカルバートを埋設します。全体事業費は1億2,600万円です。側溝をかさ上げして流下断面を広げる、流れの悪いところにはバイパスを造るというようなことをこれから進めていきます。本来ならば、調整池を後追いででも造らなければいけないところですが、用地の問題や排水の系統等を考えなければならず、大変な問題であります。まず、平成19年～24年まで工事を5か年でやって、それから上流の方へ進めていきたいと思っています。</p> <p>流域変更については、基本的には、国道から北の部分については倉真川、そして、国道から南の部分については逆川ということです。流域は容易に変更できません。今のところは、土地区画整理事業ではできません。線的な整備(街路事業)等も含めてこれから考えていきます。すぐにできる話ではありませんが、少し時間をかけて対応をしていきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p> <p>いろいろな面で災害対策、防災対策を重点的に進めていきたいと考えています。ただ、100%ここに予算を付けるのは、今の財政状況では危険だということもありますが、できるだけ優先的な予算配分を心がけていきたいと思っています。どれだけ短縮できるかわかりませんが、検討します。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	<p>A</p> <p>E</p> <p>B</p>
<p>◎宮脇秋葉線及び城西秋葉線の自歩道改良</p> <p>歩道の整備はどのような計画になっているのか教えていただきたい。</p> <p>特に、北門と下西郷の交差点のところについては、子供達が通うのに非常に不便をしている。</p> <p>具体的な計画を教えていただきたい。</p>	<p>上張城西線の十王、中央2丁目地内から整備にとりかかり、城西、城北、中宿に至る区間について早期に事業の取り組みをしていきたいと考えています。宮脇秋葉線についても年次計画を立てて段階的に順次実施していきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p>	<p>B</p>

## 城北地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎城北町の振動</p> <p>城北町は、平成13年か14年ごろ、振動があった。その時は良かったが、また揺れるようになってしまった。</p> <p>元々土地がそのような所で、振動を止めることはできないので、大型車の速度制限をすればいいのではないかという意見がある。</p>	<p>公安委員会とよく相談していきます。</p> <p>特に振動のところは、カルバートというボックスがコンクリートできています。コンクリートの強度と舗装の関係の強度と違います。ですから、何年か経つと、ボックス（水路）の方は沈みませんが、道路の方は沈んでいくので振動になります。また現場を確認します。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D
<p>◎城北小学校へ行く通学路の通路</p> <p>①城北小学校入口の雇用促進住宅の東西から城北小学校へ入る北へ向いた位置、つまり、学校入口のところの道路が狭いので拡幅ができないか。城北小に大型バスが入れない。</p> <p>また、広域避難地の重要地点になっているので、周辺を拡幅して、広域避難地としての位置づけをしっかりと欲しい。</p>	<p>小学校への進入路でありますので、地域として優先順位は高いと思いますが、現在栗本地区では4路線の道路改良を行っています。財政状況もきびしい時期でありますので、早期の事業採択は困難です。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D
<p>◎地震時の水道の取り扱い</p> <p>掛川市内の遮断弁は加速度150ガル以上の地震が感知された際、自動的に閉じる仕組みである。掛川の150ガルと県企業団の250ガルと、どうしてこんなに差を付けるのか理解できない。非常事態なので、水道を止めなければ仕方がないと思うが、すぐ水を通したり、遮断弁を手動で開けたりすることが必要ではないか。</p> <p>止めてしまったから給水車で間に合わせてくれという考え方が、市民にPRされていなかった。</p> <p>また、牧之原市では、水を通したらあちこちで水道管がパンクしていた。掛川市では、水道管の改修が相当進んできているので、その状況を市民に知らせていただきたい。</p>	<p>これまで緊急遮断弁は、震度5で水道管が破裂するかもしれないとの想定で、作動条件の設定を行ってきました。今回の地震では管の破裂はありませんでしたので、設定地の引き上げ等の見直しを行います。また、緊急遮断弁が作動した際の復旧は、エア抜きや排泥作業などを行い通水しますので、時間を要することを御理解願います。</p> <p>それから、お願いします。震度4や5の地震であれば、水道が止まっても職員が給水活動で対応することが出来ます。しかし、震度6強や7となりますと、給水活動は大変困難となります。飲み水や食糧の備蓄は、ぜひそれぞれの御家庭でお願いしたいと思います。さらに、水の問題については総合的に、雨水を貯めることも含めて、防災対応に効果がある手法を市民安全課（旧：交通防災課）でも検討しています。</p> <p>大規模な地震の発生直後は、水道部だけでは対応に限界があります。市民の皆様には、日ごろより災害に対する備蓄をお願いします。また、掛川市では、耐震性の劣る水道管の布設替えを推進しておりますが、塩化ビニル管などの改良が必要な箇所が多くあります。水道施設の</p>	A

## 城北地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
	<p>状況も、水道の情報公開の中でお知らせしたいと思えます。 【水道工務課】</p>	
<p>◎行財政改革審議会 行財政改革審議会は、事業仕分けを考えているのか。事務局は、企画調整課の行革推進係がやるのか。それとも、外部の構想日本（政策シンクタンク）に頼むのか。先進地視察はしたのか。先進地の資料は揃っているのか。市民にどれだけ公開していくのか。その辺りをはっきりさせていただきたい。</p>	<p>事業仕分けは念頭に置いていません。企画と財政サイドで、個々のセクションから上がっているものに対して、事業仕分けと同様のものを行っています。ただ、これが十分機能しないようであれば、第三者機関のようなものが入って事業仕分けをやる必要があると思います。現段階では、平成21年度事業を1億4,000万円程削減したことに加えて、平成22年度当初予算に向けて、3年間の実施計画についても、かなり切り込んだ事業要望を各セクションで出してきました。</p> <p>行財政改革審議会では、例えば、補助金問題、第三者セクター問題等大枠なものを議論してもらい、市長が諮問をさせていただき答申をいただくという作業を10名の審議会委員の中でしてもらいます。事務局は企画調整課行革推進係が担当します。マスコミが入るオープンな形で審議をしていただきます。</p> <p>【企画調整課】</p>	一
<p>◎自治活動基本条例 市民と行政のコラボレーションのものなので、それを市民が理解するための説明会があるのかどうか。先進地視察はしたのか。長野県の下條村、それから天竜川を挟んだ<sup>やすおか</sup>泰阜村の事例は、行革と自治活動の両方を合わせたような形の施策が成功していると思うので、併せて勉強していただきたい。</p>	<p>市民委員会を立ち上げて、平成22年度末の議決を目指して進めています。今までの自治会や、地区福祉協議会、生涯学習センターを機能的に統合する形で地域の課題を地域の皆様がそれぞれ議論し、解決する、あるいは市に提言する、あるいは一部はそこで実施してもらうという自治組織ができないものかと、このようなことも意識しながら検討していただければと考えています。</p> <p>これ以外にも、いろいろなことがあります。例えば、市民委員会を開けばいろいろな意見が出ます。住民投票的なものも出てくるでしょう。情報公開をきちっとやって欲しいということも出てくるでしょう。いろいろな意見をいただきながら、2年かけてこの基本条例をまとめ上げていきたいと、途中経過をいろいろなところで公表、お知らせしていくことはぜひやらなければいけないと思っています。16名の委員の御意見をいただきながら、途中では、広くパブリックコメントのような形もとっていきたくと思っています。</p> <p>【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p>	D

## 城北地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎掛川市の予算 1億4,000万円をどう切り詰めたのか。今、国では八ッ場ダムや高速道が大変話題になっているので、教えていただきたい。</p>	<p>これは保留財源を作ったということです。収入が入ってきませんので、税収が当初予算ベースで数億円足りません。そのため、事業の延伸、縮小及び中止等が可能な事業を洗い出し、財源を確保したということです。例えば、イベントの規模を縮小する、工事施工を次年度に延伸する、あるいは、会議の開催について5回を3回にして、2回分の経費を節約するなどのほか、事業を中止したのものもあります。 【企画調整課】</p>	—
<p>◎新病院の医師確保 立派な病院が出来ても、医者がいなければ意味がない。医師の確保について、どの程度予想が付いているのか教えていただきたい。</p>	<p>新病院ができれば、医者は確保できます。そのような診療科目、医療設備、それから、医者は極めて交通の利便性のいい所に住みたいということがあるので、新幹線のあるところには医者は確保できます。医者は、研修などの時間をたくさん取る病院を期待していますので、交通便利性があり、居住環境もいいということがありますので、医師は確保できるということで進めています。 【企画調整課】</p>	A
<p>◎掛川市木造駅舎のバリアフリー化 懐かしい木造駅舎を誇りに思っている。例えば、エスカレーター等、そういった近代的なものはもっと都合がよくなるのか。</p>	<p>平成20～21年度において、障害者対応型エレベーター3基、障害者対応型多機能トイレ式、連絡通路を整備し、平成22年2月に供用開始されました。 【都市政策課（旧：都市整備課）】</p>	A
<p>◎掛川駅木造駅舎 木造駅舎は、よそには無いひとつの目玉かもしれないが、いろいろなすばらしい駅を見て掛川に戻ってくると、少しがっかりする気持ちもある。反対運動まではしないが、そのような気持ちを持っている人もいる。耐震化してそのまま残すのなら、ある程度それは仕方ないという人も結構いる。そういった意見があることも、少しは理解してほしいと思う。</p>	<p>掛川駅北口木造駅舎の耐震化については、JR東海と連携し掛川の歴史ある素晴らしい「木の文化」を後世に残す事業として推進すると共に、「掛川駅木造駅舎を保存・活用する会」の募金活動に協力をして進めます。 【都市政策課（旧：都市整備課）】</p>	B
<p>◎ボランティアの育成 一人暮らしのお年寄りを訪問していたポパイという高校生ボランティアが</p>	<p>ボランティアの育成については、スマイルプランかけがわ21（地域福祉計画・活動計画）に基づき、市・社</p>	B

## 城北地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>ループがあったが、解散してしまった。民生委員等の間に入って活動するボランティアがなくなったことを非常に残念に思うので、特に、若い人達のボランティアを育てて、ボランティア活動が活発なまちにしていきたい。</p>	<p>会福祉協議会・地域において取り組んでいるところで。 また、平成21年11月の地域福祉推進委員会では、その成果と評価を行いました。新たなボランティアの発掘や養成が課題としてあがりました。 今後は、青年層やシニア世代をターゲットとしたボランティア啓発事業を行うとともに、具体的な活動に向けて進めていく予定です。 <b>【福祉課】</b></p>	
<p>◎駅北中心市街地歩道への点字ブロック設置 最低限、掛川駅北口から階段を下りてタクシー乗り場だけでもいいからお願いしたい。</p>	<p>現在の状況と問題課題の把握に努め、その上でどのような対策が求められるのか検討します。 <b>【都市政策課（旧：都市整備課）】</b></p>	D
<p>◎北門（旧西村家）の空き家対策 北門地内の空き家について、どのような対応をしているのかお聞きしたい。</p>	<p>空き家は、放置しておく地震や放火の危険もありますので、早急に対応をすべきことです。電話等では十分な意思疎通ができないことがありましたので、建物管理者に、平成21年11月10日に直接お会いして意向を伺ってまいりました。 こちらの認識とはだいぶ開きがあり、管理者には著しい危険の認識がないため、危険確認のための市の立入への同意は得られませんでした。現在、同意なく立ち入る場合を検討しているところです。 <b>【都市政策課（旧：建築住宅課）】</b></p>	A
<p>◎市長の目に見える成果 新しい市長になられてあまり日がたたないが、市長が代わられてから、「さすがに」という話が無い。期間が短いので難しいかもしれないが、もう少し見える行動を取ってもらいたい。全てのこと頑張ってください。</p>	<p>「さすがだ」と言われるように努力したいと思います。「選択と集中」ということを考えますと、本来5年でやることを2年ぐらいでやって効果を上げることが大切だと思います。ただ、市民ニーズがいろいろなところであって、現実に予算を付ける時にどこにも不平が出ないように少しずつという手法を取っているため、これは改善をしていきたいと思っています。そういう意味では先ほど5年をもっと前倒しできないかという話もありました。いろいろな地域から不満が出るかもしれませんが、やはり早くやってそこに効果があがるような、少しずつまんべんなくやる政治行政手法から選択と集中ということを申し上げていますので、そのような方向へ舵を切っていきたいと思っています。</p>	C

## 城北地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
	<p>そのため、平成22年度から3年間の実施計画を策定し事業実施にあたり、経費の節減を図ると共に、事業成果の検証（PDCAサイクルの徹底）を行います。</p> <p>ただ、その時に、「私のところは約束したのにやってくれないではないか」という御批判には、「選択と集中だからもっと待って下さい」という言い方もさせていただきます。頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課】</p>	

## 倉真地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎過疎化、高齢化対策</p> <p>松葉は、少子高齢化でなく過疎高齢化の地域である。</p> <p>山間部では若者が都市部に出て行き高齢者が残り、バスが無いため不自由さは年齢と共に増していく。</p> <p>行政は残った高齢者にどのような施策を用意しているのか、過疎高齢化について市長の考えと併せて、市政施策についてお聞きする。</p>	<p>一般論的に過疎地域を脱出するには、道路整備、企業誘致、その地域の特異性や資源活用などを言われますが、現実的に松葉の過疎化を防ぐ具体的な施策があるとは言えない状況にあります。しかし、病気などの救急医療体制の問題は行政として可能な限り対応していかなければならないと思っておりますので、松葉の方に改めて御意見を拝聴しながら方策を検討したいと思います。</p> <p>松葉だけでなく倉真のまちづくりは、まちづくり委員会の組織活動が始まって、市と平成15年に特別計画協定区域を結び、水質浄化、暮らしやすさ、自然環境、地域活性化などが活発に活動展開されているところです。その中で、過疎化と高齢化が進行することに対して若者の定住者増加を図るために、新東名掛川PAの活用構想の一つとして、まちづくり委員会に倉真住まいの研究会の専門部会を設置していただき、平成20年度には「住みたいなあ〜くらし計画」を策定して、住宅用地の開発、空き家・空き地対策として住宅供給の推進を行い、また、本年度は市民活動団体モデル委託事業による「”歩く&amp;走る”マップ」を作成することで、倉真地区の定住と交流人口の増加を目指して、倉真地区独自のまちづくりに努力していただいていることに大変感謝しております。</p> <p style="text-align: center;"><b>【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</b></p> <p>人口を増やしたいという意見と、現在生活している皆様が不自由を感じない生活が出来ないかの2つがあったと思いますが、高齢者支援では後者の、皆様の生活に不自由を感じない、生活に支障をきたさない点について取り組んでいます。</p> <p>現在掛川市では、高齢者になってもいつまでも住み慣れた地域で生活が送れるよう、高齢化対策を推進しております。</p> <p>生きがいデイサービス事業や老人会活動支援をはじめ、要介護状態となるおそれのある方を早期に発見するため「しゃっきり度チェック・ぴんぴん教室」などを行っています。特に、「しゃっきり度チェック・ぴんぴん教室」については、できるだけ参加しやすいように、各地域の身近な公会堂を巡回しています。</p> <p>もう一つは、見守りネットワークを推進しております。倉真でも地区福祉協議会が出来ていますが、1区・2区という小さな単位で見守りネットワークを作っていた</p>	<p>D</p> <p>D</p>

## 倉真地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>①都市計画税を払っているのに、何か施策を出していただきたい。</p> <p>②これからどのような行政サービスができるのか、アンケートの実施をお願いしたい（サービス事例として、以下③～⑥を提案）。</p> <p>③浜松市では中山間地サポートとして、龍山をモデル地区として移動コン</p>	<p>き、市内の包括支援センターと連携して活動をしてください、市内の包括支援センターと連携して活動をしてくださいと思ひます。高齢化が進めば進むほど、お互いに支え合うということを進めていただきたいと思ひます。組織化するにあたり市や包括支援センターがお邪魔させていただき、どのように進めたらいいか相談させていただきます。地区福祉協議会活動や見守りネットワークで皆様が自ら地区を住みよいに改善しようと動いてくださるなら、市も最善の協力をさせていただきます。</p> <p>見守りネットワークについては市社会福祉協議会で進めており、地区福祉協議会が実践しています。高齢者の見守りについては、地域と地域包括支援センターが連携して推進していく体制づくりに努めていきたいと思ひます。 【高齢者支援課】</p> <p>中山間地域の農業、森林振興のために国の施策を充分に活用しながら進めていきたいと思ひます。</p> <p>一つには中山間地域等直接支払制度があります。</p> <p>森林関係ですが、静岡県が山の多面的機能を確保するために「森の力再生事業」のなかで県民税を徴収し、山の手の入っていない山林場所の間伐、作業路等の整備に使用しております。今後も中山間地域の支援を、森の力再生事業を上手く活用しながら、産業面で支援していききたいと思ひます。 【農林課（旧：農業振興課）】</p> <p>市長がお話しされたとおりに、「これは」というものはありませんが、掛川インター、新東名掛川PA等は、中心市街地からはアクセス的には地理的有利性があります。これからは倉真まちづくり委員会と協力をしながら地域振興課も一緒になって市民協同事業等を通じて一緒に考えていきたいと思ひます。 【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p> <p>お話のあった移動コンビニ、グループホームの在宅版、空き家の貸別荘化等については整理をさせていただき、どのように取り組むか松葉のかたも含めて、倉真まちづくり委員会と一緒に検討させていただきます。 【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p> <p>※ ②の回答と同じ。 【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p>	<p>A</p> <p>D</p> <p>D</p> <p>D</p>

## 倉真地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>ビニで必需品配達を行うようである。</p> <p>④部分的な共同生活によって、精神的・肉体的安否確認を行い、寝るのは自宅で、山・畑の仕事の生活というグループホームの在宅版を考えられないか。</p> <p>⑤軽自動車での送迎等の福祉バスが参考になると思う。競輪・競馬・競艇等の援助で手配出来ないか。</p> <p>⑥空き家が目立ってきている。道路脇だと地震の時には危険であるため、持ち主の承諾があれば撤去したいが、費用の補助は出るか。さらに、松葉の活性化として不動産業者にお願いして、空き家をリフォームすることで貸別荘に出来ないかとも思っている。この時に、固定資産税の減免やリフォームした時の利子補給は出来ないか等、いろいろあると思われる。</p> <p>⑦これ以上の過疎化を防ぐ案として、大代ヶ谷に抜けるトンネルを開通していただきたい。</p>	<p>※ ②の回答と同じ。 【高齢者支援課】</p> <p>掛川市の交通弱者対策ですが、現在、原田地域や東山口地域に対して地域福祉バス事業補助を行っております。当地域については、倉真線が一日10便運行されておりますが、その補完対策として、地域福祉バス事業の活用も考えられますので、御検討いただければと思います。</p> <p>市では、公共交通空白地域において、路線バスに代わる公共交通手段として、地区が主体となって交通弱者の通院などを担う「地域福祉バス事業」に対し補助金を支出しており、原田地区及び東山口地区で取り組みがなされ、交通弱者にとって貴重な取り組みとなっています。</p> <p>路線バスは、運行に多額の経費がかかり、その結果、市として多額の赤字補填をしている現状がありますので、「公共交通あり方検討委員会」において、公共交通の総合的な見直しを検討しています。 【高齢者支援課・都市政策課（旧：都市整備課）】</p> <p>※ ②の回答と同じ。 【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p> <p>現在、県袋井土木事務所で2区地内の道路整備を進めていただいています。両方同時に整備を進めることは難しいと思われませんが、今後とも道路整備については強く要望していきます。 【道路河川課】</p>	<p>D</p> <p>E</p> <p>A</p> <p>D</p> <p>C</p>

## 倉真地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>⑧栗ヶ岳公園の整備要望も出してあるため、栗ヶ岳観光施設の値打ちが飛躍するのではないかと思う。</p>	<p>中山間地地域農業、森林振興のための国県施策を活用しながら進めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【商工労働観光課】</p>	D
<p>◎焼津森線の拡幅整備 第二東名PAの共用に合わせ、県道拡幅に対しての市の思いをお聞かせ願いたい。</p>	<p>市としましては、県に毎年、焼津森線の拡幅整備を陳情要請しております。平成21年10月にも知事に要請をしまいいりました。今後とも声を大にして働きかけをし、事業推進を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	C
<p>◎農地保全問題と宅地不足問題 倉真まちづくり委員会の中に、人口を増やすにはどうしたらいいか取り組んでいる「倉真の住まい研究会」というものがある。 難しい問題として、農地保全の問題が一つある。倉真6区から倉真3区や4区に移りたくても宅地が無い状況で、西郷地区の構江区等に出る行くのが数件続いている。倉真地区内に宅地を建てる土地が無いのが現実である。 地域別に将来計画を立てる中で用途を定め直して、昔ながらの青地を見直すべきではないかと思う。</p>	<p>小学校を残そうという運動を進めていただきたいと思います。小学校が無くならないようにすることを目標に、いろいろな施策を展開するまちづくり具体策を行い、小学校を無くさないように、地域の皆様で頑張るというまちづくりをお願いします。市も一緒になって、取り組みに参加したいと思います。</p> <p>1市2町が合併しまして、平成20年に農振計画の定期変更を行いました。定期変更は、おおむね5年ごとに行いますが、毎年2回の分家住宅等の随時見直しがあります。今回、「倉真住まい研究会」の中で再度、倉真の土地利用計画を考えていただき個別協議に当たったらどうかと思います。もう少し将来計画を踏まえた見直しも良いと考えます。用途地域は都市計画事業の中にありますが、農振法は農地を守るために県許可も厳しい状況です。地区がまとまって挑戦すれば、市も一緒に県へ協議に伺います。</p> <p style="text-align: right;">【農林課（旧：農業振興課）】</p>	D
<p>◎家屋耐震診断の予算状況 耐震診断をすると、補助金が出るそうだが、今年は申込みが多く枠がいっぱいのため、来年、再来年だと言われている。予算の見通しについてお知らせ願いたい。</p>	<p>無料の耐震診断は約3万円位で個人負担が無いものは150件、耐震計画書を建築関係者が作る補強計画には若干の個人負担が必要になりますが100件、その計画に基づく耐震補強計画工事には80件分の予算を計上しました。8月11日の地震後は、3週間で50件の申請があり、今後も増加が見込まれますので、増額補正を行いました。</p> <p>耐震診断、耐震設計、耐震補強について、今回の地震で市民の皆様の要望が増えていきますので、大変厳しい財政状況の中、どのように財源を捻出するか検討しております。今後も新たな増加があれば補正予算の追加で対応</p>	A

## 倉真地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
	<p>出来ればと思っている状況です。</p> <p>【都市政策課（旧：建築住宅課）】</p>	
<p>◎学童保育つどいの広場</p> <p>現在、週3日実施しているが、これを5日にしようと思っている。利用者の要望と職員の熱い思いを倉真まちづくり委員会の会合で話し合い、要望書を書き、8月26日に福祉課へ要望書を提出した。その中で、大変厳しい財政状況の説明があったが、あらためて週5日にしていただきたいと要望する。</p>	<p>財政状況の厳しい中で、平成22年度に倉真のパンダ広場を優先して週5日にする予算措置はできませんでした。今後、市全体の事業のバランスも考えた上で前向きに検討してまいりたいと考えております。</p> <p>【福祉課】</p>	B
<p>◎不法投棄と野焼きの取り締まり</p> <p>過疎化した場合に、廃屋が出来る。その中で一番心配なのは、不法投棄と野焼きである。取り締まりや注意をする体制があるのか、あるとすればどのように実施しているのかお聞きしたい。</p>	<p>不法投棄については、業者に10万円単位のお金で処分を依頼しています。不法投棄対策として一番必要なのは、地区で地域を綺麗にさせていただくことだと思います。その時には、市も総力戦で御協力させていただきます。</p> <p>また、ゴミを捨てられないために地区にクリーン推進員や環境保全委員を任命させていただいております。皆様も、何かのついでに回った時に見ていただき、捨てられているものがあつたらすぐに綺麗に片付けることが大切です。市役所と警察とが連携して犯人の割り出しに協力し合い、次の不法投棄につながらないことに努めています。</p> <p>野焼きについては、よその人がいきなり来て火をつけることはありませんので、見張っていただければと思います。</p> <p>【環境政策課（旧：環境保全課）】</p>	D
<p>◎地震見舞金の対応を早急に</p> <p>8月11日の地震で被害を受けてブルーシートがかかっているお宅で、未だに作業ができずに待っているお宅を見るとたまらない気持ちになるので、早急な対応を願いたい。</p>	<p>地震災害の見舞金については、平成21年9月の補正予算成立後、10月1日号の広報紙及び回覧にて周知をいたしました。</p> <p>11月までに報告をいただいた対象者の方には、12月末までに、また、12月以降に報告をいただいた対象者の方については、随時、見舞金の振り込みをさせていただきます。</p> <p>【福祉課】</p>	A

## 倉真地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎特別警戒区域のマップ、マニュアルの提示</p> <p>東海地震は、8月11日の地震の何百倍の規模になると言われている。その対策である特別警戒区域のマップが出来ていると思うので、マップとマニュアルを皆さんに提示していただきたい。</p>	<p>掛川市ハザードマップに示されている土砂災害危険箇所は1,009か所ありますが、土砂災害防止法により土砂災害警戒区域に指定されているのは322か所で、実際に土砂災害ハザードマップが作成されているのは44か所です。残りについては今後調査・指定を進めていく予定であり、随時、土砂災害ハザードマップを作成していきます。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	C
<p>◎休止中のスポーツ振興跡地</p> <p>西郷地区で活用の動きがあると聞いているが、市の対応と今後の考え方を教えていただきたい。</p>	<p>旧スポーツ振興（株）が倒産し、同社が所有していた土地を市が取得し、それ以外が地元の皆様の土地になります。該当地は西郷の区域と倉真の区域があり、地元の皆様と四、五年前から検討を進めております。西郷区域については地元の皆様から、農業公園より工業系の雇用の開発を考えて欲しいというお話がありました。倉真地区は、まちづくり委員会でじっくりと考えるというお話ですので、非常に期待をしています。新たな計画について、西郷地区と相談をしていく状況です。これから地元の皆様と協議させていただきたいと思っています。</p> <p style="text-align: right;">【都市建設部調整室（旧：経済建設部調整室）】</p>	—
<p>◎初馬乙星線の根本的な土砂対策</p> <p>長雨や地震があると土が落ちてくるし、頭の大きさ位の石も三、四個落ちている。毎年、工事をしてくれるのは分かるが、根本的に土砂を取って対策をしていただきたい。予算が無いことは承知しているが、子供が事故で怪我をする前に、石が落ちない防護柵等を造っていただくことはできないか。</p>	<p>あそこの土は、水を含むとどうしようもない状況になるため、水が当たらないようにするか、もしくは水が当たっても大丈夫なようになるべく切るかのどちらかの方法しかないそうです。違う方法がないか検討させていただきます。</p> <p>ブロックが起きてくる件については、計測的な測定を併せて実施しております。昨年、少し動きましたが、今は安定した状態にあり、根本的な方法を探しているところです。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D
<p>◎繁華街の設置</p> <p>新東名は倉真地区の真ん中に当たるため、過疎化・高齢化の対策として食堂・繁華街を設けて欲しい。若者が集まって来るし、それなりの核が出来る。倉真だけに留まらず掛川区域の北部全域に影響を及ぼす。</p>	<p>5haの土地をどのような形で活用するかが最大の問題です。皆様方のお知恵をお借りして、活用方法についても一緒になって進めていきたいと思えます。</p> <p>本年度、掛川PAアクセス道路整備実施設計を実施しています。地区活性化については、今後、第二PA等の構想策定と併せて考えていきます。</p> <p style="text-align: right;">【都市政策課（旧：都市整備課）】</p>	D

## 倉真地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎里在家長間線の今後の計画</p> <p>里在家長間線について、平成21年度には土地を買収して平成22年度には着工という形で進めていたと思うが、今後の計画について教えていただきたい。</p>	<p>平成21年度予定として、詳細設計を計画しています。詳細設計が出来ましたら、地元の皆様にこのような道路でよいか相談させていただきます。そして、その計画で実施するという話になったら、次に、この道を作るにはどのくらい土地を買わせていただきたいという話をさせていただきます。</p> <p>当初は、平成21年度に用地を買わせていただく予定でしたが、峠の山を大きく切り開く工事となりますので、安定な法面の設計を行うため、平成20年は土質調査の方に予算を回させていただき、実施設計をすることが出来ませんでした。若干遅れているというのも確かであり、大変申し訳ありません。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	C
<p>◎消防の広域化に伴う三笠地区への分遣所設置要望</p> <p>引き続き要望させていただく。平成18年12月に粟本、西郷、倉真、原泉4地区の連名で要望書を提出させていただいたが、その後の状況はどのようなになっているか伺う。</p>	<p>三笠地区が消防・救急の空白域であることは認識しております。防災拠点としての中央消防署の建て替えを第一に考えております。消防・救急広域化の枠組みとともに、分遣所建設などの市民の安全安心を守る対策について検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【消防総務課】</p>	D
<p>◎辺地債要望書のその後</p> <p>平成21年初めに、辺地債の要望書を提出した。辺地債の期限があり早く提出したが、事業を辺地債で行うのか他の事業で行うのか連絡がなくはっきりしていないので教えていただきたい。</p>	<p>辺地債要望書の回答については、関係各課に確認後、地元区並びにまちづくり委員会に回答をさせていただいております。</p> <p style="text-align: right;">【農林課（旧：農業振興課）】</p>	A

## 西郷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎三笠幼稚園跡地活用と教育センターの耐震強度問題</p> <p>教育センターの敷地内では、平成22年度の開園に向けて三笠幼稚園の新園舎建設が進んでいる。西郷地区として、三笠幼稚園移転後の跡地をどのように活用したら良いかを検討し、地域福祉活動の拠点として活用していくことが望ましいとの結論に至ったため、平成20年7月に要望書として提出した。</p> <p>教育センターでは様々なスポーツが行われていたが、新園舎の建設により、スポーツ用地としては大変狭くなってしまった。残る用地をスポーツを中心とした多目的広場として活用できるよう整備していただきたい。</p> <p>また、教育センターは耐震強度に問題があると聞いているので、取り壊して欲しい。</p>	<p>三笠幼稚園跡地活用につきましては、厳しい財政状況を踏まえた中で市の基本的な方針を定め、関係各課と調整をして、地元と協議していきたいと思えます。</p> <p>教育センターは大変古く、耐震化してありませんので、現時点では解体する予定です。解体をすると、移転先が必要ですので、まずは移転先を決めなければいけません。</p> <p>学童保育については、現在対応していますが三笠幼稚園跡地は望ましい場所にあると考えます。新年度に同所で事業実施することについては庁内で検討してまいります。</p> <p style="text-align: center;">【福祉課・学校教育課・幼児教育課】</p>	<p>A</p> <p>B</p>
<p>◎スポーツ振興跡地の開発</p> <p>①スポーツ振興跡地は、房総開発によるゴルフ場建設計画が破棄され、市が用地を買い上げたが、以後具体的な開発計画が無い。</p> <p>行政主導により「信頼できる開発業者のパートナー」を探していただき、西郷地区区長会を含めた三者協働による北部開発へ、行政の絶大なる支援をお願いします。</p> <p>②滝ノ谷区から見て神社のある所に、猪等が入ってきているため、山側へフェンス等の設置を要望する。</p>	<p>今の時期としては、土地利用計画はもうしばらく待つしかないと思っています。この辺りは平成16年に土地を購入し、国費で農業公園計画を立てました。市としては、この話は消えていません。優良茶園、花卉園芸、市民農園、酪農等の農業公園ということで、循環型農業のモデル農園を造りたいという意向があります。平成19年に当該計画反対の意思表示をされていますが、畜産の臭いや糞尿処理は技術開発が進められていること等から、一緒に研究をし同計画も選択肢の一つとして再度、考えていただきたいと思っています。</p> <p>アンテナは高く持ち、いろいろな人の意見を聞いています。これはいいということになれば、地元を下ろしたい訳ですが、残念ながらありません。</p> <p style="text-align: center;">【都市建設部調整室（旧：経済建設部調整室）】</p> <p>自然的地形の中に設置するのは、効果面からも疑問があり難しいと思われれます。</p> <p style="text-align: center;">【都市建設部調整室（旧：経済建設部調整室）】</p>	<p>—</p> <p>D</p>



## 西郷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎和光山公園のトイレ</p> <p>和光山公園にトイレが無いとため、せっかく広い公園があっても、なかなか長時間使うことができない。有効に使える環境にさせていただくため、やはり水洗トイレが欲しい。</p>	<p>県等の補助事業を受けながら、財政計画にあわせ事業の実施計画を策定し進めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p>	D
<p>◎和光山公園付近交差点への信号機と横断歩道の設置</p> <p>西谷田梅ヶ谷橋線から和光山公園に入る交差点には、現在、信号機も横断歩道も無い。7月いっぱいにかけてくれるという回答をもらったが、やはりできなくなったと言われた。</p>	<p>横断歩道の設置について、予定よりたいへん遅れましたが申し訳ありませんでした（平成21年12月28日設置完了）。</p> <p>信号機の設置については引き続き要望をしていきます。</p> <p style="text-align: right;">【市民安全課（旧：交通防災課）】</p>	A
<p>◎お茶の消費宣伝</p> <p>お茶農家のこのごろの状況は、大変厳しいものである。北部開発関係で荒地が出そうなのが問題。掛川市も消費宣伝に一生懸命取り組んでいただきたい。</p> <p>新幹線駅でお茶の香りを発信すれば、お金のかからない良い消費宣伝ができると思う。スタッフとしては、農協、農産関係者、商工関係者が考えられる。</p>	<p>「お茶のまち掛川宣言」、「掛川お茶の日（11月8日）」を平成21年11月6日に制定しました。</p> <p>掛川はお茶が基幹産業ですので、消費拡大に全力をあげていきたいと思っています。</p> <p>「掛川スタディ」でお茶の医学的効能が立証できれば、お茶が本当に健康に良いということがわかって世界にも情報発信でき、消費拡大につながっていくと考えます。なお、生産から販売までの一体的な連携が重要視されることから、平成22年度から商工労働観光課内に「農商工連携室」を設け、取り組みたいと考えております。</p> <p>もう一つ、市主催の会議では急須でお茶を出すようにしています。そのくらいお茶については、一生懸命消費拡大に努めておりますので、皆様にも御意見御提言をいただければと思っています。</p> <p style="text-align: right;">【農林課（旧：農業振興課）・商工労働観光課】</p>	B D

## 原泉地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎統合による閉校後の原泉小学校跡地活用</p> <p>平成20年度9月から原泉小学校の跡地活用の方策について話し合う会議「原泉地域創造研究会」が開催されている。</p> <p>跡地活用について、地元住民中心で進めていくことは十分承知しているが、原泉小学校の跡地活用のみならず、原泉地区のまちづくりにどのように協力していただけるのかをお話したい。</p>	<p>小学校跡地活用の基本構想を計画して、平成21年秋くらいを目処に市に対して提案をしていただき、その提案を受けて市では、市長をはじめとする関係部局で構成する原泉地域振興推進委員会で、原泉地区の地域振興策や小学校の跡地利用について方向性を決めていければと考えているところです。</p> <p>平成22年度に基本構想を受けた基本計画、具体的な運営主体、地域と行政の関わり、財源措置、あるいは国県の補助制度や民間団体の支援などを検証し、できれば平成23年以降の利活用について、さらに検討を進めていきたいと考えているところです。</p> <p>【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）・学校総務課・学校教育課】</p>	A
<p>◎小学校跡地利用の検討委員会</p> <p>検討委員会の中で、どのような意見が出ているのか中間報告をしていただければ、皆さんの参考になると思う。</p>	<p>平成20年9月から検討委員会の全体会を10回、6月には分科会として「ささま」への視察を行いました。検討結果の報告としては、「原泉とおき通信」を全戸配布しております。また、いいところ広場の方々も、「いいところ広場通信」を作成しております。</p> <p>原泉は5区ありますので、それぞれに途中経過の報告に参りたいという御相談をしています。全体の中では意見を出せないという方もいらっしゃると思いますので、5区それぞれに時間を作ってくださいればお話に参ります。</p> <p>【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p>	A
<p>◎大和田区へ入るバスの反転地の整備</p> <p>大和田区へ入るバスがUターンをして丹間へ戻ることになっている。そのための反転地を区で確保した。バスが回れるような整備をお願いしたい。</p>	<p>バス反転地の造成整備は完了しました。御協力ありがとうございました。</p> <p>【都市政策課（旧：都市整備課）】</p>	A
<p>◎原泉橋の両側たもとを広げる整備</p> <p>原泉橋は非常に狭く、位置が高いため、両側から車が来た場合、橋の上まで上がらないと対向車が見えず、通行に支障をきたしている。橋の両側のたもとを広くして欲しい。</p>	<p>県袋井土木事務所への要望をしています。橋梁の架け替えは早急には難しいと思いますが、安全対策については前向きな回答をいただいております。</p> <p>【道路河川課】</p>	C

## 原泉地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎道路上に被さる雑木</p> <p>①県道の法泉寺から大和田トンネルに上ってくる道路の上に被さっている雑木によって周囲が暗くなっており、車で通っても支障があるし、イメージが悪くなり、原泉地区が暗いように映る。予算が無くてできないという話だったが、何かいい知恵があればお聞かせ願いたい。</p> <p>②8月30日の愛好の日に向けて、袋井土木事務所と滝ノ谷区長と話をし、地元や地権者の了解を得たら、被さった木を切ろうと区長会で話をしているので、御了解いただきたい。</p> <p>③いつも刈ってもらっている業者があるが、この予算を地元にかけていただければ業者を頼まなくてもできるのではないか。</p>	<p>御質問の問題は、市内各所であります。これは行政だけではできない問題であり、まず、地権者と相談しないとできません。その辺のことも含めて協議させていただきます。ただ、本当に支障をきたす分につきましては、道路維持のほうで対応していきたいと思っております。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p> <p>草刈りの問題等、いろいろな要望がある中で、このようなお話を伺い大変嬉しく思います。危険な箇所については行政でやりますが、危険の無い箇所については御協力いただきたいと思っております。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p> <p>県の予算でやっている中で、それも一つの案だと思います。県の道路維持担当課へ連絡してその対応ができればそれが理想です。ただ、車の手配等がなかなか難しいと思いますので、事前に協議をしていきたいと思っております。</p> <p>一番理想なのは、バケットのような車なのですが、素人がやると危険であるため業者委託になります。草刈りではそんなに危険は無いので、一度、地元委託を検討していただくという申し入れをしたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	<p>D</p> <p>D</p> <p>C</p>
<p>◎いいとこ広場の市公園化</p> <p>いいとこ広場は、地元の人達の手であれだけの公園にした。市の公園にさせていただきイベントを企画したら、もっと利用が増えると思う。公園管理について市から区へ委託して、委託料で運営していくという形にしたらどうか。それでない、もう長続きしていかないと思う。</p>	<p>行政をお願いをせず、自分たちで広場を作ろうという姿勢がすごいという思いです。いろいろな面で素晴らしい場所ですので、今の形態で是非続けていただきたいと思いますが、このまま維持していくのはなかなか大変な面もあると思います。維持するための支援については、いろいろな角度から検討させていただきたいと思っております。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	<p>D</p>
<p>◎原野谷川</p> <p>①原野谷川の位置づけを、市としてどのように考えているのか。</p>	<p>原野谷川は二級河川であり、県が管理する河川ですが、掛川市にとって本当に重要な河川だと思っています。</p> <p>清流を取り戻すような施策展開をしていきたいわけですが、特に、まず、森の力再生事業などを活用し</p>	<p>一</p>

## 原泉地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>②原野谷川は、ダムの下流の大和田区内まで泥が溜まってしまい、とても地元の人達では処理できない位になってしまっている。3年か5年に一度位は泥を取って清流に戻していただければと思う。</p>	<p>た森林・山の再生に干ばつ対策を含めて取り組み、保水力のある山を造って、それから水が豊富な原野谷川にしたいということです。もちろん、不法投棄等により異物が河川に流れ込まないように環境対策については、きちっと対応をしたいと思っております。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p> <p>原野谷ダムに泥が溜まって浅くなっているのを、浚渫する計画を進めています。ダムの浚渫と併せて、沼や汚泥が溜まったものについては、袋井土木事務所に申し入れをします。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D
<p>◎不法投棄や公害 不法投棄や公害について、どのような考え方をしているのか伺います。</p>	<p>環境の問題については、騒音問題、大気汚染、水質汚濁等いろいろあり、個々にどのような内容かわかりませんので、再度、環境担当者のところへ御相談いただきたいと思えます。</p> <p>水質汚濁の対策としては、有害物質が流れないように各企業に水質汚濁防止法の遵守を徹底させるとともに、63社と環境協定を結んでいます。</p> <p style="text-align: right;">【環境政策課（旧：環境保全課）】</p>	一
<p>◎子供達のバス通学 平成22年4月から子供達はバス通学になる。子供達が西郷小学校まで通学するわけだが、集中豪雨や土砂崩れにいつ遭遇するかわからないし、もし、バス内で怪我や病気があった場合に、山間地であるため途中で家が無く心配である。災害対策についてどう考えているのかお聞きしたい。</p>	<p>学校では、現在、緊急メールシステムを活用し、保護者への情報提供を行っております。今後もこの体制を活用し、安心して子どもたちが通学できるよう努めてまいります。なお、通学バス内での怪我や病気の場合の対応についてであります。バス運行会社へ、安全・安心な通学の確保について依頼をしております。</p> <p style="text-align: right;">【学校教育課】</p>	A
<p>◎インフルエンザ対策 保育園、幼稚園、小学校に通う子供達や大人に対する対策をどのように考えているのかお聞きしたい。</p>	<p>平成21年10月、教育委員会では園、小中学校、教育委員会事務局における「新型インフルエンザ対応マニュアル」を作成しました。これにより、園、小中学校及び教育委員会において感染予防から拡大期、まん延期、小康期までの適切な対応を図ってまいりたいと思えます。</p> <p>また、大人に対する対策としても、今回流行した弱毒</p>	A

## 原泉地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
	<p>性ウイルスによる新型インフルエンザでの経験を活かして、強毒性ウイルスによる新型インフルエンザの発生に備えた対応策を整えていきたいと考えています。</p> <p>【幼児教育課・学校総務課】</p>	
<p>◎小学校体育館の無料使用</p> <p>小学校体育館を借りる際、スポーツ少年団や地区の体育部等は補助で無料になると聞いている。しかし、消防団が使用する場合にはお金がかかるということである。地元の安全を守ってくれる消防団がなぜ有料なのか。</p>	<p>消防団の活動に係る経費については、消防本部から各分団へ分団運営交付金が交付されていると伺っています。施設使用料は、その交付金から対応をお願いできたらと考えています。</p> <p>【社会教育課（旧：生涯教育課）】</p>	E
<p>◎地上デジタル放送</p> <p>地上デジタル放送についてお聞かせ願いたい。</p>	<p>この辺りは共聴施設で受信しています。平成20年の段階では中部電力から、地区で対応願いたいと言われていましたが、平成21年6月初旬に方針が決まったとの連絡がありました。</p> <p>その方針とは、地デジの共聴施設の改修は中部電力がすべて行うというものでした。改修や今後20年間の維持管理は中電が行いますが、20年後については皆様に管理をお願いしたいとのことです。</p> <p>【I T 政策課】</p>	B

原田地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎原野谷川をきれいに</p> <p>①葦や竹で景観が悪い。市と県と地元が一緒になって、協議会のようなものを立ち上げていただきたい。</p> <p>②また、モトクロス場で巻き上がる粉塵がものすごく、水質汚濁が発生しているため、行政からの指導をお願いしたい。</p>	<p>袋井土木事務所は、太田川流域ネットワーク研究会を作って地元のいろいろな団体の皆様と議論をしています。また、県にはリバーフレンドシップという、協働して河川美化に取り組む事業もあります。この地域でも協議会を作ってください、市や県も協力して素晴らしい河川を取り戻していただきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p> <p>土地利用の行政指導が可能かどうかについては、平成19年11月に、関係各課の職員が現地立ち会いを行った際に、静岡県に確認いたしました。県の回答は、「特別の施設を造るのでもなく、あるがままの土地をあるがままに使っているだけなので該当しない」という旨の返事でした。今後は、その他の法規上の扱いについても検討します。</p> <p style="text-align: right;">【都市政策課（旧：都市整備課）】</p>	<p>D</p> <p>D</p>
<p>◎過疎対策としての住宅団地</p> <p>原田地区内には、住宅を建てられるような場所が無い。住宅団地も無いため、人口が減少するばかりである。森町や袋井市等、近くの人達に来てもらえるような住宅団地の造成をお願いしたい。</p>	<p>人が集まることが期待できるのならば、民間の住宅会社が団地を造成するでしょう。民間が来なくて行政が過疎化対策として住宅団地を政策的に造成したとしても、地元の人々が皆ここに住んでくれるという確証はありません。</p> <p>あらためて中山間地のあり方を検討していく中で、定住自立に向けて地域づくりをどうしていくかを一緒になって考えていきたいと思います。</p> <p>掛川市北部の中山間地域は、地理的条件が市内でも不利であり、市内の中で過疎化が進んでいる地域として共通の話題を抱えている一方で、条件の違いにより、地区ごとで異なる課題もあると認識しています。このため、今後、地域課題に積極的に取り組もうと考えている地区について、支援・サポートを検討しています。</p> <p style="text-align: right;">【農林課（旧：農業振興課）・ 都市政策課（旧：建築住宅課）】</p>	<p>D</p> <p>B</p>
<p>◎上西之谷地すべり対策</p> <p>①上西之谷には地すべり地帯が何か所かあり、その中に民家が点在している状況である。避難勧告を出してもらえれば、災害を防ぐのに有効ではないか。</p>	<p>土砂災害警戒情報等が発令された場合には、同報無線を活用して、市民に注意喚起の放送を行います。また、避難勧告発令のマニュアルを整備しました。</p> <p>上西之谷の地すべり対策は、県袋井土木事務所において、平成22年度にボーリング調査等を行い、平成23年度</p>	<p>A</p> <p>C</p>

原田地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>②広域避難地は原田小学校の体育館だが、7km位離れている。西之谷公民館を耐震補強して避難場所になるようにしていただければ、敢えて危険を冒して小学校まで行く必要が無い。</p> <p>住んでいる人間がどんなに少なくてもそこに人間が住んでいる以上は、市がある程度余分にお金を出しても耐震化をして、避難が出来る場所とすることが市の仕事ではないか。</p>	<p>から本格的な対策工事を実施するという予定です。</p> <p>【市民安全課（旧：交通防災課）・道路河川課】</p> <p>地すべり対策として西之谷公民館の充実を図る事業については、建替え等を実施する場合の補助金交付が可能です。</p> <p>上西之谷区は、平成17年度にコミュニティ施設改善事業補助金を利用し、西之谷公民館の耐震診断及び耐震補強計画の策定を実施しています。</p> <p>この結果を受けて、建替えか耐震補強工事を行うか、区において判断していただき、今後の対応をお願いします。</p> <p>現在のところ、補助制度を改正する見込みはたっておりません。</p> <p>【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p>	D
<p>◎有害鳥獣対策の充実</p> <p>①もっと地域住民が一体となって考える制度にしないといけない。自分だけのために駆除をしているのではなく地域のためにやっているため、支援の強化をお願いしたい。</p> <p>また、駆除後に埋葬して大丈夫なのか。原田は豊かな水源の地域であるし、環境面が心配である。</p> <p>②栃原で熊が出たが、地域住民に情報が全然伝わってこない。父兄の代表が、小学校への送り迎えもしているので、しっかり説明して欲しい。原田地区だけの同報無線もできるはずである。</p>	<p>有害鳥獣対策については、平成21年10月5日に区長会長を含めた関係者による有害鳥獣被害防止対策協議会を開催し、地域が一体となって進めていくことを確認しました。また、処分方法については、今後検討することとし、当面は埋葬を基本としていくことを確認しました。</p> <p>【農林課（旧：農業振興課）】</p> <p>原田地区でのクマの目撃情報後、他地区でも目撃情報が頻発したため、現在はクマ情報が確認された場合、①同報、②地区内・教育委員会連絡網、③回覧文の順で地区住民および学校関係に速やかに情報提供を行い、注意喚起を行う体制をとっています。</p> <p>【農林課（旧：農業振興課）】</p>	A  A
<p>◎高架下イベント広場予定地の雨よけ対策</p> <p>第二東名高架下を公園化する際、全天候型の広場にするため、雨よけを付けていただきたい。市からもネクスコ中日本に強くお願いしていただきたい。</p>	<p>お話をいただきましたので、口頭で要請をしましたところ、雨よけの施設までは考えておらず、落下防止のネットは設置する予定だということでした。200mから300mくらいかと思いますが、最低限必要なイベント広場の部分だけは再度要望をしていきたいと思っています。</p> <p>【都市政策課（旧：都市整備課）】</p>	D

## 原田地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎国民健康保険の人間ドック助成</p> <p>毎年人間ドックを受けている聖隷浜松病院へ予約したところ、限度額がいっぱいであるため、掛川市立総合病院か掛川医療センターへ行ってくださいと言われた。ずっと受けている病院でデータを保管しているので、診断結果の蓄積が活かせず困っている人もいる。健康や命に関わる話なので、どのような対応をしているのか教えて欲しい。</p>	<p>御迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。掛川市は中東遠の中でも人間ドックを受ける人が多く、予算を年間 9,000万円用意しています。</p> <p>実は、市立総合病院は大変な赤字になっており、人間ドックで収益を上げて赤字分をかなり助けているという面もございます。一人ひとりのお気持ちで、どの病院がいいという話がありますが、何かの機会に市立総合病院に切り替えていただけたらと思っています。</p> <p style="text-align: right;">【国保年金課（旧：市民課）】</p>	A
<p>◎元幼稚園舎利用要望</p> <p>ここ二、三年、二転三転して市にも迷惑をかけたが、進捗状況をお知らせいただきたい。</p>	<p>現在、厚労省所管「地域介護福祉空間整備等施設整備交付金」採択に向けて、事業主体となるNPO法人と計画について協議中です。</p> <p style="text-align: right;">【高齢者支援課】</p>	D

## 原谷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎幡鎌区開発計画の基本構想</p> <p>幡鎌区開発計画の基本構想がどのようになっているのかお聞きしたい。</p>	<p>10年、20年の将来目標を立てて、その中で優先順位を決め、国・県のお金をもらってくる等知恵を出して取り組んでいくことが大切です。行政だけがやるのではなく、地域の皆様と一緒に考えていくセクションを作っていかなければならないと思っています。</p> <p>新東名の(仮称)森・掛川ICの周辺地区は、4月に策定した都市計画マスタープラン上は、「IC活用型地域振興拠点」として位置付けられています。また、この内の幡鎌エリアは、地域振興課が所管する特別計画協定区域となっていますが、現状、それに代わる計画は無いため、現在進めている西環状線のルート選定作業と並行して、今後まちづくり計画の修正作業等を、生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）と共同で、地元の皆様と一緒に進めていきます。</p> <p>【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）・都市整備課】</p>	D
<p>◎西環状線</p> <p>西環状線の進捗状況と今後の計画についてお聞きしたい。</p>	<p>事業規模が大きいため、市単独で整備する事は事実上不可能です。主要地方道である県道掛川天竜線のバイパスとして整備するよう県と交渉を進めていくことが大事だと思っています。</p> <p>掛川西環状線については、現在、昨年度各地区から出された課題や要望について、より具体的な検討をコンサルタントと共に進めています。各地域毎の課題については、対応案が整い次第、各自治区に御相談させていただき、ルート全体の構想については、沿線協議会にお諮りしたいと考えております。</p> <p>【都市整備課】</p>	D
<p>◎市道桜木中横断線</p> <p>市道桜木中横断線の進捗状況と今後の計画についてお聞きしたい。</p>	<p>建設協議委員会で、宇洞トンネルを避けるルートに決定されました。これに合わせて平成20年度の国庫補助金採択を受け、片側に歩道を設けた幅員10.5m、延長1.6kmの事業に着手しました。概算事業費が22億円と莫大な金額であり、平成30年度の完成を目標に整備を進めてまいりますが、財政もきびしい時期を迎え、政権交代による事業仕分けなどにより、道路予算の確保が困難になったことも御理解ください。</p> <p>【道路河川課】</p>	A

## 原谷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎豊かな自然環境を利用した少子化対策としての住宅施策</p> <p>原谷地区の少子化対策としての住宅構想についてお聞きしたい。農村や自然環境と住宅を共生させる構想をお願いしたい。</p> <p>もう1点として、天竜浜名湖鉄道の沿線に住宅環境を整えていただければ、天竜浜名湖鉄道の赤字解消にもなるのではないかと考える。</p>	<p>ここ5年、地元の議員さんのお力で市営住宅周辺整備に尽力していただき、新しくまちづくりを行うということで、市営住宅を中心に道路整備と市営住宅77戸の建設計画、それに併せて公園、広場造り等を進めてまいりました。お話のあった天浜線沿線の農地につきましては、農振地域であり、なかなか農振から除外することは出来ませんが、市営住宅跡地が原野谷川沿いに約7,000㎡あります。2回程入札告示をしましたが、落札業者はいませんでした。住宅メーカーと2回ほど話し合いをしたところ、掛川市の価格が少し高く値下げをして欲しいと言われておりますので、鑑定評価を再度行い対応していきます。</p> <p style="text-align: right;">【管財課（旧：総務課）・生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p>	A
<p>◎焼津森線の拡幅</p> <p>今から11年前に倉真に抜ける県道の拡幅計画があり、現在、歩道を少し整備してもらっている。年々、交通車両が増加しているが道路幅が狭く、子供達は非常に危険な中を通学している。この道路の整備計画はどうなっているのかお聞きしたい。</p>	<p>子供達が通学するにあたって事故があったら困るというお話が区長さんや議員さんからありましたので、とりあえず部分的に水路に蓋をして舗装をするという対応をさせていただきました。</p> <p>また、県袋井土木事務所の現場調査時には掛川天竜線と焼津森線の歩道や水路状況を見ていただき、県の予算を確保できる範囲で、順次進めていくということで強く要望させていただきました。</p> <p>しかし、静岡県も掛川市と同様に道路予算が少なくなっており、すぐに要望・期待にお応えできなく申し訳なく思っております。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	C
<p>◎8月11日の駿河湾の地震</p> <p>市の民生委員理事会の中でも、災害時に1人も見逃さない運動をしている。</p> <p>8月11日の地震について検討したところ、民生委員189人は真っ先に弱者の安否確認をした。それに対して市の対応が遅かったという意見が多かった。</p> <p>また、同報無線が聞こえない地域が多くある。防災ラジオの配布について詳細を教えて欲しい。</p>	<p>大規模地震の際、公の助けは1日から2日遅れるであろうことを御理解ください。そのため、まず、地域で助け合い、要援護者や一人暮らしの高齢者についても、自主防災会組織を含めて、地域で対応する防災力（自助・共助）の強化をお願いします。</p> <p>なお、防災ラジオの無償貸与については、既に配布しました。</p> <p style="text-align: right;">【市民安全課（旧：交通防災課）】</p>	D

## 原谷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎独居高齢者の成年後見人制度</p> <p>市の相談員もしているが、最近、一人暮らしの高齢者の相談が多い。成年後見人制度をお願いしたい方が多くなっている。大都市においては後見人は弁護士や司法書士が担うが、時代のニーズに沿って市民から後見人を要請するということが新聞にも出ている。掛川市も制度に沿った対策をお願いしたい。</p>	<p>市内では2人の弁護士が開業されていますし、司法書士は多く居ますので成年後見人制度には対応できますがお話に合ったように、市民から後見人を要請することに取り組んでいる例もありますので、福祉課で取り組んでいけるか検討していきたいと思います。</p> <p>高齢者の権利擁護については各地域包括支援センターが相談を行っています。また、市民成年後見人については法律の専門家による養成講座が必要となるため、今後研究していきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課・高齢者支援課】</p>	D
<p>◎人口増加の方策</p> <p>幡鎌区の人口増加の方策について、掛川森インターチェンジが出来る今がチャンスになると考えている。</p> <p>他の地域で何か一つの起爆剤を利用して発展したところがあるか、どうしたら人口が増えていって地域の活性化が図れるか、意見をお聞かせ願いたい。</p>	<p>幡鎌区の今後の計画については都市計画マスタープランを作成し、原田地区を含めてインターチェンジ活用型地域振興拠点という位置付けをしました。幡鎌は、特別計画協定区域になっています。現状での計画はありませんが、西環状線のルートが入ってきますので並行して、まちづくり計画の修正作業を進めたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課・生涯学習まちづくり課(旧：地域振興課)・都市整備課】</p>	D
<p>◎天浜線へ幡鎌駅の新設</p> <p>幡鎌と原谷駅の間に幡鎌駅を造っていただきたい。</p>	<p>天浜線原田駅の利用者は年間 2万4,000人、隣原野谷駅の利用者は 9万1,000人と差があります。幡鎌区内は、線路形状が曲線であり新駅設置は非常に困難であるとの回答を天竜浜名湖鉄道から伺っております。</p> <p style="text-align: right;">【都市政策課(旧：都市整備課)】</p>	D
<p>◎原谷小学校と幼稚園の耐震性</p> <p>原谷地区は原谷小学校が避難地になっている。原谷小学校南100mのところは現在、幼稚園になっているが、昔は田んぼであった。原谷小学校と幼稚園は地震に関して大丈夫なのか教えて欲しい。</p>	<p>原谷小学校は、校舎、体育館共に国、県の耐震基準を満たしており、大規模な地震や東海地震に対して耐震性を有する建築物だとされています。</p> <p>また、小学校南側の幼保園は平成18年度に建設しており、耐震化されています。</p> <p style="text-align: right;">【学校総務課・幼児教育課】</p>	— A
<p>◎西山区の水害対策と西環状線</p> <p>西山区は原野谷川と西の山に挟まれた地域で、水害問題の解決は西山区民にとって一番の願いであると認識して</p>	<p>平成21年9月15日に地元説明会を開催し、道路線形、排水対策等について意見交換をしました。今後、関係各課と調整をしながらできる限り検討していきます。</p>	D

## 原谷地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>いる。この願いを西環状線の検討に含めていただきたい。</p>	<p>今後、地域の土地利用の変化も予測され、また、排水路整備には用地の御協力も必要でありますので、西環状線の整備にあわせて検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課・道路河川課】</p>	
<p>◎原谷住宅跡地</p> <p>原谷住宅跡地について、平成21年6月25日の議会答弁の中で、「分割売買も考えている」、「民間に有効な土地利用を図ってもらう」とのことだったが、民間に有効な土地利用とは分譲のみをさしているのか、他のことも含めて考えているのかお話しいただきたい。</p>	<p>戸建てを優先的に土地を販売する話を進めています。A が、値段が合わず販売するには至りませんでした。今年、もう一度評価を取って対応をしてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【管財課（旧：総務課）】</p>	A
<p>◎地震時の対応</p> <p>防災のマニュアルの中で、桜木がこの地域の負傷者の搬送先となっている。例えば、冬場の夜間にはストーブが点いており、火災を含めて多くの負傷者が出る。その場合に負傷者を桜木まで運ぶとなると、トリアージも含めて判断が難しいと思う。夏場には亡くなった方をどこへ置いておけばいいのか、衛生面も含めて伺いたい。</p>	<p>初動時に設ける救護所は市内5か所であり、当地区では、桜が丘中学校になります。医師の参集状況、被害状況により順次、追加救護所を開放していく計画になっております。この地区の追加設置救護所は、原野谷中学校です。</p> <p>遺体については、さんりーな隣のB&amp;G体育館が収容所となっています。その運営の仕方については、今後、煮詰めていかなければならない問題だと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【市民安全課（旧：交通防災課）】</p>	D

## 桜木地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎地上デジタル放送</p> <p>平成21年5月に説明会があり、地デジ対応テレビにしてアンテナも用意したのによく見えないという質問が出たが、回答をいただけなかった。桜木地区西北部には難視聴地域がある。見える所と見えない所が混在している。500世帯以上を全部1件1件調べるのは難しいので、適当なところを10か所位調べてもらえないか。</p> <p>また、山の上に中継局を設けるといいう話を聞いたが、どうなのか。</p> <p>難視聴地域に対してもう少し情報をいただきたい。</p>	<p>家代の里区の難視聴について、状況は確認しています。桜木地区の中継所は当初は取り壊すと聞いていましたが、その後の検討の結果、新たな中継局を家代あたりに作ると聞いております。それによって、ある程度カバーできるのではないかと考えています。詳細については、今後、放送事業者の代表者、総務省の方々と協議をする予定です。詳細が明らかになり次第、地元の皆様に御説明する機会を設けたいと思っております。</p> <p>難視聴地域のサンプル調査の実施についても、総務省等において対応を考えていただいていますので、強く要望してまいります。</p> <p>難視聴地域に対して、情報をすぐにお知らせしていきます。</p> <p style="text-align: right;">【IT政策課】</p>	B
<p>◎市道杉谷家代線</p> <p>市道杉谷家代線の下垂木静銀前交差点より国道1号線までについて、当地区の最大の案件となっている交通渋滞対策を至急実施していただきたい。</p> <p>そこで、右折レーンの設置をお願いしたい。</p>	<p>本当に渋滞と道路整備に大変御迷惑をかけている所で、交差点は昔から御要望をいただいています。平成23年度以降、交差点部分の測量から始めるという方向性を立てました。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p>	D
<p>◎市道桜木中央線</p> <p>市道桜木中央線の大池インターから桜木小入口までについて、その整備を地区住民は強く望んでいる。西交番から田中地内は車道だけで歩道が整備されていないため、高校生の自転車や高齢者等の歩行者が極めて危険な状態に置かれており、いつ人身事故が発生してもおかしくない状況にある。</p> <p>桜木中央線の改良整備に関して、今後の推進方策についてお伺いしたい。</p>	<p>まずは測量を進めていきます。その後、家屋移転並びに用地買収をして、片側歩道と2車線を造る工事をします。大池インターから小学校の入口まで1.3kmあり、年次計画により整備を進めますが、財政状況もきびしい時期でありますので、しばらくの間お待ちになっていただきたいと思えます。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	B
<p>◎太陽光発電装置</p> <p>エコ桜が丘（NPO法人エコロジーアクション桜が丘）では、5年前に地元住民の協力を得て廃品回収活動をし、その収益金で桜が丘中学校へ太陽光発電を設置した。</p>	<p>エコ桜が丘の皆さんには、最初に中学校に太陽光発電を設置していただき感謝申し上げます。先に設置して損だったということではなく、本当に素晴らしい成果が環境政策の推進につながったということでもあります。</p>	—

## 桜木地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>桜が丘中学校以外のすべての中学校に太陽光発電を設置することになったと聞いた。これは事実かどうか、また、その理由と活用方法をお聞きしたい。</p>	<p>桜が丘中学校以外の中学校に太陽光発電を設置することについては、平成21年度に国の手厚い補助制度があり、9月補正予算で事業費を計上いたしました。その目的は、自然エネルギーを活用し、地球温暖化対策に貢献するエコスクール化を図ると共に、環境教育の教材として活用する等のためのものでありますが、設置後はNPO法人や地区のボランティア及び、企業の御協力をいただきながら、連携して活用に取り組んでいきたいと考えております。</p> <p style="text-align: center;">【環境政策課（旧：環境保全課）・学校総務課】</p>	B
<p>◎県道掛川山梨線</p> <p>掛川西分署から和田岡へ続く道路に椀貸池があり、それから踏切を渡ったところに鈴木歯科がある。その辺りの道路に沿って幅1.5m、深さ1m、延長30m～35m程の溝があり、事故の危険性がある。道路を拡幅する話があるのならば無駄になってしまうかもしれないが、溝を整備していただきたい。</p> <p>また、拡幅をするのかしないのか、きちんとした話をいただいているので、回答していただきたい。</p>	<p>平成22年度、水路部分に大井川用水のパイプライン敷設計画があります。それに伴う踏切から500mの市営住宅の辺りの一番狭い所の工事を、県土木事務所において県道拡幅事業として平成23年度以降に4～5年かけて実施する予定です。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	C
<p>◎垂木川</p> <p>垂木川のやくじらの遺跡が老朽化している。</p> <p>桜木中学校から農協の所へ来る道路で平和団地や垂木団地等があり、人口が非常に密集している辺りの川の西側の堤防が弱いのではないかと。桜木地区の1/3位の人口が密集している所なので、そこを忘れないでもらいたい。</p>	<p>平成16年に「垂木川の改修を進める会」を設置していただき県へ要望をしてきました。天竜浜名湖鉄道付近の河川拡幅は平成21年6月に完成しました。今回の御要望の他にも、上流部にはまだ改修が必要な所がありますので、総会には県からも参加してもらって膝を交えて話し合いました。</p> <p>袋井土木事務所で早急に対応してもらえよう、皆様と力を併せて改修促進をお願いしていきます。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	C

## 桜木地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎家代川堤防の草刈り</p> <p>森平区では家代川の草刈りを夏と秋の年2回程実施している。3年位前からシルバー人材センターへ頼む組が多くなり、昨年のアンケートによると全組がシルバー人材センターへ依頼している。シルバー人材センターに支払う金額はばらばらであり、できたら区にもってもらいたいという要望があった。</p> <p>できれば、市でシルバー人材センターやボランティアに頼んでやってもらうことはできないか。</p>	<p>シルバー人材センターやボランティアについては、検討します。しかし、基本的に、危険な所は行政が対応しますが、その他の所については地域で河川愛護の精神での御協力をお願いしたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D

## 和田岡地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎県道掛川山梨線への歩道設置要望</p> <p>現在できているところから西へ550mの歩道設置をお願いしたい。防火水槽に突き当たる所で工事が止まっている。学童通学や高齢者等一般の人達の安全な歩行が困難になっている。</p>	<p>防火水槽は平成22年度の予算により撤去します。防火水槽に代わる水源として消火栓を、現在の位置から西へ60mの所へ設置しました。</p> <p>生徒が770mを毎日のように迂回しているという実情を県にわかっていただき、県も予算が無いということですが、要望を出していきます。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課・消防総務課】</p>	<p>A</p> <p>C</p>
<p>◎和田岡親水公園整備に伴う要望</p> <p>平成21年4月に「和田岡親水公園管理委員会」が発足し、公園整備に取り組んでいる。</p> <p>7つ程要望する。①10,000㎡の多目的広場に芝生を張る等の整備、②備品の保管庫、③点在している簡易トイレの整備、④多目的広場周辺における電気配線、⑤補導センターの協力を得ながら夜間巡回や見回り等の実施、⑥遊具の設置、⑦親水公園の維持管理費の増額。</p>	<p>7つの要望事項がありましたが、NPOの中で皆様の創意工夫でやっていただきたいと思います。例えば、古い遊具というお話が出ましたが、古い遊具はなかなかありませんので、アスレチックのような格好で材料支給をすることはできると思います。よく協議をして対応させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	<p>A</p>
<p>◎和田岡幼稚園跡地活用</p> <p>現在、幼稚園の建物を学童保育で使用していますが、耐震化が出来ているのかお聞きしたい。</p> <p>地域生涯学習センターの和室で子育て支援をしているが、耐震化をして幼稚園のほうへ移行していただきたい。</p> <p>また、老人会が雑談する部屋を設けていただけたらありがたい。</p>	<p>耐震補強については、昭和52年建築の中央の部分は、現在、耐震基準を満たしていませんので、その部分は現在閉鎖して人が出入りできないようにしてあります。</p> <p>学童保育所として使用している箇所以外は耐震施設となっていないところが大部分で、現存のまま使用できません。今後不必要な箇所は解体し、学童保育所の部分を残して整備し跡地の利用は今後時間をかけて検討すべきと考えます。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課】</p>	<p>E</p>
<p>◎市道梅橋吉岡線への歩道全線設置</p> <p>昨年度の控帖で類型がAだったのに、道路河川課からもらった回答書では「早期の対応は困難です」というDランク相当の答えになっていた。そのあたりの事情を説明していただきたい。</p> <p>すぐには困難でも、3年後、5年後、6年後には目途がつくというような前</p>	<p>財政状況が良くなれば、ぜひ進めたいと思っています。いろいろな区から要望をいただきますが、おそらく財政状況がまだいい時にAランクをつけたのかもかもしれません。</p> <p>用地については、ほ場整備で確保されていた区間は、用地買収はありません。その点では、お金があればできるということです。</p> <p>残された区間には、排水路などの構造物があり、事業</p>	<p>D</p>

## 和田岡地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>向きな姿勢が示されたらと思う。</p>	<p>費も莫大となり、財政状況がきびしい時期でありますので、早急な対応は困難です。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	
<p>◎吉岡瀬戸山線の改良要望</p> <p>高田区から8年位前から坂田坂倉線拡幅整備事業のお願いをしている。平成21年度に完成を約束させていただき控帖にも載っているが、第3期の工事は今もって始まらず、完成は平成22年度にずれ込むということで、地区住民としては裏切られた気持ちである。</p> <p>やるなら年度前半でやることをお願いしたい。また、浸透排水が法律で認められているということだが、今の時代に沿った排水処理ではないと思う。道路の舗装も順次、お願いしたい。この点も踏まえて要望する。</p>	<p>予定では平成13年から平成22年となっていますので、やらないということでは決してありません。道路が予定通り完成するよう努力したいと思います。お聞きしたことも併せて、計画年度の中で対応できれば進めたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	A
<p>◎公共バスの赤字</p> <p>1億2,000万円位の赤字があると聞いたが、今後どうするのか。</p> <p>一番収支が悪い路線が西循環線であり、我々も利用しなかったことについては反省をしなければならないと思う。和田岡地区を走るバスは、1年でどのくらい赤字が出たのか数字を聞きたい。廃止するのか、どういった形で存続するのかということについて、市と和田岡地区が一緒になって考えていく必要があると思う。</p>	<p>西循環線は、平成20年11月1日から運用を開始しました。5ヶ月で利用した方が約4,900人です。1日平均にすると32人、1便平均にすると4.1人という数字が出ています。</p> <p>収支は、平成20年度には97万円の収入。経費が1,089万円。収支率が8.9%なので、1万円の利潤を上げるために10万円投資しなければならないという状況になっています。</p> <p>「公共バスのあり方検討委員会」を平成21年8月に立ち上げましたので、その中で検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">【都市政策課（旧：都市整備課）】</p>	A
<p>◎和田岡地区の開発</p> <p>全体として農振地域、古墳指定ということで、開発はほとんどストップされている。戸数も学校の生徒数も減っている。このような中で、国の史跡で指定された公園を造っていくことも予定よりはかなり遅れている。特に、高田区、吉岡区等にはインターネットのADSLが入らない家が200戸位ある。</p>	<p>農振農用地からの除外については、県と事前協議を行い、農用地の集団化等の農業施策の妨げにならない範囲において、随時変更や定期変更にて対応していきます。</p> <p>和田岡古墳群の整備は、サカタのタネに隣接する吉岡大塚古墳から行う計画で、現在、古墳のデータを得るための発掘調査を実施しています。今後、基本設計、実施設計、整備工事という手順で進めていく計画です。その後、国史跡に指定されている残り4基の古墳の整備に移</p>	D

## 和田岡地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>このような地域に対する市の施策を、もう少し他の地域とは違う見方をしてもらえないか。和田岡地区全体の振興施策を要望する。</p>	<p>っていく計画です。</p> <p>情報格差を解消するには、ある程度行政も支援しながら進めていかないと解決しないのではないかと考えています。今年度、国の補助制度や県の支援を含めてもう一度、掛川市内全ての区域において、どういった方法が一番いいのかを検討しています。N T Tへ状況を確認しながら、掛川市の整備方針を検討してまいりたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">【 I T政策課・農林課（旧：農業振興課）・ 社会教育課（旧：生涯教育課）】</p>	E

## 曾我地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎新病院建設に伴う周辺道路網の改良整備</p> <p>①新たに造ろうとする病院道路だけで、いくつかある以下の実情や問題点をカバー出来ると考えているのか。</p> <p>(1) 東西南北から来る病院への進入路はどうするのか。</p> <p>(2) 既に慢性的な渋滞があるが、生活道路として利用している曾我地区の人達にどのような影響が出てくるのか。</p> <p>(3) エコパでイベントが開催される際に渋滞した場合、救急車の通行に問題は無いのか。 夜間救急車の騒音問題は無いだろうか。</p> <p>(4) アップダウンの激しい南北線に対する安全性は確保されるのか。</p> <p>(5) 雨水処理問題、病院から出る下水問題は安心か。</p> <p>(6) 大規模災害等の不測事態が発生した時の住民と病院の互助関係はどうなっているのか。</p> <p>(7) 病院建設にあたって、騒音問題は発生しないか。</p>	<p>新病院へのアクセスは、市道掛川袋井南線をメイン道路として計画することとなりました。</p> <p>交通量の増加に伴い高御所区的生活道路に一般車が侵入することに対する対策も重要です。市道長谷縦貫線は線形の改良と歩道を含む幅員の拡幅、市道下俣高御所線は幅員の拡幅について、平成25年度の完成を目指します。</p> <p>救急車のサイレンと渋滞時の走行問題ですが、病院敷地手前まではサイレンを鳴らすことと思われます。御理解をお願いします。渋滞時の走行は、今回、南部線を含めて15mに拡幅するので、サイレンを鳴らして赤色灯を点けた優先走行は可能だと思われます。</p> <p>南部線の整備方法は、県道磐田掛川線の高御所インターから東名のボックスの南側までの区間について両側に歩道を設置し、右折レーン確保のために幅員を15mに整備します。また、現道西側の急カーブと急勾配を解消するために一部バイパス化を計画しています。</p> <p>雨水についての流域は、基本的には変えません。静岡県の開発基準に基づく雨水調整池を築造し、降雨による下流域への影響を防ぎます。</p> <p>大規模災害への対応ですが、造成工事は土工技術指針に基づき、大型構造物は地震を考慮した構造計算を行います。建築物についても、耐震構造とします。</p> <p>工事期間が大変厳しいことでの騒音の御心配ですが、作業工程上、やむなく夜間作業をする場合には、騒音問題に特段の配慮をします。</p> <p>これからも、地元と協議を重ねてより良い病院建設を目指してまいります。周辺の道路整備には地権者の用地提供と併せて建物の移転についても御協力をお願いすることになります。地権者をはじめ、関係者皆様がたの御</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>

## 曾我地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>②第2次計画案と同時に、病院玄関口周辺の狭くて危険な道路整備に投資すべきではないか。病院へ入る玄関口が狭くては、渋滞が発生する。</p>	<p>理解御協力が必要となりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>【管財課（旧：総務課）・都市整備課・道路河川課】</p> <p>新病院敷地へのサブ的進入路として居沼池の西側に幅員9mの道路を新設します。なお、病院を含む開発地へのアクセスとして墓地公園東の県道磐田掛川線から連絡するルートも新設します。</p> <p>【管財課（旧：総務課）・都市整備課・道路河川課】</p>	B
<p>◎都市計画道路掛川駅梅橋線の今後における具体的取組計画</p> <p>①平成21年度に予定している高御所本村工区の予備設計と関係者との話し合いや、領家工区の概略設計による路線の一部修正等、あるいは平成22年度から着工予定の高御所本村工区を3年間で完成させるという曾我地区との約束の実行について、今後の具体的な計画の進捗状況や進め方をできるだけ定量的な表現で御回答いただきたい。</p> <p>以前の説明では平成22年度から着工予定で3年間で完成させるということだった。財政の問題もあるかと思うが、平成25年に工事に入るとするのは随分話が違ふと思う。</p>	<p>平成21年11月25日に地元関係者と共に協議会を開催しました。今後は、線形の都決変更や事業の具体的な進め方について、自治区別に説明会等を開催していきます。</p> <p>【都市整備課】</p>	A
<p>◎新病院の機能と地域医療体制の確立</p> <p>①平成21年4月1日から緊急医療体制が変わった。日曜祝日の17時以降は掛川市立総合病院しか診療をしていない。夜間に幼児が急に熱を出して直接行った場合、診療してもらえるのか。また、医師が緊急を要しないと判断した場合、時間外加算相当額をいくら支払うことになるのか。それから、新病院が出来た際にも、この緊急医療システムは継続されるのか。</p>	<p>この4月から急患診療室が開設されましたが、診察を行っていない時間帯がありますので、必要な場合は、病院の代表電話にまず御連絡いただいた上で受診してください。</p> <p>緊急を要しないと判断された場合の時間外加算相当額については、4月から自分の都合で時間外受診する人については御負担をお願いしています。これは、重症患者の治療に遅れを生じさせないという趣旨でお願いをしています。</p> <p>時間外加算相当額については、病院ホームページに掲載しておりますので参考に御覧ください。</p> <p>今後は新病院の建設にあわせて、皆様が安心して救急医療を受けられるよう関係機関と体制作りを努めていき</p>	A

## 曾我地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>②新病院では在院日数が短くなるのではないかと不安がある。そこで、継続治療や長期療養が必要な人を受け入れる機能を備えるよう強く要望する。例えば、療養病床を備える病院を誘致する等の対策をお願いします。</p>	<p>たいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。 【保健予防課・病院経営企画課】</p> <p>平均在院日数は、現在の15日から12日になると予想しています。急性期医療に特化した病院だからといって患者を追い出すということはありませんが、急性期治療が終わった段階で療養型病院への転院は必要となります。</p> <p>平成21年8月1日に、庁内に医療問題を考えるプロジェクトチームを作りました。新病院が出来て、12日で退院することになっても、医療難民のようにならないようにやっていくということで、一生懸命取り組んでいきます。</p> <p>新病院は、脳卒中や急性心筋梗塞等の急性期医療を行う中核病院として計画されていますので、療養病床の設置は計画されておられません。 【病院経営企画課】</p>	<p>A</p> <p>D</p>
<p>◎曾我小学校通学路の整備促進</p> <p>①市道掛川袋井線の東名高速高架下から東山沢間に、歩道と歩道橋の設置を要望する。東山沢に架かる橋の高低差によって、視界が悪く危険である。</p> <p>②市道国1 富部線の歩道整備を要望する。綱川の交差点はヤマハから国1に向かう大変危ない場所で、朝のラッシュ時は大型車が頻繁に通る。国道1号線の側道から綱川橋までの道路拡幅と歩道の整備、綱川橋への歩道橋設置をお願いしたい。</p> <p>③領家高橋から和光橋までの逆川沿い北側の道路、約1kmの舗装改修を要望する。かなり亀裂や陥没しており、小中学生の通学時に大変危険である。</p>	<p>平成20年度から平成24年度で完成したいということで、用地買収交渉を近く行っていく予定です。設計は終わっていますので、それに基づいて用地買収をして平成24年度に完成する予定です。 【道路河川課】</p> <p>平成19年度から平成25年度の6か年の計画です。平成19年度から20年度については設計を行い、平成21年度より用地買収を行います。また、ここは家屋移転があります。家屋移転をしていただく方々に対しては、御協力をお願いしていきたくと思っています。財政が非常に厳しいという話がありましたように、費用対効果もありますが、通学路については早急に対応していきたくと思っています。 【道路河川課】</p> <p>現場調査をして、早急に対応するように担当課と調整をしていきたくと思っています。 【道路河川課】</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>
<p>◎地震等防災対策</p> <p>①8月11日に発生した地震による断水の今後の対策について、市では遮断弁</p>	<p>掛川市内の給水区域は複数の配水区に分割され、それぞれの配水区内に既定の水圧で水を送るために配水池が</p>	<p>C</p>

曾我地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>の作動設定変更を検討しているようですが、現在ある配水網が配水池ごとに区分けになっているものを、非常時にはお互いの配水池をバックアップできるような体制が整備できないか。</p> <p>②広域的な視野に立ってみると、袋井までは天竜水系の水が来ていて、掛川までは大井川水系の水が来ている。これについて、緊急時には配水管を連携して相互支援体制ができないか。 中東遠の広域的な防災対策を考える上で必要ではないかと思う。</p> <p>③東海沖地震の防災対策についてお聞きしたい。各自治区の避難場所、広域避難地、救護所の連絡体制において、アマチュア無線やバイク隊の編成による連絡調整が有効だと思うが、現在はどうのような体制になっているのかお聞きしたい。</p> <p>④現在、地震発生直後の各戸の安否確認に活用するため、黄色い旗の導入を検討しているかと思う。これは非常に有効なのではないか。ぜひ各戸配布を</p>	<p>あり、自然流下配水を基本としています。管の太さや流れる方向を決められています。遮断された配水管を連結した場合、濁り水等で正常な配水ができないことが想定されます。掛川市内の配水管については、そういったことをするのは好ましくないとされます。ただし、今後の計画の中で、そういったことも念頭に置いて行うことも必要ではないかと思われまますので、参考意見として活かしていきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【水道工務課】</p> <p>各市の水道事業は、給水区域を決定して、国の許可を受けて給水を行っています。水を送る区域が決められており、他の区域への給水は認められていません。また、隣接市との境は末端で配管が細く、管を太くする必要があるので、接続にはかなりの費用が必要だということと、隣接地の承諾も必要だということになります。このため、現時点で隣接市との配水管を直接連結して相互配水支援体制は大変難しいと思われまます。災害時の他市との応援体制については、日本水道協会、自衛隊、掛川市上下水道組合等の協力をいただき、給水活動や復旧活動を行うこととなっています。</p> <p>地震発生後の断水対策につきましては、地震が大規模になるほど、施設等の安全確認にも時間が必要になると予想されますが、復旧作業のより具体的な作業手順を徹底し、迅速な応急給水がとれるよう努めます。</p> <p style="text-align: right;">【水道工務課】</p> <p>掛川市には、バイクレスキューネットワークという団体があります。この団体が、アマチュア無線も備えていますので、掛川市の災害対策本部に無線基地を設けて御協力をいただいています。12月の地域防災訓練では、孤立状況調査や孤立が予想される地域への救助活動、救護所への医薬品の搬送、道路の被害状況調査等を実施していただきました。今後も連携強化に努めていきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【市民安全課（旧：交通防災課）】</p> <p>黄色い旗購入については、来年度から3か年において購入予定の自主防災会に自主防災会資機材等購入補助により購入してもらおうよう、自主防災会長会議で説明し、平成22年度分の要望の取りまとめを行いました。</p>	<p>E</p> <p>A</p> <p>A</p>

## 曾我地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>お願いしたい。ただし、上手く活用されないとかえって混乱の元になると思うので、どう徹底を図ったらいのかという方策も併せて御検討していただきたい。</p> <p>⑤要援護者支援個別計画を策定した。乳幼児や高齢者等の災害弱者についての具体的な策は、各自主防災会が自主的に考えるものだと思うが、未整備な自主防が多いと思う。</p> <p>今後、体制を整備する必要があると思うので、広報紙での啓発や自主防災会長会議での指導等をお願いしたい。</p>	<p style="text-align: center;">【市民安全課（旧：交通防災課）】</p> <p>支援計画については、全地区での説明会が既に終了しました。平成21年度中に全部の自主防災会において、計画を策定する予定です。説明会の中でも、支援計画の中に、乳幼児や高齢者の分を入れることも可能ですという説明をさせてもらっています。ぜひ、自主防災会において検討をお願いします。支援計画については毎年更新をしていくということですので、今後、福祉課等と調整をし、広報や自主防災会長会議等で御報告をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">【市民安全課（旧：交通防災課）】</p>	A
<p>◎株式会社Z n ナカムラの工場関係</p> <p>株式会社Z n ナカムラの工場が曾我地区に造られ、午前6時ごろから昼まで真っ黒い煙を出す。この状況を何とかしていただきたい。環境測定をしていただいたということだが、今後の取り組みについて回答して欲しい。</p>	<p>同社にも地元の御意見を伝え、同社でも脱臭装置やフィルター追加、煙突の延伸などの対策を行いました。しかし、その後も黒煙が見られることから、地元の納得は得られていません。</p> <p>市では、事業主との環境保全である協定書の締結について、地元区との意見も取り入れた中で締結するよう調整中であります。</p> <p style="text-align: center;">【環境政策課（旧：環境保全課）・都市整備課】</p>	D A

千浜地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎海岸の保全及び観光資源としての今後の展望</p> <p>①海岸の浸食対策について今年度の計画、また、長期的な計画はあるか。</p>	<p>県において、松食い虫被害対策事業推進計画が定められており、保全すべき松林があります。第一線（松以外の樹種では防災機能の確保が困難な森林）、第二線、第三線（保全する松林周辺）があり、第一線については、薬剤の散布や被害発生の予防を行います。第二線、第三線については、樹種の転換という対応をしていきます。第二線、第三線については、松林と併せて広葉樹の植栽を行いました。少しでも自然に戻していきたいという考え方で進めています。</p> <p>海岸浸食対策については、地道ではありますが堆砂垣設置を地元と協力しながら進めていきたいと思ひます。</p> <p>【農林課（旧：農業振興課）・道路河川課】</p>	A
<p>②海岸林の松食い虫対策について、抜倒後、放置したままではカミキリ虫の幼虫が死なないため、すぐに燃やして欲しい。</p>	<p>枯れたために抜倒した松の早期回収は、御指摘のとおりです。また、虫が他に飛んでいって被害が拡大しないようにするためには、本当に大切な対応だと思ひます。私たちが、依頼している業者とよく連携を取って、今の点について現場に長く置かず早期回収に努めていきたいと思ひます。</p> <p>【農林課（旧：農業振興課）】</p>	A
<p>③松食い虫に強い松を植栽した結果はどうなっているか。</p>	<p>松食い虫に対して抵抗性のある抵抗性松と言ひます。しかし、まだ幼木ですので、もう少し大きくなると本当に松食い虫に対して抵抗性があるのかはまだ確認できません。品種改良の中で、抵抗性クロマツが生み出されているので、松を残していきたい所については、できるだけ抵抗性クロマツも扶植しながら、防災林としての機能を維持できるようにしていきたいと思ひます。結果については、もう少しお時間をいただきたいと思ひます。</p> <p>【農林課（旧：農業振興課）】</p>	—
<p>④菊川河口に砂が堆積すると、船が入りできない等の問題があるため、砂で埋まらない対策や整備計画があるか。また、大東マリーナがあるが、出られなくて非常に出入りが少ないという状況が続いていると、利用客が少なくなってくるのが現状である。</p>	<p>毎年、菊川河口の浚渫等について、「菊川改修期成同盟会」で国土交通省に要望活動を継続し、流下能力の確保に努めていただひています。</p> <p>しかし、菊川の自流水が少ないことと飛砂及び漂砂が著しく、大規模な導流堤や砂防工事が必要で事業費もかさむことから、抜本的な改良が進まない状況にあります。</p> <p>また、これとは別に、大東マリーナ高松川水門周辺の堆積土砂については、船舶の出帰港の際に支障をきたして危険であったので、浜松河川国道事務所平田出張所に</p>	A

## 千浜地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>⑤予算がおりたので、菊川河口の堆積を掘ってくれるという話があったが、その時期はいつごろか。</p>	<p>要望しまして、浚渫が完了しています。 【道路河川課】</p> <p>菊川の左岸になりますが、国安橋の上流部分について現在施工中です。 【道路河川課】</p>	A
<p>⑥千浜地区のみに残る観光地引網への今後の振興策はあるか。菊川河口を5mのブロックで50mつないで改良して欲しい。観光地引網の実施後、海が荒れてマリナーへ入れない場合は磯へ船を置いておくが、大きな波が来る。船に乗ってくる人間が安心できるような河口にしてもらいたい。</p>	<p>唯一の観光地引網ということですので、商工労働観光課の立場から一定の支援をしていこうと考えまして、以前に提案をさせていただいた経緯があります。十分な補助というわけではなく、燃料費の補助についてどうでしょうかという内容でしたが、条件が合わずに遠慮させていただきました。今後また、相談をさせていただきます。 【商工労働観光課】</p>	D
<p>⑦安全で美しい砂浜を維持するために、ジープ等の乗り入れ禁止策があるか。</p>	<p>市内の海岸は、静岡県立自然公園条例により知事の指定を受けた御前崎遠州灘県立自然公園となっています。ジープ等の乗り入れ規制は、県が行いますが、相良海岸については規制されています。</p>	A
<p>⑧大東温泉シートピアの運営状況と今後の見通しはどうか。風力発電の目玉になる様な資料館のようなものを造って、観光資源にしていきたい。</p>	<p>現在、県では残りの区間の乗り入れ規制区域の拡大の手続きを進めるための関係機関等との事前調整を始めました。これにより今後は、市内の関係者皆様の意見等を聞きながら進めることとなります。 【都市政策課（旧：都市整備課）】</p>	D
<p>⑨南部は遠州灘を中心として自然を満喫するような観光的に栄えているところだと思う。これからどのような観光</p>	<p>大東温泉シートピアは、昨年4月から入館料を約半額にしました。その結果、平成20年度の入館者は、前年度よりも約2万人増えました。平成20年で建ててから10年が経ち施設が傷んでいたため、全面的な改修を行いました。料金改定と併せて、そのリニューアル効果も非常にあるのではないかと考えています。</p> <p>経営が上向きになってくるだろうとは言っても、入館料で経営していける状況ではありませんので、今後も、運営費の節減、組織の運営体制の見直しを図りながら、健全な運営を心掛けていきます。 【商工労働観光課】</p>	D
<p>⑨南部は遠州灘を中心として自然を満喫する様な観光的に栄えているところだと思う。これからどのような観光</p>	<p>海岸線をいかに利活用していくか、あるいはいかに地域の人たちの楽しみの場にしていくかということについては、今、具体的な計画はありませんが、必要だと思い</p>	D

## 千浜地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>目的で、大東区域の南のほうを整備するのか、または、現状を整備して終わりなのか、回答をいただきたい。</p>	<p>ます。            地元には、まだ広く伝わっていない隠れた観光資源もたくさんあると思います。観光協会と良く連携し勉強をしながら、活性化策を検討していきたいと思っています。  <b>【商工労働観光課】</b></p>	
<p>◎駅南の市営駐車場            掛川駅南側の市営駐車場に 1 日車を置くと、2,000円かかる。ところが、民間の駐車場では800円で済む。            鉄骨を組むことによって駐車場を2, 3階建てにし、利用客を増やして料金を1,000円ぐらいにしていればと考える。</p>	<p>現在、市営及び民間の駐車場台数で充分可能です。また、料金は民間駐車場を考慮して運営しています。  <b>【都市政策課（旧：都市整備課）】</b></p>	D
<p>◎市の財政状況            ①掛川市は現在、借入残高が約1,000億円だと聞いた。この1,000億円は将来どうするのか。市長選の時に、10年かけて100億円の借金削減を目指すと言っているが、1,000億円を減らしていくには何年かかるのか、あるいは、今の財政状況ではとても返せないのだから次世代へ残していくということなのか。            ②平成22年、23年、24年と、さらに収入が激減する可能性がある。そういう中で、どのような予算を削減し、どのような予算を増やしていくのか。            基本的には借入金を返済して税収を増やすのが一番だと思う。公債費が40億円と書いてありますが、この元金と利息の内訳はどうか。            市が債務超過になって没落しないように、今のうちからどのような展望・施策をもっているのかお伺いしたい。</p>	<p>夕張市のように財政が破綻してしまうことはありません。掛川市には新幹線、東名、第二東名があり、基盤整備がきちっとしており、一番将来発展の可能性のある地域だと思っています。            今は景気が悪くて歳入が落ち込んでいますが、景気がある一定の段階に来ればまた財政状況は持ち直すと思います。            基準に基づく算定では、市の債務総額は平成20年度末で約907億円です。10年で100億円の削減を目指しますので、歳出削減、歳入増加など様々な手法により、財政の健全化に取り組んでいきます。  <b>【財政課（旧：総務課）】</b></p> <p>今年度の一般会計400億円の予算をどのくらい減らせるかの検討をしまし、平成22年度から向こう3年間の事業予算についても、ゼロベースからもう一度全ての事業を見直す作業をしました。            事業見直しの他に、職員の人件費削減に取り組んでいます。            この4年間で基礎を作って、あらゆるものが県下有数な都市にしていきたいと思っています。  <b>【財政課（旧：総務課）】</b></p>	D

## 千浜地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>③今、借金の平均利回りはどのくらいか。仮にそれが2%だとすると、年間20億円の余分な金利負担をすることになる。市職員数は何人で、人件費は総額でいくらか。</p>	<p>平成20年度普通会計決算では市債の利子償還額は9億7,180万円で、平成20年度末市債残高における借入利率は、借入年度、償還期間等により異なるため、0.3%～6.6%となっています。なお、平成20年度に新たに発行した市債は、償還期間等の条件により0.5～2.1%の利率で借り入れることとなりました。</p> <p>市債の発行に当たっては、後年度に交付税措置のある財政上有利なものを優先的に借り入れ、また、利率5%以上の政府系資金を低利率の民間資金へ借換えを行うなど、公債費の負担軽減に努めているところです。</p> <p>職員数、人件費につきましては、平成20年度普通会計決算では、職員数728人、人件費62億9,507万円で、平成17年度決算と比べ、職員数は55人減、人件費は9億1,992万円の減となっています。</p> <p style="text-align: right;">【財政課（旧：総務課）】</p>	A
<p>◎市職員の出勤時間 朝、皆が体操をやっているのに、入口から遅れて入ってくる職員がいる。</p>	<p>勤務時間は午前8時半からです。体操はその5分前から始まります。職員は全員、午前8時半より前に来て勤務をしています。</p> <p style="text-align: right;">【行政課（旧：企画調整課）】</p>	A
<p>◎都市計画税 ①昨年若しくは今年に、都市計画税の使い道について意見を募集している集まりがあると聞いたが、実際に開かれているという話を聞いていない。都市計画税をどのように使っていくのか。</p> <p>②都市計画という名前はこの地域にしてみるとそぐわない名前なので、違う名前を考えていただきたい。</p>	<p>当地区では都市計画事業で、公共下水道事業や海洋公園線改良事業の一部を実施しています。また、起債（借金）の返済にも使っていきます。</p> <p style="text-align: right;">【下水整備課・道路河川課】</p> <p>都市計画税については、庁内で見直し検討委員会を開いて議論をしています。</p> <p style="text-align: right;">【税務課】</p>	A
<p>◎市内循環バス 掛川市の旧市街地には、市のバスがたくさん走っているが、こちらのほうには何も走っていない。バスの循環について考えていただきたい。</p>	<p>路線バスは、運行に多額の経費がかかり、その結果、市として多額の赤字補填をしている現状がありますので、「公共交通あり方検討委員会」において、公共交通の総合的な見直しを検討しています。</p> <p style="text-align: right;">【都市政策課（旧：都市整備課）】</p>	A

## 千浜地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎8月11日の地震時の同報無線</p> <p>同報無線が流れるのが浜岡より10分程遅かった。他市と隣接しているので、いろいろなものが聞こえてくる。浜岡は昔から原発関係があるので、掛川や菊川とは違うシステムがあると思う。一度、隣接市のシステムがどうなっているかを確認してもらいたい。</p>	<p>地震時に流れる同報無線は、全国周知警報システム(通称：J-A L E R T、ジェイ-アラート)と言います。気象庁が地震を感知すると消防庁にその信号が行き、消防庁が衛星を通じて同報無線を自動放送するシステムです。御前崎市は市庁舎に設置してある震度計と同報無線放送が直結しているため、掛川市より2分程度早く放送されたと聞いております。</p> <p>【市民安全課(旧：交通防災課)】</p>	A
<p>◎現病院跡地への県立医科大招致</p> <p>いくら病院を新しくしても、医者の数を増やさなくては病院問題は解決しないと思う。今の病院の跡地は利便性の良い場所なので、県立の医科大学を持ってくるといふ壮大な夢を考えてもらえないか。</p>	<p>静岡県知事と市長とが意見交換をする会があり、静岡県の人口規模からして、県内に医科大学が1つなのはおかしいので、医科大学を一、二校誘致すべきだという話をしました。その話の最後に、誘致する場所はぜひ、掛川でお願いしたいということも伝えてあります。</p> <p>【企画調整課】</p>	A
<p>◎掛川駅木造駅舎</p> <p>非常に厳しい財政状況の中、掛川駅木造駅舎をなぜ残さなければならないのか。それよりも、病院のほうにお金を回せばいいと思う。このようなところを節約して、本当に予算を投下しなければいけないところに振り分けていただきたい。</p>	<p>掛川駅北口木造駅舎の耐震化については、JR東海と連携し掛川の歴史ある素晴らしい「木の文化」を後世に残す事業として推進するとともに、「掛川駅木造駅舎を保存・活用する会」の募金活動に協力をして進めます。</p> <p>【都市政策課(旧：都市整備課)】</p>	B

睦浜・大坂地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎新田川右岸堤防道路への転落防止柵設置 大浜中学校正門前から西へ約350mの新田川右岸に転落防止柵が無い。右岸には8世帯ほどの土地があり、人も車両も通行している。右岸にも転落防止柵を設置して欲しい。</p>	<p>中学校の近くであり、すぐに安全対策について対応しなければなりません。当要望については、年次計画を策定して推進していきたいと思っています。 本路線に転落防止柵を施工するに当たっては、県が管理する河川の管理道路であるため、県への協議及び設置許可を申請します。 現在、市長を中心に、3か年の財政計画と事業の見直しを行っています。この全体計画の中で、優先的に対応していきたいと思っています。 <b>【道路河川課】</b></p>	A
<p>◎下小笠川廃川敷土地利用 ①前期末にゾーン別要望案を提出した後、何の説明も無い。役所内でどのような位置づけをされているのか報告していただきたい。まず、押出橋の撤去をやったらどうかという話もあった。 また、平成20年度は会合が二、三度あったが、平成21年度は一度も無いので、その辺りの説明をお願いしたい。地域説明会を早く開いてほしい。 ②関連した質問だが、東大坂区公共下水の整備は、堤防を取った後に実施したらスムーズに行くのではないか。</p>	<p>下小笠川廃川敷土地利用を考える会から提出された要望書によると、道路整備、公園的整備のための総事業費が32億円かかるということでした。現段階で32億円をすぐ投資するのはなかなか難しいこともあり、地元の皆様とお話をしながら、設計を作って推進していきます。 敷地は河川の底でありますので、有効な水切り対策の検討を行い、公園などの生活基盤整備に結びつけて行きます。 都市計画マスタープランでは、地域にとって最も合理的な土地利用を検討することとなっていますが、今後「緑の基本計画」を策定の中で位置付けていくこととなります。しかし、緑の基本計画策定までには期間を要するため、平成22年度に下小笠川廃川敷の公園化についての調査検討を行います。 <b>【都市整備課・道路河川課】</b></p> <p>当該事業計画の進捗状況及びその他事業等との整合を図り、計画的な整備に努めます。御提案ありがとうございました。 <b>【下水整備課】</b></p>	A D
<p>◎8月11日の地震時の問題点、反省点 ①8月11日の地震において、災害時に自治区と行政とがどのような役割分担をするか明確になっていないことが問題点として浮かび上がってきた。 災害対策本部は人を集めて何をしていたのかをもう少し住民にアピールしてもらわないと、人を集めるだけが目</p>	<p>平成21年8月11日に発生した地震を教訓に地域防災訓練では、自主防災会との連携、本部運営の在り方、同報無線の有効活用など8項目を重点項目と位置づけ、訓練を実施しました。この訓練のため、自主防災会長への事前説明会も実施しました。また、自主防災会より初動体制がわからないとの質問がありましたので、マニュアルを作成し、自主防災会長へ説明するとともに、広報かけ</p>	A

睦浜・大坂地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>的で何をしているかわからないという不信感を抱いてしまう。区への情報伝達や仕事の役割分担について、実践的に指示を出していただけることを期待している。</p> <p>対応マニュアルがあれば、区のほうにも見せていただき、役割を明確にしていきたい。</p>	<p>がわへ掲載し、啓発をはかりました。</p> <p>【市民安全課（旧：交通防災課）】</p>	
<p>②ブルーシートの配布に関して、早い者勝ちという給付は苦情が区の役員のところへ持ち込まれ、混乱を残すだけである。</p>	<p>今回は、台風のために用意してあったブルーシートを永久貸与しましたが、もっと大きな被害が発生した時には分けるだけの備蓄がありませんので、本来は皆様に日ごろからの備蓄を個人でお願いしたいと思います。</p> <p>【市民安全課（旧：交通防災課）】</p>	A
<p>③水道の断水の件では、大坂小学校に給水車が出動したが、あそこには飲料用の貯水槽があるので、それを開けて使えば良かったと思う。訓練の絶好の機会でもあったと思う。</p>	<p>飲料水兼防火水槽の利用につきまして、水道の断水などで必要が生じた場合、使用すべきだと考えます。災害対策本部の指示に基づき、水道部及び消防総務課を中心に自主防災会とも行動していきたいと思ひます。</p> <p>消防本部としては、平成21年12月6日の地域防災訓練で、支部員・自主防災会の方々を対象としまして飲料水の給水指導を実施しました。今後も依頼がありましたら水道部と調整を図り訓練指導をいたします。</p> <p>【市民安全課（旧：交通防災課）・消防総務課】</p>	A
<p>④防災訓練の内容を再考していただきたい。</p> <p>平成21年8月29日と、9月1日の防災訓練の内容は指示されていないので、役員が集まって適当に実施する程度で終わっている。</p> <p>12月に行う地域防災訓練の内容は、消火活動と炊き出しがメインになっているが、地元に残っている男性はほとんど消防団に入って消防の訓練をしているし、女性はほとんどが家庭の主婦で御飯炊きは毎日の仕事である。</p>	<p>※ ①の回答と同じ。</p> <p>【市民安全課（旧：交通防災課）】</p>	A
<p>⑤災害時は人命救助が大切だが、三井区にはAEDが1台も無い。少なくとも防災センターには配置して欲しい。</p>	<p>すべての防災センターにAEDを市で設置するのは、予算の関係上、困難ですので、各地区での対応（防災資機材補助の活用）をお願いします。講習会は、消防署で</p>	E

睦浜・大坂地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>⑥ 8月11日の地震は、東海地震とは比べものにならないと思う。もっと大きな地震が起これば、交通は遮断され、火災が発生しても消防車が来られない等の状況となる。そういう最悪な状況の検討もしていただきたい。</p> <p>また、川の水を利用した対策を研究して欲しい。</p>	<p>実施しておりますので、ぜひお申し込みください。</p> <p>【市民安全課（旧：交通防災課）】</p> <p>東海地震規模の地震が発生した際には、市の職員や消防署等、公が救助救援ができるのは3日後くらいと言われています。まずは自助、次に共助、そして公助ということです。東海地震の標語に「自らの命は自分で守る。自分たちの地域はみんなで守る。」というものがあります。これは、最初の2日間については、それぞれ地域の皆様で対応していただきたいということです。市の職員が何もやらないわけではなく、やれないような状況になります。災害対応につきましては、今後も研究してまいります。</p> <p>【市民安全課（旧：交通防災課）】</p>	D
<p>⑦ 屋根の被害に対する補助について、情報が錯綜しているので、事実を教えてください。まだ知らないお宅もあるので、通知を回覧して欲しい。</p>	<p>地震災害の見舞金については、平成21年9月の補正予算成立後、10月1日号の広報紙及び回覧にて周知をいたしました。</p> <p>11月までに報告をいただいた対象者の方には、12月末までに、また、12月以降に報告をいただいた対象者の方については、随時、見舞金の振り込みをさせていただきました。</p> <p>【福祉課】</p>	A
<p>⑧ もし津波が来たら3階以上の建物に避難するよにと聞いたが、詳しいことを教えてください。</p>	<p>静岡県が示している東海地震の被害想定資料によりますと、震度は5強～6、津波の高さは6m～6m70cmと予想されています。また、津波による建物被害は無いという想定がされています。</p> <p>【市民安全課（旧：交通防災課）】</p>	—
<p>⑨ どうして断水したところとらなかったところがあるのか。</p> <p>今後、遮断弁が作動する数値を引き上げを考えているか。</p>	<p>大東区域には、配水池が6つあり、睦浜・大坂地区には西部配水池と大坂配水池の2つがあります。</p> <p>西部配水池の方は遮断弁がおりませんでした。大坂配水池の方は遮断弁が下りてしまいました。ですので、大坂配水池から給水されている方については、断水してしまいました。配水区域が分かれていますので、断水したところとらなかったところがあったということです。</p> <p>それから、なぜ復旧が早いところと遅いところがあったかということですが、水道管の中の水が出てしまったので、水を送るときに一気に送れなくなり、空気が管の中に残っていると、空気の圧縮によって圧力がかかり、水道管が抜けたりする二次災害発生の可能性がありまし</p>	A

睦浜・大坂地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
	<p>たので、順に水を送りました。配水池に近い方、遠い方、標高、引き込んでいる管の太さによって、復旧するのに差があったと思われます。</p> <p>今回は、最大震度5弱で緊急遮断弁が作動しましたが、配水管への被害はありませんでしたので、緊急遮断弁の作動レベル（ガル設定）の引き上げを行います。</p> <p style="text-align: right;">【水道工務課】</p>	
<p>◎新型コロナウイルス発生時の対応</p> <p>①行政と自治区の役割分担があるのかどうか。</p> <p>②発症した場合、どこにどのような連絡をしたらいいのか。</p> <p>③新型インフルエンザの心配があったので、市役所に電話をした。警備員が出て、その人が教えてくれた番号にかけたが、何度かけてもつながらなかった。土日対応の電話番号も確認できたので、そちらにもかけたが、つながらなかった。どうなっているのか。</p>	<p>行政としての対応は、感染の拡大を最小限に抑え、医療や社会生活への影響を最小限に抑えることと、重症化や死亡を防ぐことにあります。</p> <p>そのためには、市民の皆様にご感染防止策についてお知らせし、できるだけかからないようにしていただきたいと考えています。咳エチケット、手洗い、うがい、マスクをすること、季節性インフルエンザのワクチン接種や規則正しい生活をして体力を落とさないこと、流行時には人混みをさけていただくことなどが大切です。</p> <p>もし、かかってしまった場合には、受診や療養の仕方などについて相談に応じていますが、熱が下がってから2日間は外出を控えていただくことが、感染を拡大させないために必要です。</p> <p>自治区の皆様には、このところを是非、協力していただいて、感染する人が少なくすめば、重症の方がきちんと医療を受けられることにも繋がります。新型のワクチンが行き渡るまではできるだけ感染を少なくしていくことがとても重要です。</p> <p style="text-align: right;">【保健予防課】</p> <p>電話番号 23-8111で御相談に応じています。もしこちらでもわからなかったら、保健所に確認して皆様にお返ししていくことが出来ますので、御連絡いただきたいと思えます。</p> <p style="text-align: right;">【保健予防課】</p> <p>夜間は急患診療室をやっており、夜9時半まで電話受付しています。電話番号は61-1299です。土曜日は開業医へかかってください。日曜日は朝9時から夕方5時まで診療しています。受付は4時半までです。</p> <p style="text-align: right;">【保健予防課】</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>

## 睦浜・大坂地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎与惣川近く大東ショッピングプラザ（ピア）北側付近の土砂 大坂地区は河川愛護のために、与惣川と新田川の草刈りをしているが、与惣川のコミュニティ公園北側へ200mにわたって土砂が堆積していて、草が一部残ってしまう。土砂の浚渫をお願いしたい。</p>	<p>袋井土木事務所の掛川市所において対応していただきました。  【道路河川課】</p>	A
<p>◎掛川市袋井市新病院 掛川と袋井の規模における急性期病院で500床では、多すぎると思う。今、掛川と袋井の患者数が合計で550人位で、そのうち250人位は急性期以外の入院患者であり、病床数を減らせば、その人たちの行き場が無くなってしまう。500床で急性期ということは無いため、残りの病床をどう使うのか早急にお示しいただきたい。 また、病院連携ももちろんだが、今、福祉施設の入居待ち者数が何百人にもなっており、病福連携ももっと強化していく必要がある。</p>	<p>今、掛川と袋井のベッド数は合わせて 850床程度あります。急性期を含めて、脳卒中、心筋梗塞、小児周産期等、様々な診療科目を予定していますので、500床と設定してあります。慢性あるいは回復期の方をどうするかというプロジェクトチームを地域医療再生計画とは別に、平成21年8月1日から庁内に作りました。ここで地域再生を含めて、医療、福祉、介護、こういったものを一体として考えていきます。  【病院経営企画課・地域医療体制整備検討プロジェクトチーム】</p>	A
<p>◎市立病院の経営改善 もっと効率よく経営できないか。近隣では、磐田市立総合病院は相当良い経営状況を示している。なぜかということだと思ふ。良い病院を造って、良いドクターを集めるにはどうしたらよいかということ、ただ建物を造るだけでなく、もっと真剣に考えていただきたい。現状、医者が不足して運営できていない病院が半数以上ある。榛原総合病院も焼津市立総合病院もそうである。どんどん診療を閉鎖している中で新病院を造るのだったら相当な覚悟が必要だと思ふので、その辺りの御検討をお願いしたい。</p>	<p>現病院については、平成21年3月に「経営改善計画」を策定し、全職員一丸となって経営の改善に努めています。 新しい病院をただ造るということだけでなく、いろいろな課題がありますので、これから専門家を含めて市民の皆様の意見を聞きながら検討していきます。  【病院経営企画課】</p>	A

## 土方地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎一級河川下小笠川の改修計画</p> <p>①以下の問題点に対する短期、中期、長期的対策を明確にしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川が蛇行しており、河床が高い。</li> <li>・河床に葦が生え、流れを阻害している。</li> <li>・土手の上部は泥でできているが、強度は大丈夫か。下部からは水の浸み、漏れがある。</li> <li>・流れが外にカーブしているところの土手の強度は大丈夫か。</li> </ul>	<p>平成21年度については、第一城東橋上流部の左岸100mと、川久保橋下流部左岸98mについて護岸の修繕工事をやっていただきました。今後とも要望活動を行い、皆様の不安を出来るだけ取り除いていきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	A
<p>②河川管理者が国から県になるのが不安である。</p>	<p>国から県に管理が移譲されることについては、地方分権の流れの中でやむを得ないことだと思いながらも、予算と日ごろの維持管理をしっかりとやってもらいたいということを条件として確約してもらおう方向で進めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	—
<p>③同じような幅で同じ水が流れているのに、どうして一級河川と二級河川に分かれているのか。整備の仕方が違うのか。</p>	<p>下小笠川は一級河川です。たまたま小笠橋で国と県とで管理が分かれています。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	—
<p>④国の防災計画では、1時間当たりの雨量が50mmと設定されているようだが、下小笠川はどれ位まで耐えられるのか。</p>	<p>時代ごとに整備の水準は上がっています。国によると、抜本的な水準は、1時間当たりの雨量が100mmです。暫定的な水準が60mmだと言われています。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	—
<p>⑤小笠橋から南は国の管理なので、国の委託を受けた業者が草刈りをして、小笠橋から北は、地域の人達が苦勞して草刈りをするのは不公平ではないか。</p>	<p>協働の精神で出来るだけ地元の人達に協力していただければと思っています。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	—
<p>⑥国が考えている抜本的な河川改修は、1時間当たりの雨量が50mmではなくて100mmだということだが、これは日本中でも滅多に無い雨だと思うが、どのように考えているのか見解を伺いたい。</p>	<p>実際に行われるのは100mm水準の整備ではなく、その川全体の整備状況を見て、上流、中流の整備に当たっては、その下流が60mm水準だったらそれ以上の整備をしても仕方がないため、それに対応した整備をしていきます。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	—

## 土方地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎県道袋井小笠線への歩道設置</p> <p>①土方小学校南から報徳橋の区間、約300mの工事が進んでいない。道路幅が狭く、最近の南北幹線開通による交通量増加により危険が高まっている。早期に改良していただきたい。</p> <p>②歩道設置の関係で、「地元で意見がまとまったら上（市役所）に言ってください、そうしたら私達はやりますよ」という風に聞こえた。弱い者にそういうことを押しつけて、行政が逃げるような感じがした。地元で任せるのではなくて、痛みを共有して分かち合うことをお願いしたい。</p>	<p>地元でまとまって、県、市と一緒に整備の内容を考えていける状態を作っていただければと思っています。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p> <p>地元の皆様に全て任せるのではなく、行政と市民が協働してやっていこうということです。</p> <p>平成20年度には、地元の皆様と袋井土木事務所が一緒になって取り組み、かなり煮詰まってきた状態にあります。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	C —
<p>◎準用河川亀惣川改修工事</p> <p>残された部分があと200m位であるので、早期の改修をお願いしたい。</p>	<p>水路敷地の用地内でブロック積みの護岸を考えましたが難しいため、直角のU字型になるかもしれません。現地調査をして構造を再検討中です。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	C
<p>◎西幹線道路の延長整備促進</p> <p>掛川高瀬線の開通により、県道掛川大東大須賀線の交通量が増えた。特に、落合橋から上流の入山瀬区間での渋滞や生活道路への侵入が顕在化し、交通事故発生の危険度が高い。</p> <p>今後の都市計画、物流等を考えた時、西幹線道路の産業道路としての重要度は高く、延長整備の早期実現が住民の「安全安心」のキーポイントである。</p>	<p>落合橋西100mくらいを水路等を整備しながら拡幅すれば、生活道路に流れ込むことも減るだろうと思います。では、佐々木製材から北はどうかと言うと、今のところまだ構想状態です。</p> <p>今は南に力を入れているということで御理解願いたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D
<p>◎小笠神社、高天神社</p> <p>小笠神社、高天神社の今後の計画や、何か考えていることがあるか。</p>	<p>南北道路の途中から小笠神社の駐車場に出る道路を造る計画があります。小笠神社PRに活かせる道路を考えています。</p> <p>高天神城については、国史跡に指定された区域内は社会教育課（旧：生涯教育課）で整備計画があります。平成21年8月11日に発生した地震により被害を受けた『大河内の石窟』の復元を最優先し、その後、二の丸ゾーン、本丸ゾーンの整備に移っていく方向で考えています。</p>	D B

## 土方地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
	<p>区域外については、商工労働観光課が観光推進の立場から看板整備を行っておりますが、整備計画は策定しておりません。御要望があればお願いします。</p> <p>【商工労働観光課・道路河川課・社会教育課（旧：生涯教育課）】</p>	D
<p>◎掛川駅前東街区市街地再開発事業 これは、旧掛川市の時からの話ではないか。</p>	<p>掛川駅前東街区市街地再開発事業は、平成21年3月に内閣総理大臣の認定を受けた掛川市中心市街地活性化基本計画で掲げる50事業の核となる事業です。</p> <p>平成16年度に再開発事業計画の見直しを行うことになり、身の丈にあった事業の構築を検討してきました。本年10月末に特定業務代行者が決まったことから、現在特代契約の締結に向けて内容の最終調整を行うとともに、組合設立に向け定款及び事業計画の策定作業を進めています。</p> <p>【都市整備課】</p>	一
<p>◎掛川駅木造駅舎 木の文化が大事だと賛成する人もいると思うが、皆で協力して残していくのか。市としてどのように考えているのかももっと明確にお聞きしたい。</p>	<p>掛川駅北口木造駅舎の耐震化については、JR東海と連携し掛川の歴史ある素晴らしい「木の文化」を後世に残す事業として推進するとともに、「掛川駅木造駅舎を保存・活用する会」の募金活動に協力をして進めます。</p> <p>【都市政策課（旧：都市整備課）】</p>	B
<p>◎土方小学校の設備 8月11日の地震で、新校舎と旧校舎の連結部分が盛り上がりすぎてしまい修繕をしている。運動場はすごい埃が舞い立つのに、散水施設が無い。教育施設の見直し、補修改修をしていただきたい。</p>	<p>地震の被害が各校で確認されており、平成21年9月補正予算により対応済みです。</p> <p>グラウンドの散水施設は、長期的には必要な施設かもしれませんが、多額の費用を要しますので、当面は塩化カルシウムの散布などの防塵対策により対応してもらうように考えています。</p> <p>【学校総務課】</p>	A D
<p>◎千人塚へのアクセス 史跡として存在しているわけだが、千人塚へ行くアクセスが非常に悪いので、何とかならないか。</p>	<p>具体的な要望を地元から聴取し、道路河川課と協議していきます。</p> <p>【商工労働観光課】</p>	D

## 佐東地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎都市計画税の問題</p> <p>都市計画税を支払っているが、佐東地区には計画が何も無いので、不公平だと思っている。選挙公約で、都市計画税を見直すと言われたが、どう考えているか。見直し検討委員会のメンバーは、どのような人達なのか。</p>	<p>市長就任と同時に、庁内に都市計画税見直し検討委員会を設置し、協議を進めています。</p> <p>マニフェストの中に都市計画税の見直しについては含まれていませんが、市民との約束だと考えております。</p> <p>見直し検討委員会のメンバーは、市長、副市長、企画総務部長、経済建設部長、南部行政事務局長、その他部課長が十数名で構成されています。</p> <p style="text-align: right;">【税務課】</p>	A
<p>◎南北幹線道路の問題</p> <p>佐東地区の悲願であり、これをなくしては合併の意味も見出せないのではないかと思っている。</p> <p>現在の進捗状況と、いつ完成するかをお聞きしたい。</p>	<p>市では現在、南北道路計画を始め、すべての事業について事業見直しを進めておりますが、その中で、南北道路はなるべく早く供用を開始したいと考えています。</p> <p>しかしながら、南北道路整備計画のすべてを予定どおり進めることは非常に困難となっていることを御理解いただき、集中と選択により、時間をいただいた中で順次対応していきたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D
<p>◎岩井寺農道の計画延長</p> <p>岩井寺の信号機のところから新しく農道を造り、高瀬の猿田彦神社前に通じることだが、少なくとも西、東の農免道のところまで伸ばして欲しい。</p>	<p>財政状況等を勘案し、農道掛川高瀬線（結縁寺から岩井寺区間）の延伸に併せ、岩井寺から高瀬区間について根本的な見直しが必要であると考えています。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D
<p>◎中方区、岩滑区の通学路整備</p> <p>東側の道が子供達の通学路になっているが、朝晩に車の迂回路となっていて大変危険である。佐東川土手の舗装も含めて、子供達が安全に学校へ通えるような道路整備をしてもらいたい。</p>	<p>学校の指定する通学路は、地域の保護者の要望に基づき、学校と保護者が子どもの安全な通学方法を協議し決定しています。佐東小学校に対し該当する保護者との研究協議を行うよう依頼します。</p> <p>通学路として堤防の舗装等、推進していくことを検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課・学校教育課】</p>	D
<p>◎小貫地内の道のカーブ</p> <p>カーブがきつくて事故が多いので、整備をお願いしたい。</p>	<p>県袋井土木事務所で改良を実施していただきましたが、引き続き交通安全対策を警察とも協議をしてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	C

## 佐東地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎高瀬線のアップダウンの改良</p> <p>最近になって、ゴルフ場が了承しないといけないということを聞いている。</p> <p>市はやると言ったが、県は了承しないと言われてしまったという話も聞いた。市の対応として良くないと思う。</p>	<p>農道として整備したものをすぐに市道認定して整備をするのはおかしいという、補助金適正化の議論の方針が決まるまでは工事を進めることができません。</p> <p>岩井寺から高瀬区間については、財政状況等を勘案し根本的な見直しが必要であると考えています。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D
<p>◎掛川駅木造駅舎</p> <p>予算が無い中、木造駅舎を耐震化して残そうというのは、誰が言っているのか明確に答えてもらいたい。1億円あればいくつもの事業ができる。</p> <p>全国の新幹線駅で唯一残っているということは、他のところは取り換えているということなので、おかしなことだと見極めてもらいたい。皆さんの意見を聞いていただきたい。</p>	<p>20歳以上の市民1,200人を対象にアンケートを実施しました。木造駅舎の保存について、「保存したほうがよい」が50.5%、「保存しなくてもよい」が28%でした。また、市の負担について「補助金や寄付金で負担を軽減すべき」が78.5%ありました。</p> <p>掛川駅北口木造駅舎の耐震化については、JR東海と連携し掛川の歴史ある素晴らしい「木の文化」を後世に残す事業として推進するとともに、「掛川駅木造駅舎を保存・活用する会」の募金活動に協力をして進めます。</p> <p style="text-align: right;">【都市政策課（旧：都市整備課）】</p>	A
<p>◎公共施設の耐震化</p> <p>8月11日の地震を経験して、小中学校の耐震化ができていますかお聞きしたい。</p>	<p>小中学校施設の耐震基準には、全国的に適用される国の基準と東海地震に特化した国の基準よりさらに厳しい県の基準とがあります。学校施設の耐震化は、昭和58年度より行ってきまして、国の基準に対しては平成23年度に全て終わる予定です。また、佐東小の体育館のような、国の基準は満たしているものの県の基準を満たしていないものについても、今後、順次耐震化を進めていく予定です。</p> <p style="text-align: right;">【学校総務課】</p>	A
<p>◎中方西幹線改良事業</p> <p>平成14年から平成22年までということだが、100mも200mも進まない。</p> <p>また、舗装に穴が空いた部分をそのままにしてあったので、直して欲しいと言いいに行ったら直してくれたが、言わなければ直さないなんてとんでもないことだと思う。</p>	<p>延長430m、幅員5mの工事を平成14年から22年までかけて実施します。平成21年度は、200mについて行います。</p> <p>舗装に穴が空いた部分の対応が悪かったことについては、お詫びを申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	A

## 佐東地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎掛川市袋井市新病院</p> <p>①どちらが先に合併を言い出したのか。もし、袋井が先に合併を言い出したのならば、負担金割合は五分五分でいいと思う。</p> <p>②何が高度医療になるのか。教授クラスの医者が来るのか、研修医クラスの医者が来るのか。高くていい設備を整えるのか。</p> <p>③負担金を出さない市外の人が紹介状でたくさん来てしまって、地元の人が行けない病院になったらどうするのか。</p> <p>④なぜ、ゴルフ場18ホールという、そんなに広い敷地が必要なのか。予算が無いのにそういうことをしているので、何か裏があったのか。しっかりした説明をしていただきたい。</p>	<p>おそらく、袋井市長のほうが早く話を出したと聞いておりますが、実際、どちらが先に声をかけたかということとはわかりません。負担割合は、事務的経費は「掛川市60%、袋井市40%」、建設費等の負担金は、人口割65%、均等割20%、距離割15%と決定しました。平成21年度の建築費等の負担割合は、掛川市60.4%、袋井市39.6%となります。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課】</p> <p>二次医療と言いますが、急性期の入院医療を中心に考えています。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課】</p> <p>患者さんもそうですし、医者や看護師も含めて人を吸い付けるマグネットホスピタルとなるこの総合病院の推進へ御理解をいただきたいと思っています。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課】</p> <p>菖蒲ヶ池ゴルフ場は、26.5haありました。病院の敷地は平均で8ha必要です。12haを企業誘致し、6haを病院関係の業務用用地等として確保します。</p> <p>土地販売の収支バランスの案はできています。値段は不動産鑑定士に入ってもらって損の無いようにしていきます。</p> <p style="text-align: right;">【管財課（旧：総務課）】</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>
<p>◎大東北公民館の職員</p> <p>大東北公民館に職員が3人もいる。佐東、土方、中地区センターへ入ってもらい、1週間毎日ぐらい居る状況にしてもらえないか。</p>	<p>公民館職員は、公民館活動を円滑に行うために設置しており、公民館職員を地区センター職員として派遣することはできません。</p> <p>地区センターへの職員派遣については、市職員の配置がもたらす効果について、センター長、事務長の勤務形態などと照らし合わせ、今後の検討課題にさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）・ 社会教育課（旧：生涯教育課）】</p>	<p>E</p>
<p>◎原子力発電所の放射能の危険性</p> <p>御前崎市の待遇との雲泥の差を縮め</p>	<p>空間放射線量の測定では、発電所周辺7か所にモニタ</p>	<p>A</p>

## 佐東地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>てもらいたい。命に差があるのか。半径25km以内の危険性は同じである。</p> <p>中部電力による避難所と探知機の設置をお願いしたい。</p>	<p>リングポスト、14か所にモニタリングステーションを設置して連続的に放射線量を監視するとともに、発電所周辺57か所にモニタリングポイントを設置し、3ヶ月間の放射線の積算線量を確認しています。</p> <p>避難者収容施設はあらかじめ定められていますが、災害時の気象条件等によって、異なります。</p> <p>【市民安全課(旧：交通防災課)】</p>	
<p>◎8月11日の地震時の対応</p> <p>すぐ放送が入ったが、「避難をしてください」ばかりであった。区の避難所に皆を集めて、被害状況を確認する訓練をしているが、本番になったらそんなことは何も言わないのはどういうことか。</p>	<p>平成21年8月11日に発生した地震を教訓に地域防災訓練では、自主防災会との連携、本部運営の在り方、同報無線の有効活用など8項目を重点項目と位置づけ、訓練を実施しました。この訓練のため、自主防災会長への事前説明会も実施しました。また、自主防災会より初動体制がわからないとの質問がありましたので、マニュアルを作成し、自主防災会長へ説明するとともに、広報かけがわへ掲載し、啓発をはかりました。</p> <p>【市民安全課(旧：交通防災課)】</p>	A
<p>◎医師、看護師不足</p> <p>多くの予算を使って新病院を建てるが、その予算があったら何人の医師や看護師を育成できるのかと考えてしまう。医師や看護師を育てるシステムは考えられないか。</p> <p>また、医師や看護師がいなくなってしまうのには何か問題があると思うので、見直しが出来ないか。</p>	<p>将来は医科大学を誘致して医師の供給が出来るような将来構想も進めていきたいと思っています。</p> <p>医師、看護師を育てる体制としては、医学生に対する修学資金貸付制度を行っています。その他、初期臨床研修については各地の説明会に出席し、呼びかけをしています。また、袋井にある東海アクシス看護専門学校の構成市町の一つとして看護師の養成に努めています。なお、同校には奨学金貸与制度もあります。</p> <p>医師がいなくなっている理由は、過重労働であることと、外科、小児科、産婦人科等、訴訟の可能性のある手術を要するところに勤めたくないということだと思います。過重労働を軽減するために、一次医療は開業医へかかってもらうよう勧めています。</p> <p>【企画調整課・病院経営企画課】</p>	A
<p>◎公金紛失事件の今後の対策</p> <p>このようなことがあると、市民からの信頼は無くなる。職員一人ひとりの気の緩みがあるのではないかと言われても仕方がないと思う。今後の対策、覚悟についてお聞かせいただきたい。</p>	<p>本当に申し訳ありませんでした。二度とこのようなことの無いように、「掛川市内部公益通報の処理に関する要項」及び「掛川市の行政機関に対してなされる公益通報の処理に関する要項」を平成21年9月1日施行し、再発防止の対策を行いました。</p>	A

## 佐東地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
	<p>職員の意識の問題や、報告、連絡、相談のコミュニケーションの問題、それから、コンプライアンス委員会の設置を含めてどのように取り組んでいくのが一番いいのか、庁内でいろいろと検討しています。</p> <p>具体的な対応策として、公金を取り扱った担当者が責任意識を持つということで、納税通知書に担当者印を打つことにしました。</p> <p>そして、当たり前のことですが、絶えず2人で対応いたします。</p> <p style="text-align: right;">【行政課（旧：企画調整課）・税務課】</p>	
<p>◎佐東小学校学童保育所の運営方法</p> <p>開設に当たっては、市と社会福祉協議会に協力していただき、1年程度で地区の自主運営に切り替えることを条件としたが、1年以上経った今でも現状ではなかなか難しい。市の委託事業として、社会福祉協議会での運営を希望する。</p>	<p>現在社会福祉協議会への委託事業について、行政改革の観点から見直しを図っております。その中で学童保育事業におきましては将来的に地域運営を目指すことを基本としており、現在社会福祉協議会所管となっている学童保育所についても地域の自主運営に切り換えるよう働きかけを行ってまいります。当市の基本方針に御理解いただき、御協力をお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課】</p>	D

## 中地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎公園化された睦三区の田ヶ池周辺の維持管理</p> <p>①今後、どこでどう維持管理をすればよいか。</p>	<p>農地・水・環境保全向上対策で平成20年度に組織された中地域緑化を進める会と地区センターの環境部会が中心となって草刈り、清掃等を行っています。</p> <p>【農林課（旧：農業振興課）】</p>	A
<p>②震度6以上の地震があった場合に、田ヶ池南側の土手は決壊の恐れがあるのではないかと心配する声があるので、水量及び堤防の強度の調査をしていただきたい。</p>	<p>平成21年8月11日の震度5弱の地震では、特に被害は無かったという報告を受けていますが、地震時の対応としまして、震度5以上の地震が発生した時には、目視による点検を行い、県（中部農林事務所）に報告することになっています。もし、目視で問題点があれば、早急に池の水を抜き、安全策を取るようにします。</p> <p>堤体の強度につきましては、平成元年から平成6年にかけて堤体の補強工事を行っていますので、問題ないと思われまます。</p> <p>【農林課（旧：農業振興課）】</p>	A
<p>③周遊道路がほぼ完成したが、北側のゲートボールをやっている所がまだ周遊道路につながっていないので、出来れば遊園地の中を通すかどうかして、安全な遊歩道にして欲しい。</p>	<p>議会の一般質問の中で、トイレや休憩施設や水道が欲しいという話も出ましたので、農業公園という位置づけではなく、市民が共有して使える公園という観点で検討したいと思います。</p> <p>【農林課（旧：農業振興課）】</p>	D
<p>④田ヶ池が整備されたので、田ヶ池維持管理組合は解散するのかと思っていたが予算が付いて、3年間継続することであった。維持管理組合としては一銭も予算が無いので、地区センターの環境部会と合体して事業を一緒にやらせてもらっている。経済状況が良くなったら、本格的な公園の形を造っていただきたい。</p>	<p>児童公園としての都市計画への位置づけや、防災拠点としての整備、トイレの設置等、少し時間をかけて検討させていただきます。</p> <p>【農林課（旧：農業振興課）】</p>	D
<p>⑤草刈りをしたり、管理をしたりするのは上流の人で、水を使っているのは下流の人である。一部、菊川市の人もいる。市でやっていただければ一番いいという意見もかなり出ている。</p>	<p>水利権を持っていて市外にいらっしゃる人の件については、担当者のほうで、菊川市役所や地元の水利組合、又は、中地域緑化を進める会等と話し合いを持って、どのような方向で進めていくか検討させていただきます。</p> <p>【農林課（旧：農業振興課）】</p>	D

## 中地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>⑥一番困るのはトイレなので、出来るだけ早くお願いしたい。</p> <p>⑦あの地域にだいぶ薬<sup>やっきょう</sup> 莢が落ちているので、禁猟区にできないか。報告はいいので、とにかく止めるように言って欲しい。</p> <p>⑧西之谷にため池が2つある。これからどうしていくのかをお聞かせ願いたい。</p>	<p>トイレは管理についての話し合いもありますので、これから検討させていただきます。 【農林課（旧：農業振興課）】</p> <p>有害鳥獣との関係があるので、地元の皆様ともう少し詳しい話し合いを行い、県と協議をしていきたいと思えます。 【農林課（旧：農業振興課）】</p> <p>ため池文化を将来に残していきたいと思っています。子供達の体験学習の場にもしていきたいと考えています。具体的なことをこれから検討していきたいと思っています。 【農林課（旧：農業振興課）】</p>	<p>D</p> <p>D</p> <p>D</p>
<p>◎中小学校の耐震調査</p> <p>中小学校は安全性が高いと聞いたことがあります。耐震の調査をお願いしたい。</p> <p>地盤が、昔、災害のあった所と合致するので心配である。</p>	<p>校舎は、平成15年に耐震診断を実施したところ、国、県の耐震基準を満たしており、大規模な地震や東海地震に対して耐震性を有する建築物とされています。体育館は、平成15年に当時の基準で耐震補強工事を行いました。その後、県が東海地震に特化した新たな基準を設けたため、その基準には合致しなくなりました。そのため、体育館については県の基準をも満たすように、今後、順次耐震補強を実施していきます。 【学校総務課】</p>	<p>D</p>
<p>◎津波対策</p> <p>津波対策について、市はどのように考えているか。</p>	<p>安政の地震の時には、国道150号線の少し上ぐらいまで水が入ったようです。</p> <p>菊川右岸の6mの堤防が若干低いことが心配されましたが、用地協議が整い次第かさ上げしてもらうよう要望しています。 【道路河川課】</p>	<p>C</p>
<p>◎掛川市袋井市新病院</p> <p>今後の経営について、掛川市も袋井市もかなりの赤字が出るようだが、民間委託できないか。</p>	<p>ただ今、掛川市・袋井市新病院建設事務組合を作って建設の準備をしています。今後、ある程度の目途が立ちましたら、経営形態をどうするかという議論を進めていかなければなりません。ただ、今のところ、公設民営にするという考えは持っていません。 【企画調整課】</p>	<p>A</p>

## 中地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎公金横領問題</p> <p>今後の指導、教育、監査システムをどう構築していくかについて、進め方をお聞かせ願いたい。</p>	<p>士気の緩みと、公金を1人で扱うというシステムが間違いのもとであったと思います。</p> <p>平成21年9月1日に「掛川市内部公益通報の処理に関する要項」を施行しました。また、管理職による部下の仕事のチェック、事務執行の改善、システムの改善等について努力していきます。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課】</p>	A
<p>◎国民文化祭における補助</p> <p>市の教育委員会と県から、八坂神社の祭典を富士宮市で披露して欲しいとの要請があった。60人がバス2台で向かうので、もう少し補助を考慮していただきたい。</p>	<p>補助金対応を検討しましたが、御要望先から辞退の申し出がありました。</p> <p style="text-align: center;">【生涯学習まちづくり課（旧：生涯教育課）】</p>	D
<p>◎幼稚園の再編</p> <p>地域住民にとって幼稚園は、地域の核みたいなどころがあるので、出来る限り地元の幼稚園は残してもらいたいというのが切なる願いである。</p> <p>幼稚園統廃合の問題や保育園との絡みについて、市の考え方や情勢を伺いたい。</p>	<p>旧掛川市の幼保再編8園計画の見通しが立ってきましたので、外部委員会を立ち上げて、南部地区の乳幼児教育のあり方を見通し、その方向性について協議・検討に入っています。</p> <p>平成22年度中には方向性を示していきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【幼児教育課】</p>	A
<p>◎経済状況の悪い中、どのような体制を取ったら良いか</p> <p>財政状況が苦しい苦しいと言うばかりで、どうしたら新しい展開になるのかという現実的な話が何も無い。</p> <p>我々がなぜ要望を出すかという、要望したところに予算が付いているからである。言ったところ勝ちだという面があるから言う。どのようなものは我慢すべきだとか、どのような順序で整備していくのがいいのかを区民と一緒に考えて考えれば良いと思う。現時点の経済の悪いところを、今の時点でどうするか考えて今後の体制を取らないと先の展望は無い。</p>	<p>仰るとおりの面があります。ここできちっと行財政改革をやらないと、いろいろなサービスが益々低下してしまいます。行政がやるのは何か、市民と協働でやるのは何か、あるいは市民に担ってもらうのは何かという整理をしていきたいと思っています。</p> <p>また、平成22年度に向けて総合計画における実施計画を策定し、選択と集中による行政運営を推進します。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課】</p>	一

## 中地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎掛川駅前再開発ビル</p> <p>開発をすれば人やお金が集まるという発想はおかしい。人口を増やしたければ、仕事を増やせば良い。考え方を變えていただきたい。</p>	<p>平成21年3月に内閣総理大臣の認定を受けた掛川市中心市街地活性化基本計画では、①歩行者通行量 ②居住人口 ③営業店舗数の増加を目標指標として、その達成のために50事業を計画しています。その核となる事業が駅前再開発事業で、居住者を増やすためのマンションや集客のための商業施設、公共施設、駐車場、イベント広場が計画されています。10月末に特定業務代行者が決まり、現在組合設立に向け、定款及び事業計画の策定作業を進めています。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p>	A
<p>◎大東・大須賀の人達が合併して良かったと思える市政運営を</p> <p>合併して4年経ったが、上手くいっていると言う人もいれば、まだ上手くいっていないのではないかとする人もいる。特に大東・大須賀区域の方々には上手くいっていないと言う意見が多いと感じる。</p> <p>南部行政事務局を作って本部があるかというとは実は無い等、せっかく合併したのにまだ区別しているのではないかという想いが住民の中にある。</p> <p>市長が大同団結の合併の考え方をもちかどうかお聞きしたい。</p>	<p>いろいろな御意見をお伺いしています。課題を解決するよう努力していきます。合併して良かったと思える市政運営をしたいと思っています。</p> <p>南部事務局についても、今、局長にどのような課題があるのかという投げかけをして、在り方を検討しています。</p> <p>そして、さらに大きな合併をというお話だと思いますが、中東遠は一つの地域だとして行政運営をしなければならぬと考えています。行政運営は、消防、病院等のネットワーク化を図る等、効率性を求めて広域的に展開すべきだと思っています。</p> <p style="text-align: right;">【企画調整課】</p>	A

## 大須賀第一・第二・第三地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎大須賀区域の行政機能の充実</p> <p>合併して5年の間に大須賀の行政機能が、本庁に集約されたり、大東に統合されたり、いろいろな形で合理化されてきた。大須賀支所に出かけていくと、本庁又は大東支所まで行かなければならないことがあり、非常に不便だという話をよく耳にする。大須賀区域のサービス機能を落とさずに、今後、どのように合理化を進めていくのか。</p>	<p>市民に身近な行政サービスを除いては、同一あるいは類似の事務について基本的に統合を進めざるを得ないことに御理解をいただきたいと思います。</p> <p>地域の皆様と行政が協働して従来あったサービスを維持していくシステムを作っていかなければならないと考え、地域自治組織について庁内で検討しています。</p> <p style="text-align: right;">【行政課（旧：企画調整課）・生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p>	D
<p>◎大須賀区域の都市計画の具体的計画</p> <p>南部地域では、都市計画税を財政基盤として行う事業が見えない。大須賀区域での今後の計画を聞かせていただきたい。</p>	<p>主な事業として、下水道事業と洋望台の土地区画整理事業を行っています。</p> <p>その他の都市計画事業では、都市計画道路について未整備路線が5路線ありますが、県道の石津バイパスについては、別途都市計画道路として位置付けた上で整備していく予定です。</p> <p>それから、大須賀から掛川に定期バスを出す事業も行ってきました。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課・下水整備課】</p>	D
<p>◎一番町前の道路の振動</p> <p>一番町前の道路に下水道が完成して4年になるが、大雨時に地下水が流れて埋設工事に伴う砂が全て三番町通りに噴き出てしまっている。つまり、砂が流出してただの空洞になっている。そこがたまたま大型車の轍の上なので、大型車が通るとだいたい2秒位揺れる。何とかして欲しいという要望を以前から申し上げている。陥没してからやるようでは、下水管がお釈迦になってしまうので、その前に市で調べて何とか手を打って欲しい。</p>	<p>県道西側は、石津区から順次、舗装の打ち替え工事を県土木事務所で実施しています。ただ、一度にすべてできるわけではありませんので、今後とも県袋井土木に要望していきます。</p> <p>三番町の漏水の件は、大井川用水の幹線が下に入り、前々から漏水があるということで、中遠農林事務所で管の内側の改築をする工事を引き続きやっています。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課・農林課（旧：農業振興課）】</p>	A B
<p>◎道路脇の樹木</p> <p>県道大須賀掛川停車場線における工事箇所とトンネルの間に木の枝が生い茂り、背の高い車の擦れ違いが出来ない。個人所有の土地から枝が出ている</p>	<p>県道ですので、県に対し支払い等管理をお願いしていきます。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	A

## 大須賀第一・第二・第三地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>所については、市から指導をしてもらいたい。</p>		
<p>◎都市計画道路 主要地方道相良横須賀線</p> <p>①十数年前に発表したのに、未だ進展が無い。市役所へ行くと、区長さんが正式に申請に来ればいつでも取りかかると言う。大須賀の自治区は1年任期であるため、1年が無事に過ぎれば後は知らんということで、これは永久に着手できない都市計画である。</p> <p>一番町は自治区に入っていない地権者が40%位居て、区でまとめるわけにはとてもいかないので、そこを配慮して県と市で話をまとめて説明会を開いてもらいたい。</p> <p>②中番町でも、西からやってくる県道の舗装を平成17年に実施した。それでも振動が解決しなかった場合は、都市計画が進んだ時点で善処するという県の返事をもらっている。</p> <p>原因がわからないから説明会を開いて欲しいと言っているが、市は、県だ県だと逃げる話ばかりで割合ノータッチである。区長が地元をまとめてくれればやりますと言うのでは、やるはずも無い。区長は1年で終わりなので、後は知らんという人ばかりであり、そこを当てにしているというのは市役所の怠慢だと思う。</p>	<p>主要地方道ですので、県道として整備をお願いします。当時は幅員12mで都市計画決定をしました。今後の、道路改良を含めたまちづくりについては、地元関係者の皆さんと市とで話し合いの場を設けながら進めていきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p>	D
<p>◎地下水を暮らしの中にどう活用していくか</p> <p>8月11日に地震があった。災害が起きた時に豊かな自己水源をいかに使うのかが、当地域の最大のテーマになってくる。</p> <p>水のある地域にはそれにふさわしい防災体制があってもいいと思う。旧掛</p>	<p>水道事業は認可に基づき運営されており、水源については、一日最大給水使用量により位置・取水量等が決められております。大須賀区域については、上水配水量の約45%は自己水源であり、災害等で企業団からの受水がストップしても、現状の約半分程度の供給が可能となり、掛川区域に比べ自己水源の有効活用が図られております。なお、新たな水源開発は認可上の問題や費用の捻出</p>	E

## 大須賀第一・第二・第三地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>川市の対応は水道法に基づいた対応だと承知の上だが、再検討の必要があると考える。</p> <p>大須賀区域の豊かな地下水をもっと活かすという考え方が市当局にあってもいいのではないか。このような観点で、水の問題を真剣に考えていただきたい。</p>	<p>などの問題が発生しますので、現状の自己水源をしっかり守り、安心安全な水道水の供給に努めることが肝要と考えております。</p> <p>豊富な地下水をどう有効活用していくかについて、勉強させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【水道総務課】</p>	D
<p>◎水神宮の遊歩道</p> <p>水神宮の遊歩道に、階段が知らない間に付いた。あそこは私有地だと思うが、市は市有地と間違えて工事をしたのか。やはり、地権者に一言あいさつや相談があって然るべきだと思う。他人の土地に勝手に施設を造っていいものかどうか。</p>	<p>遊歩道の一部が危険なため、整備をしましたが、地域への連絡が遅れ、その後区長さんに説明しました。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p>	A
<p>◎教育委員会の支所機能</p> <p>大須賀区域には青少年健全育成ということで、若つつじ会というものがある。ところが、それをやっていく上において一番大事な教育委員会の支所機能が大須賀支所には無い。</p> <p>若つつじ会の報告書等を提出する時、中央公民館1階の事務室へ月曜に行くと誰も居ない。教育の問題は大事なので、誰か1人位は居て欲しい。</p>	<p>大須賀支所内に連絡箱を設置していますので、月曜日の書類提出については、そちらを御利用願います。また、今後、書類提出を求める場合は、中央公民館が月曜休館であることや、休館日に書類提出する時は支所で受け取りができる旨をお知らせしていきます。</p> <p>支所機能については今後も継続的に検討していきますが、来年度の組織機構では現行体制とさせていただきますので御理解をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">【行政課（旧：企画調整課）・ 社会教育課（旧：生涯教育課）】</p>	A D
<p>◎防火用水使用後の報告</p> <p>先日も南署から、使用したことをなぜ報告しないのかという問い合わせがあった。使った覚えも無いのにお叱りを受けた。</p> <p>今年度は地震もあったので、何かしらの訓練をしたいと思っているが、いちいち気を使いながら訓練をするのはおかしいので、報告はするが、もう少し大目に見てもらいたい。</p>	<p>防火用水を訓練等で使用し給水の必要がある場合は、連絡をしてください。火災などに備えて消防署で補水に参ります。</p> <p style="text-align: right;">【消防総務課】</p>	A

## 大須賀第一・第二・第三地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎大須賀の地名</p> <p>①8月の地震の前に大雨があった際、沢上町の山のほうからものすごく水が出たので、市へ電話をかけた。支所へつながらなかったの、本庁へ電話をしたところ、本庁の人は沢上町がどこにあるのか知らなかった。役所の人は、どこにどのような町があるか位はしっかり勉強しておいて欲しい。</p> <p>②昔、国道150号線の看板にローマ字で「OSUGA」と書いてあったが、「おおすか」と言わずに「おおすが」と言う人が居ると、その地域の人達にとっては非常に気になる。</p>	<p>地名を知らないということが職員にあってはならないと思います。いざという時に電話を受けて、どこかわからないというのでは仕事をする上でよくありませんので、これについては徹底いたします。</p> <p style="text-align: right;">【行政課（旧：企画調整課）】</p> <p>地名を知らないよりももっと失礼なことで、申し訳ありません。今後、そのようなことのないようにします。</p> <p style="text-align: right;">【行政課（旧：企画調整課）】</p>	A
<p>◎沢上町公民館前排水路に関する地区要望</p> <p>子供が遊んでいる時に何回か落ちたことがあるため地区要望を出したが、強度の問題でそこに蓋をすることはできないということだった。</p> <p>市長選当日、大人が落ち、車の脱輪もあった。直してくれと支所地域振興係に言ったところ、選管に言ってくれとたらい回しにされた。</p> <p>このことを受けて側溝蓋を設置することになったが、大人が落ちてから即対応するのはおかしいと思う。</p>	<p>いろいろと御迷惑をおかけして申し訳ありません。その経過についてはわかりませんが、側溝については、改良することになったと聞いています。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p>	A
<p>◎市役所受付に居る案内の女性</p> <p>2人居るが、トイレ要員で2人居るのか。1人でも間に合うのではないか。無駄に感じる。</p>	<p>案内係は委託しています。来庁者への案内だけでなく、市役所の代表電話にかかってきた電話の対応、宅配の受付もしてもらっています。検討はしますが、案内だけしているわけではないことを御理解ください。</p> <p style="text-align: right;">【管財課（旧：総務課）】</p>	D
<p>◎洋望台道路沿いの街灯</p> <p>道路沿いに街灯が付いているが、一つ中に入ると全く付いていない。事業が終わる際に付けていただけるのか。</p>	<p>一番広い道路については、道路照明ということで街灯が付きますが、区画道路の中については、それぞれの自治区が防犯灯を市民安全課（旧：交通防災課）の補助金</p>	A

## 大須賀第一・第二・第三地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
	<p>を利用して設置しています。電気料については自治区で負担、場所についても自治区で検討をしていただくということです。</p> <p>防犯灯については、補助額が2種類あります。電柱に取り付けるAタイプが 15,000 円、支柱を立てて取り付けるBタイプが 23,000 円です。必要箇所があれば、要望書の提出をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">【市民安全課（旧：交通防災課）・都市整備課】</p>	
<p>◎西大谷から掛川に抜ける道路</p> <p>どこを通るのか伺いたい。トンネルを拡張するのか。それとも、新たに他へ道路が出来るのか。</p>	<p>トンネルから西側 250 mまでの区間は、今年度整備が完了します。</p> <p>県道ですから県へお願いしていきますが、トンネル部分をどのように整備するのかは、これから詰めていかなければなりません。</p> <p>手戻りがあってはけませんし、トンネルの詳細設計ができてつなげていくということですので、今のところ 250 m程手前のところで一旦止めるということです。</p> <p>トンネルを越して東側の大東部分については、市施工でバイパス路線を整備していきます。</p> <p style="text-align: right;">【道路河川課】</p>	D

## 大湊地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎都市計画税と大湊地区下水道事業</p> <p>下水道事業ぐらしか都市計画税の見返りが無いので、大湊地区の都市計画について御説明をお伺いしたい。</p> <p>また、下水道の工事が横須賀でなかなか進まないのなら、野中区等、他の地域を先にやっていただいてもいいのではないかと。どんどんやってもらいたいのに、先行きが不透明で納得がいかない。今後どのように進めていくのか。</p>	<p>大湊地区を積極的に整備していくという全体の流れや、皆様への御協力依頼について説明する会を、区長会を通じて早く日程調整します。</p> <p>下水道計画は、掛川市の公共事業の中で一番お金がかかるもので、平成6年ごろから平成61年ごろまで続く気の長い工事です。財政計画と整合を図りながら推進しています。</p> <p style="text-align: right;">【下水整備課】</p>	D
<p>◎個人の合併浄化槽への補助金</p> <p>平成61年までの下水道計画はわかるが、いっぺんに大きな工事が出来ないのなら、個人の合併浄化槽に補助金を出して単独で整備する案もあると聞いている。そのような方法で少しでも良くすることはできないのか。</p>	<p>市内では、倉真地区等で合併浄化槽を推進しています。管を遠くまで引くのにコストがかかりすぎる面もあるので、区域の見直しについて指示をしているところです。その他、交通にあまり良くないということもあるため、それらの調整と併せて検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">【下水整備課】</p>	D
<p>◎若宮神社北側の市有地への藤塚公民館移転</p> <p>昭和51年8月に新築した公民館も30年が経ち、老朽化が進んでいる。土地は借地であり、駐車場も無い。平成17年に移転の話が出た。</p> <p>若宮神社北側の1,200坪程の市有地の一部を買い上げて、藤塚公民館を移転したい。坪数は400坪位を考えている。</p>	<p>藤塚公民館は、コミュニティ施設改善事業補助金を利用し、平成18年度に耐震診断、平成19年度には耐震補強工事を実施されていますので、10年間は公民館の改築補助の対象となりません。</p> <p>なお、市有地の一部払い下げや、藤塚公民館の移転については、関係各課と連携して検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p>	D
<p>◎東大谷川柳瀬橋への信号機設置</p> <p>笠南道路を使って東大谷川沿いを通るが、事故が多発していると聞いて、先日、警察に問い合わせた。街路樹を道沿いに植えてあるので、今は良いが春先になると一時停止の表示が見えなくなってしまう。警察から市に連絡があったか。同じ所で何回も事故が起きているため、当然、信号機を設置しなければならないとか、一時停止の表示をもう少し見やすくする等の対応を考</p>	<p>木の管理をどうするかということもあるので、早速、現地を見て早急に対応します。</p> <p>信号機の件は、市内で年二、三か所の整備になりますが、各所から要望があり、全体の調整も考えつつ出来るだけ優先順位を高めていく工夫をしていきたいと思っています。</p> <p>平成21年11月30日に、地元と市にて現地確認をしました。その結果、停止線位置の改善必要箇所があり、12月9日に交通防災課から警察署へ要望しました。合わせて、交差点注意の看板2枚を設置し、当面様子を見るこ</p>	A

## 大淵地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>えると思うが、いかがか。</p>	<p>ととしました。信号機設置について必要性があれば要望書の提出をお願いします。</p> <p>【市民安全課（旧：交通防災課）・都市整備課・道路河川課】</p>	
<p>◎地区センター（アイク）への小会議室兼事務室増築の再要望</p> <p>歴史民俗資料館の会議室を使えばいいということになったが、あまり便利ではないので使っていないと思う。</p> <p>なんとか自由に使える会議室を造っていただきたい。</p>	<p>昨年の協議の結果、アイクの事務室を当面利用していただき、臨時の会議室としては歴史民族資料館の会議室を使ってもらうことになっています。それでは十分ではないことですが、他のセンターのこともありますので、全体の中で引き続き検討させていただきます。</p> <p>【生涯学習まちづくり課（旧：地域振興課）】</p>	A
<p>◎大淵3号線、4号線</p> <p>おおすか苑東側の道路拡幅について、平成20年度はやってくれたが後が続かない。進捗状況、今後どうなっていくのかについてお示しいただきたい。</p>	<p>パイプライン敷設の関係で、平成21年度は当初予算に計上をしませんでした。パイプライン工事は平成22年度から計画を始めて、平成23年度には事業が始まるのではないかと情報をもらっています。</p> <p>【道路河川課】</p>	C
<p>◎南北道路</p> <p>南北道路はいつ開通するのか。凍結について、市長、議員はどう考えているのか。</p>	<p>南北道については凍結しているわけではなく、全体の見直しをしており、南北道路整備計画のすべてを予定どおり進めることは非常に困難になっていることを御理解いただき、集中と選択により、時間をいただいた中で順次対応していきたいと考えております。</p> <p>【道路河川課】</p>	A
<p>◎市議会議員の年俸</p> <p>年俸が高過ぎる。日当制でやっている市もあるし、費用弁償でやればいいと思う。</p>	<p>市長、副市長、教育長が大変厳しい財政状況を考慮して平成21年10月から当分の間、給与を20%～15%カットしています。その際にも、いろいろなかたから議員の給与もカットしたらどうかという話がありましたが、議員定数を30人から24人に減らしたことが一つの減額になっていると思います。</p> <p>この件については、行政側から言うことではなく、議員の判断で決定すべきものだと考えています。</p> <p>【市長】</p>	A
<p>◎掛川市の借金</p> <p>掛川市の借金はいくらあるのか。</p>	<p>広報かけがわ平成21年10月15日号に決算報告「わがま</p>	—

## 大洲地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
	<p>ちの家計簿」が掲載されており、将来負担すべき負債は907.5億円です。 【財政課（旧：総務課）】</p>	
<p>◎風力発電計画に対する賛否両論 海岸沿いに風力発電計画が出されており、意見が二分されている。市担当者にも積極的に話し合いに入っていたが、将来に禍根を残さないようにして欲しい。将来、その会社が倒産したらどうなるのかという不安を抱いている。</p>	<p>新エネルギーの導入、費用削減の対策として風力発電を設置したいという考えを持っています。地元住民の理解が得られることが設置の前提条件であり、理解が得られるように企業に指導するとともに、地元での学習会開催をお願いしています。 倒産については、全ての企業立地に共通して言えることですが、倒産を想定した考えは基本的にはありません。 【環境政策課（旧：環境保全課）】</p>	A
<p>◎各種会費、寄付金の集め方に対する疑問 なぜ、区に対して半ば強制的に徴収依頼が来るのか。寄付金については、選択の自由があることをはっきりと御説明いただきたい。実態を見ると、仕方なく自治会費から出しているところが多いと思う。 また、アパート世帯への対応はどうしているのか。</p>	<p>募金や社資への協力については、各個人の自由意志であることから、本来であれば、市民一人ひとりの理解を得て、実施主体が募金活動を行うべきであります。 しかしながら、現実には莫大な時間と労力を要することから、毎年、各自治区ごとの取りまとめを区長会連合会理事会を通じて、区長の皆様をお願いをさせていただいております。 また、区民の総意を得て区費から支出していただいている自治区が大半であります。アパートなどが多く、総意を得られない場合は、御賛同いただける世帯のみの御協力をお願いしています。 これらの募金や社資は、災害救助や地域福祉のお互いの助け合いなど「人道」の理念に基づく事業であること、又、社協会費や日赤社資は、その一部を地域に還元していることなどから、引き続き各自治区ごとの取りまとめに御理解をいただきたいと思っております。 【福祉課】</p>	D
<p>◎不景気における雇用対策、弱者救済策 雇用について市としてどう考えているのか。弱者をどう救済するか、雇用をどう創出するかを含めて考えていただきたい。 御前崎市では、雇用調整助成金をハローワークとは別に1人につき1日1,000円出して雇用を確保している。</p>	<p>国、県での広域的な対応も重要だと思っておりますが、当然、基礎自治体としても対応はしなければなりません。緊急雇用対策事業について予算措置をし、雇用支援に努めています。 掛川市単独で雇用対策事業を実施することは難しいのですが、国県では様々な離職者支援策を講じておりますので、関係機関と連携し、雇用対策、弱者救済に取り組んでまいります。 【商工労働観光課】</p>	A

## 大洲地区

要 望 事 項 等	回 答	類型
<p>◎ごみ削減数値目標の掲示</p> <p>ごみに関する説明用のパンフレットに、市のごみ削減の数値目標を記載してもらえれば、意識が高まると思うし、協力も得られると思う。</p>	<p>「ごみ減量大作戦」において基準期間に対して12%減量を目標に取り組んでおり、11月末現在達成しております。</p> <p>集積所への数値目標の掲示については、市内には1,400もの集積所があるため、今後、検討・工夫をしていきたいと思えます。</p> <p style="text-align: right;">【環境政策課（旧：環境保全課）】</p>	D

編集 掛川市役所 生涯学習まちづくり課  
(旧:地域振興課、掛川市区長会連合会事務局)  
TEL 0537-21-1129  
〒436-8650 静岡県掛川市長谷一丁目1-1